

小金井市保健福祉総合計画（地域福祉計画） の策定に伴うアンケート調査結果

（1） 調査の概要

本調査は、市が平成 23 年度に小金井市総合保健福祉計画を策定するに際し、市民の福祉に関する考え方や地域活動への参加状況などについて実態を把握し、計画や施策を進める上で基礎資料として活用することを目的に実施したものです。

（2） 調査設計

調査地域 : 小金井市全域
調査対象 : 市内在住の 20 歳以上の方
標本数 : 2,000 サンプル
抽出法 : 住民基本台帳から無作為抽出
調査期間 : 平成 23 年 3 月
調査方法 : 郵送配布・郵送回収による郵送調査方法

（3） 回収結果

配布数	回収数	回収率
2,000	768	38.4%

（4） 報告書の見方

- 回答結果の割合（％）は有効サンプル数（集計対象者総数）に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第 2 位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。
- 複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。
- 図表中において、「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。
- グラフ及び表の n (number of case) は、サンプル数（集計対象者総数）を表しています。

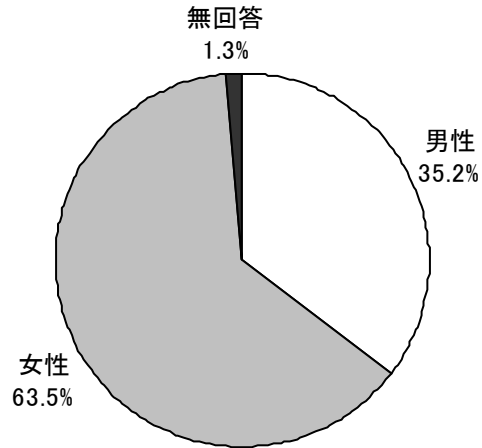
1. あなたご自身について

問1 あなたの性別はどちらですか。(どちらかに○)

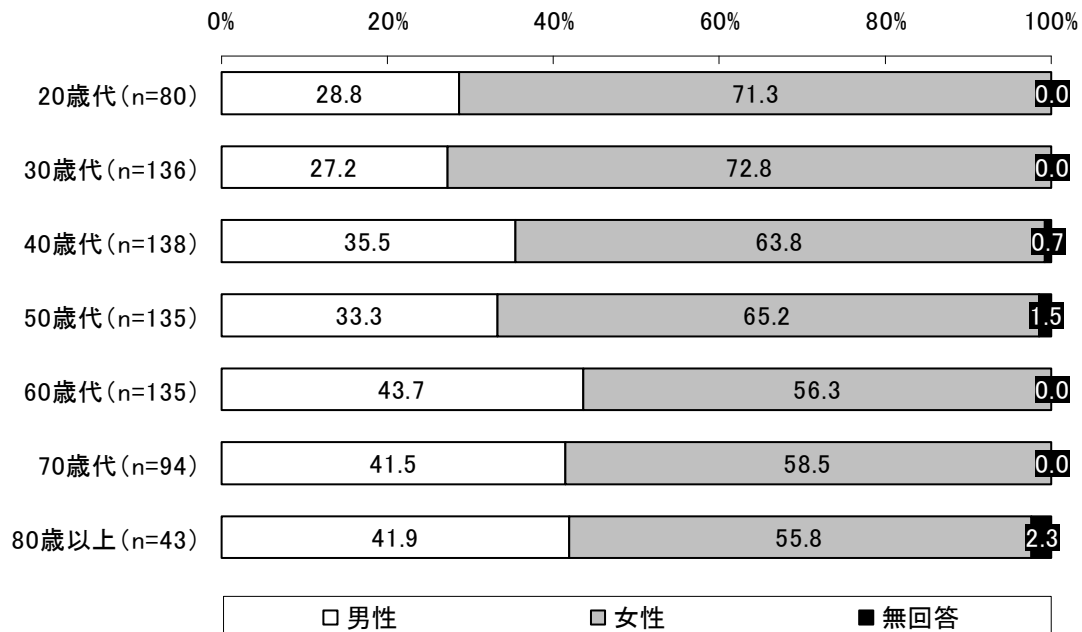
性別については、「男性」が 35.2%、「女性」が 63.5%となっており、女性の方が多くなっています。

年代別にみると、すべての年代で「女性」が「男性」を上回っています。

問1 n=768



■性別×年代



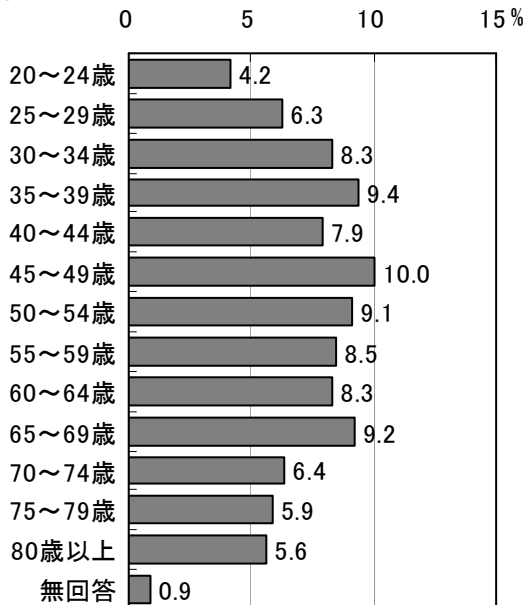
問2 あなたの年齢は次のどれですか。(ひとつだけ○)

年齢については、「45～49歳」が10.0%と最も多く、次いで「35～39歳」が9.4%、「65～69歳」が9.2%となっています。

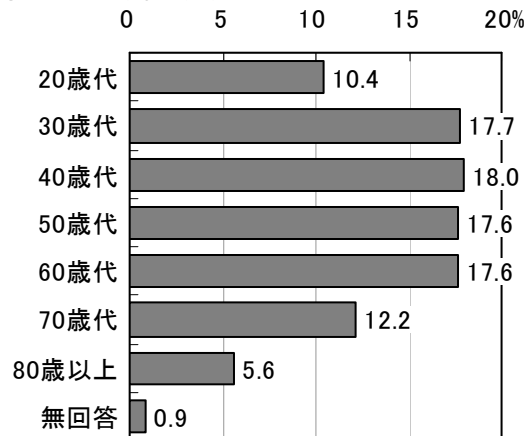
居住地域別にみると、60歳以上が北東部で約3割、北西部と南西部で3割強、南東部で約4割を占めており、40～50歳は北東部で多く、4割以上となっています。

家族構成別にみると、60歳以上がひとり暮らし世帯で4割強、夫婦のみ世帯で5割強を占め多くなっています。

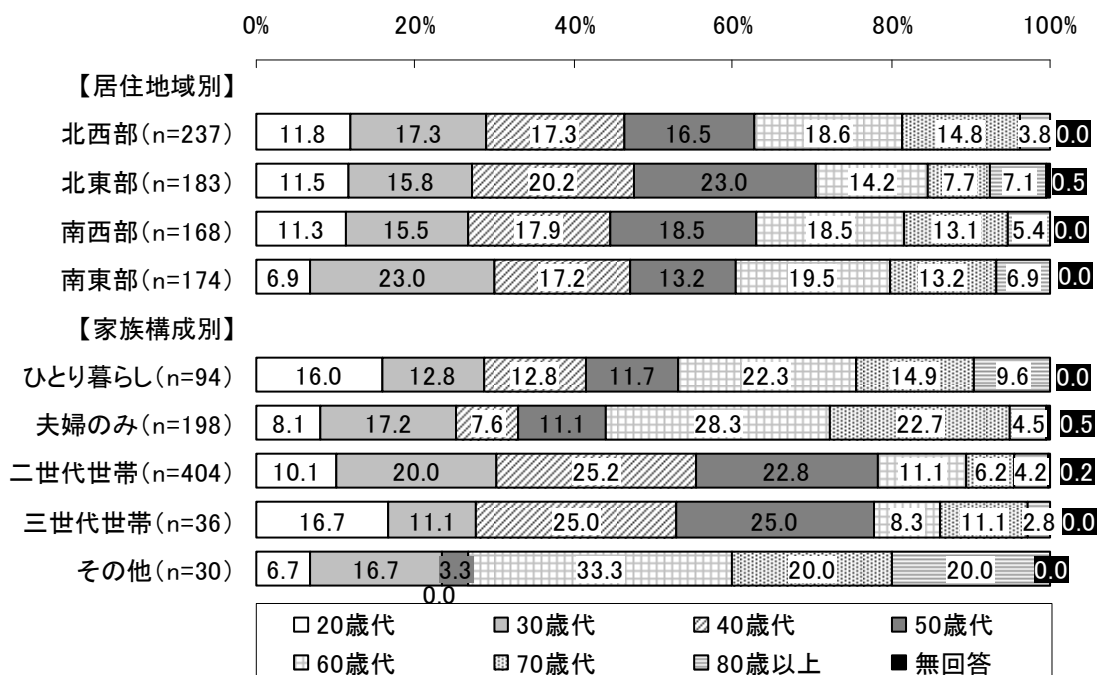
問2 n=768



問2 n=768(年代別)



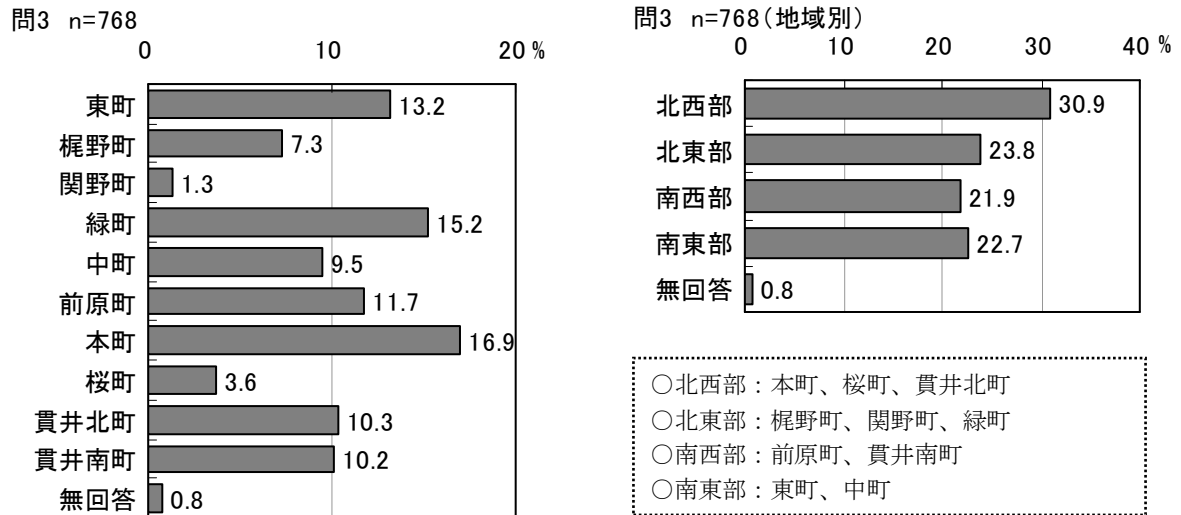
■年代×居住地域／家族構成



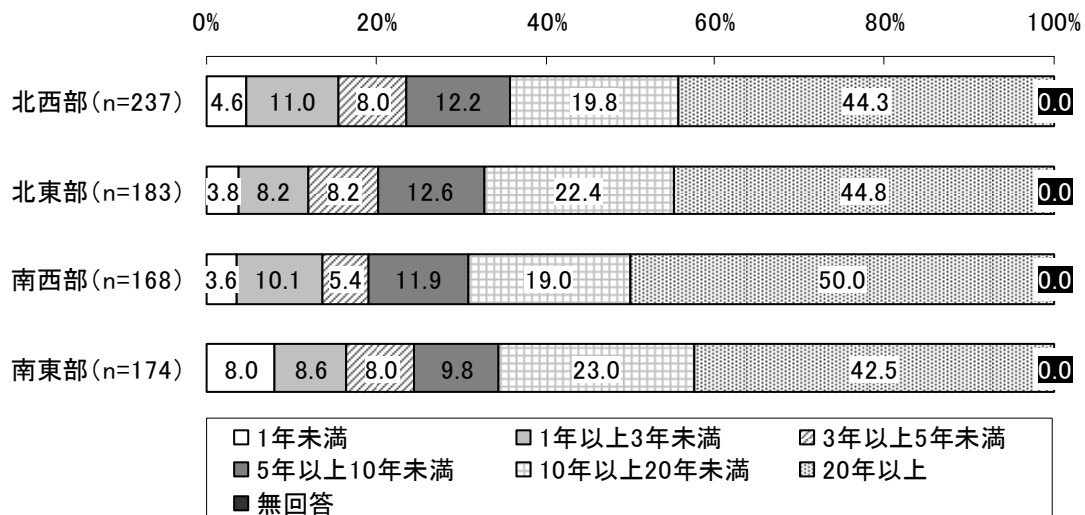
問3 あなたが住んでいる地域は次のどれですか。(ひとつだけ○)

居住地域については、「本町」が16.9%と最も多く、次いで「緑町」が15.2%、「東町」が13.2%となっています。

居住期間別にみると、すべての地域で「20年以上」が最も多くなっています。特に南西部では半数が「20年以上」で、5年未満が2割を切っています。



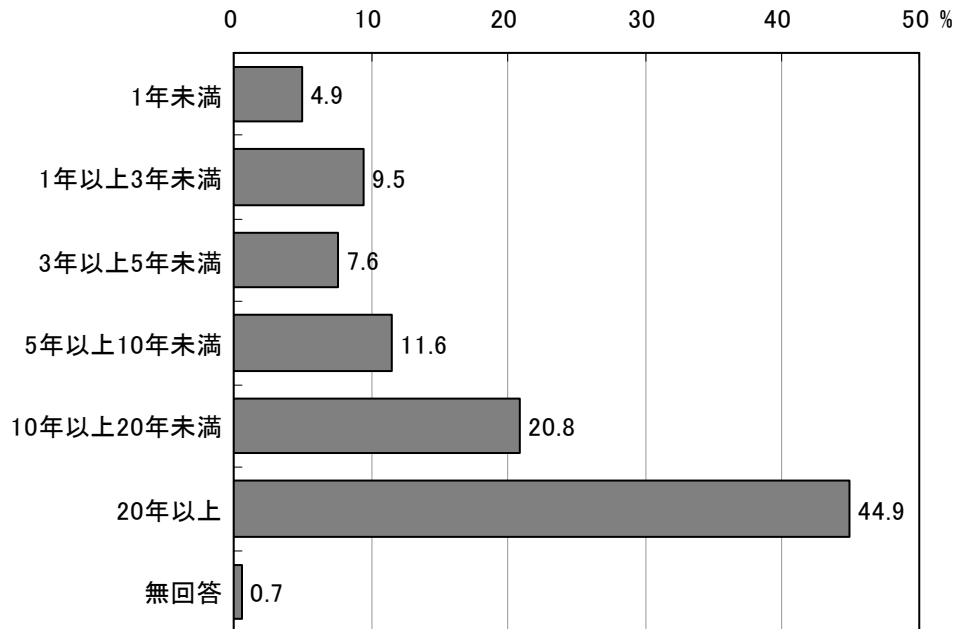
■居住地域×居住期間



問4 あなたは小金井市に住んでどのくらいになりますか。(ひとつだけ○)

居住期間については、「20年以上」が44.9%と最も多く、次いで「10年以上20年未満」が20.8%、「5年以上10年未満」が11.6%となっており、長期間居住している方が多くなっています。

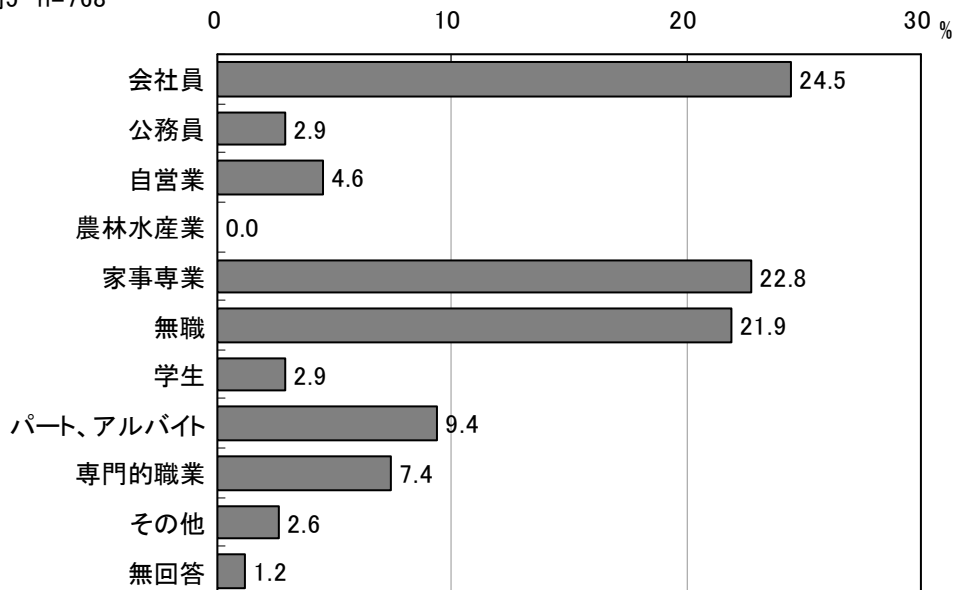
問4 n=768



問5 あなたの主な職業は何ですか。(ひとつだけ○)

職業については、「会社員」が24.5%と最も多く、次いで「家事専業」が22.8%、「無職」が21.9%となっています。

問5 n=768



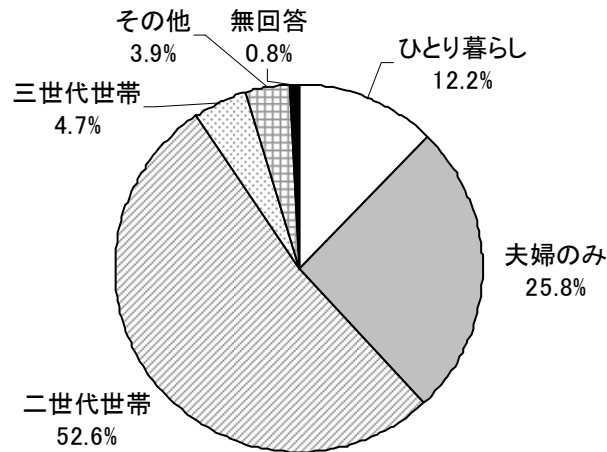
問6 あなたの家族構成はどのようになっていますか。(ひとつだけ○)

家族構成については、「二世世代世帯」が52.6%と半数を超えて最も多く、次いで「夫婦のみ」が25.8%、「ひとり暮らし」が12.2%となっています。

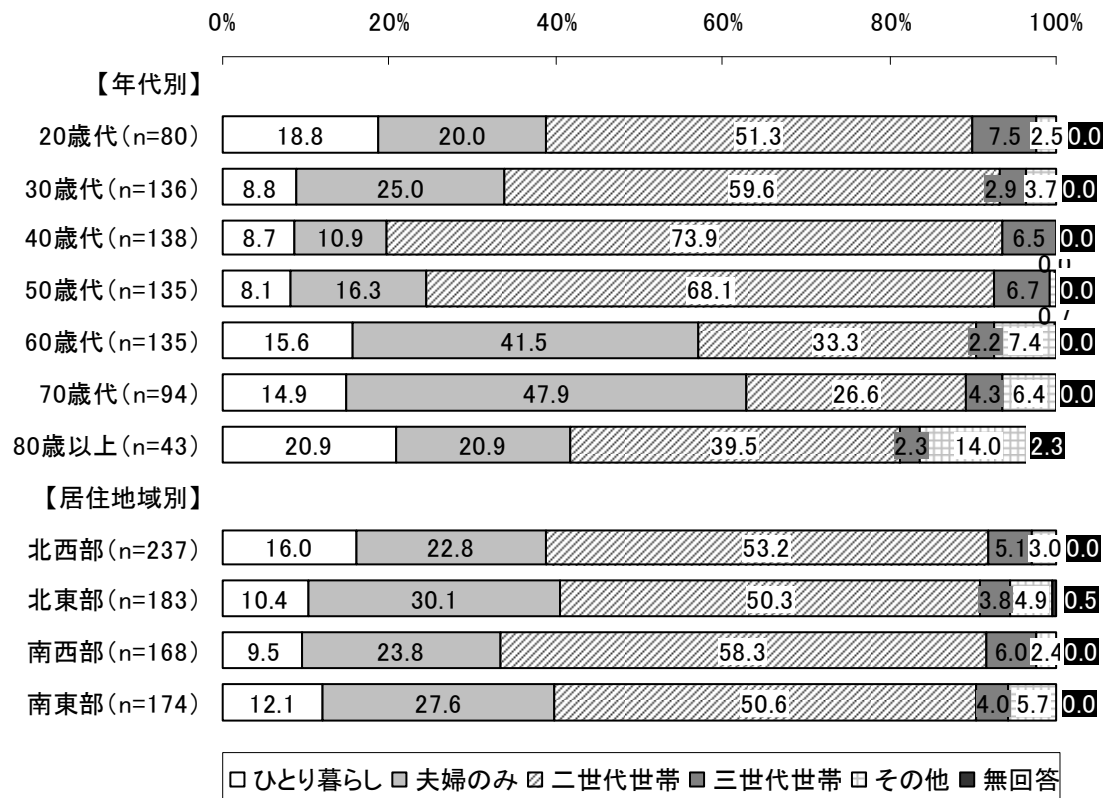
年代別にみると、50歳以下と80歳以上で「二世世代世帯」、60～70歳で「夫婦のみ」が最も多くなっています。

居住地域別にみると、南西部でやや「二世世代世帯」が多くなっています。

問6 n=768

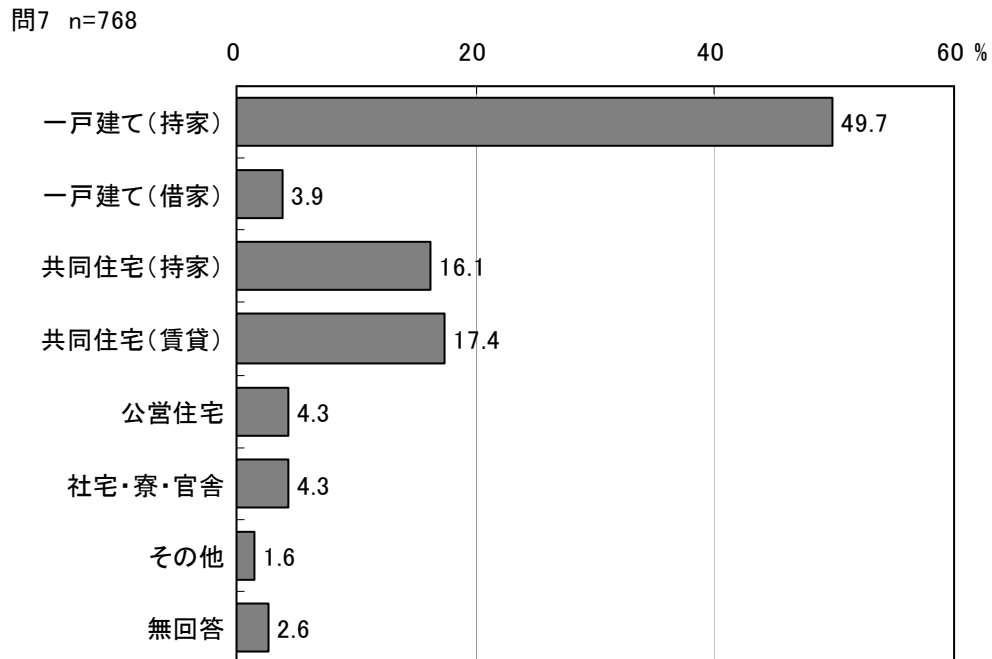


■家族構成×年代／居住地域

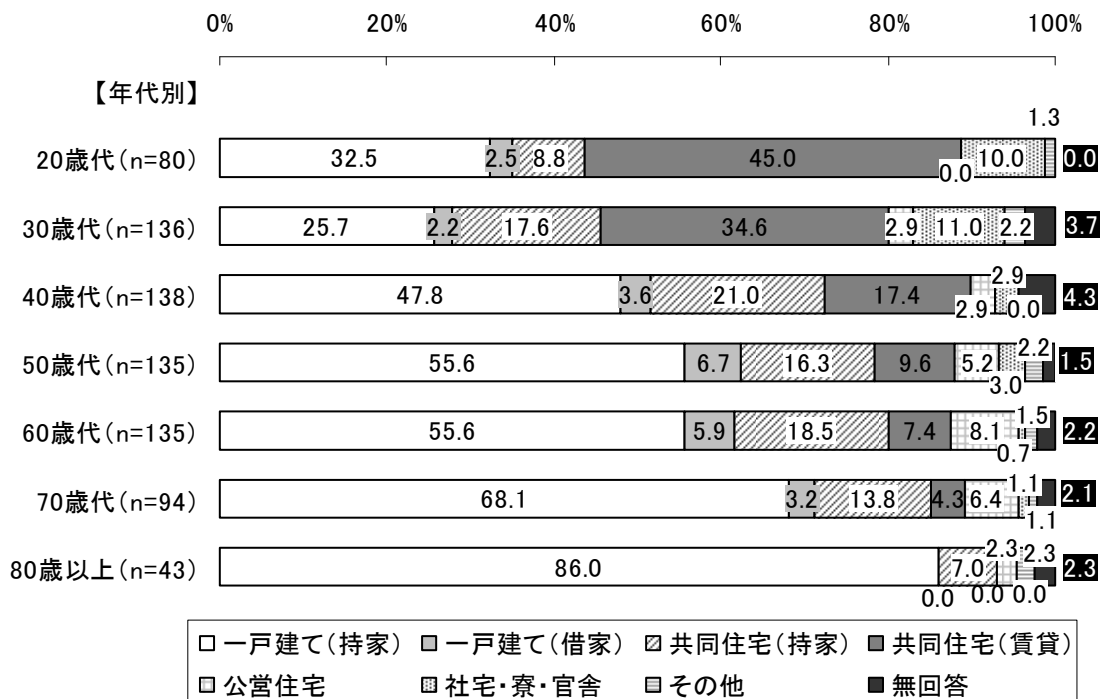


問7 あなたの住居形態はどれにあたりますか。(ひとつだけ○)

住居形態については、「一戸建て(持家)」が49.7%と約半数を占め最も多く、次いで「共同住宅(賃貸)」が17.4%、「共同住宅(持家)」が16.1%となっています。



■年代×住居形態



2. 「福祉」について

問8 あなたは「福祉」に関心をおもちですか。(ひとつだけ○)

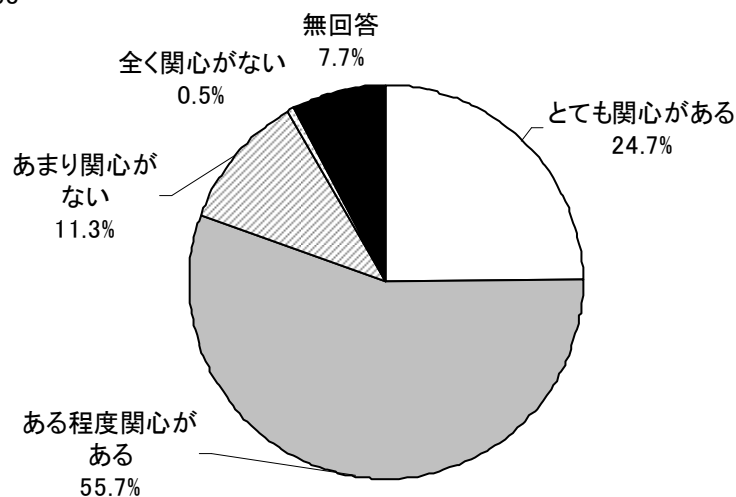
福祉への関心については、「とても関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた『関心がある』が80.4%と8割を超え、福祉への関心が高いことがうかがえます。

年代別にみると、30歳から70歳では、年代があがるにつれて「とても関心がある」の割合が多くなっています。一方で、20歳代では「あまり関心がない」が2割を超えています。

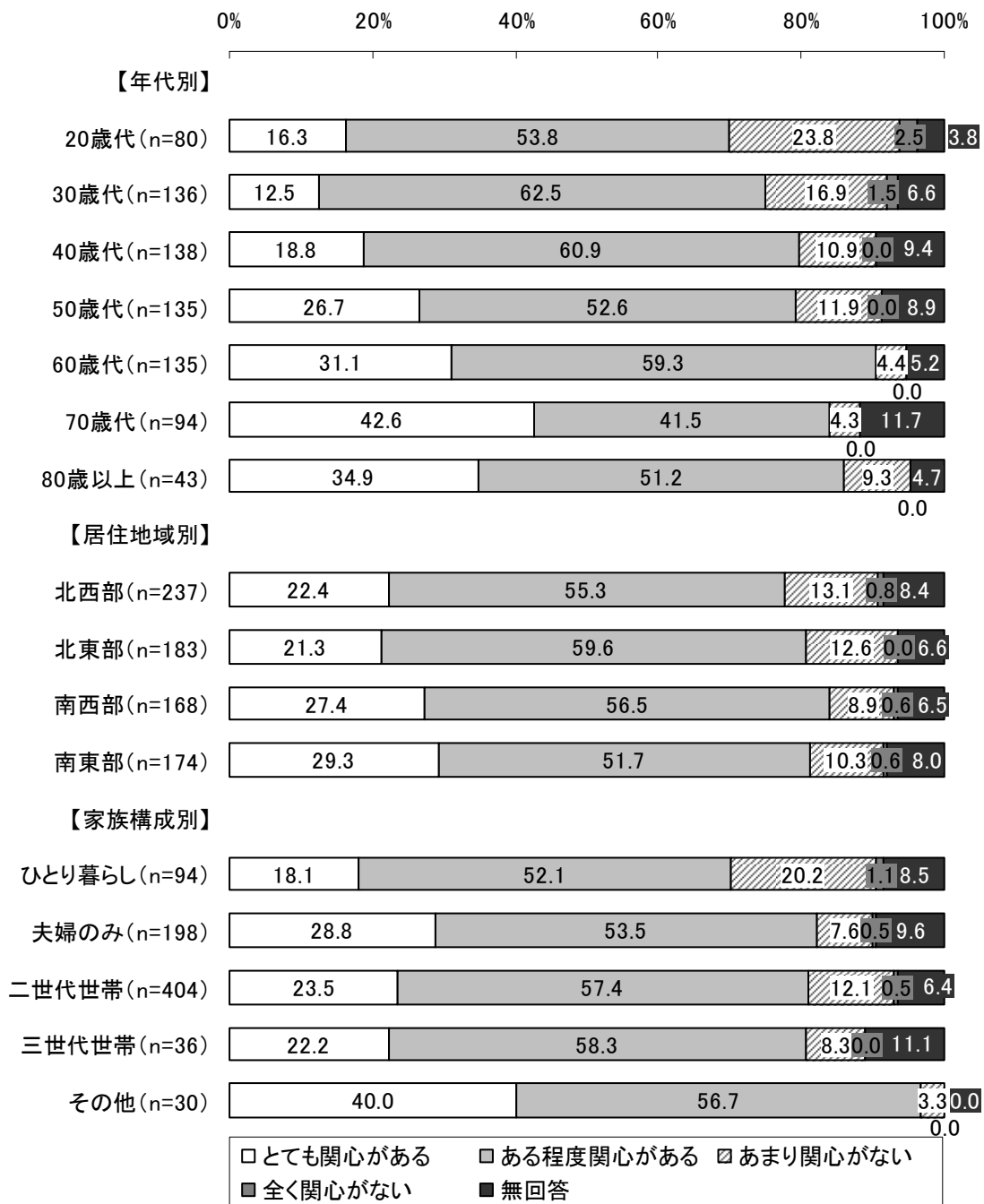
居住地域別にみると、地域で大きな違いはみられないものの、南西部で『関心がある』がやや多くなっています。

家族構成別にみると、「とても関心がある」がその他の世帯で4割、夫婦のみの世帯で3割弱と比較的高くなっています。一方で、ひとり暮らし世帯ではあまり関心がない」が2割を超えています。

問8 n=768



■年代／居住地／家族構成別



**問8-1 《問8で「とても関心がある」「ある程度関心がある」と答えた方》
特にどの福祉の分野に関心をおもちですか。(あてはまるものすべてに○)**

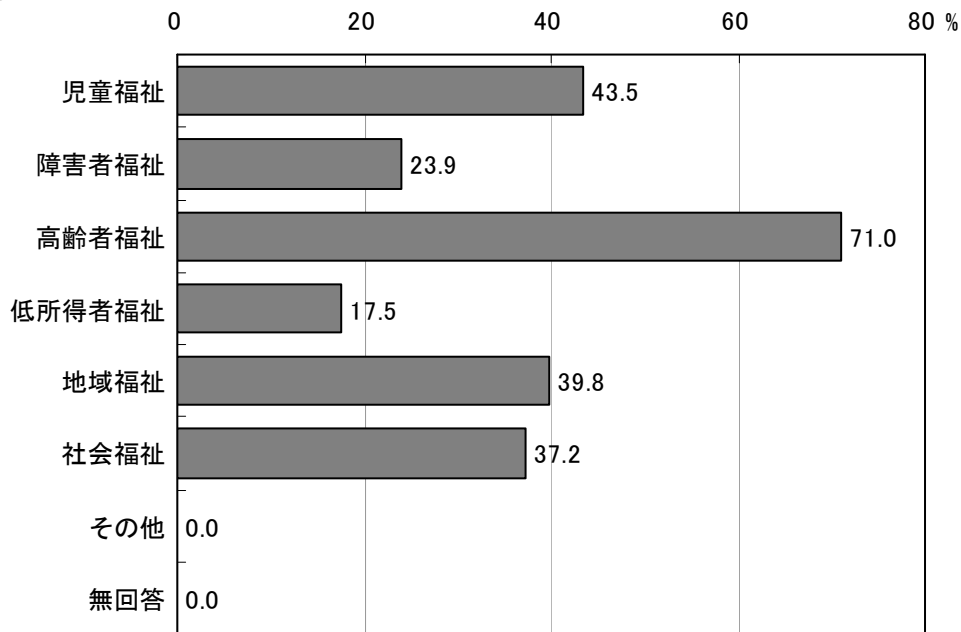
関心のある福祉分野については、「高齢者福祉」が71.0%と7割を超え最も多く、次いで「児童福祉」が43.5%、「地域福祉」が39.8%となっています。

年代別にみると、子育て世代の20～30歳では「児童福祉」、40歳以上では「高齢者福祉」が最も多くなっています。

居住地域別にみると、すべての地域で「高齢者福祉」が最も多く、西部（北西部・南西部）では7割を超えています。

家族構成別にみると、すべての世帯で「高齢者福祉」が最も多くなっています。また、二世帯世帯や三世帯世帯では「児童福祉」、ひとり暮らし世帯や夫婦のみの世帯では「社会福祉」の割合も多くなっています。

問8-1 n=618



■年代／居住地域／家族構成別

単位: %	n数	児童福祉	障害者福祉	高齢者福祉	低所得者福祉	地域福祉	社会福祉	その他	無回答	
年代別	20歳代	56	69.6	28.6	48.2	14.3	26.8	44.6	0.0	0.0
	30歳代	102	81.4	24.5	55.9	20.6	41.2	29.4	0.0	0.0
	40歳代	110	53.6	24.5	63.6	9.1	40.9	38.2	0.0	0.0
	50歳代	107	36.4	30.8	80.4	22.4	43.9	39.3	0.0	0.0
	60歳代	122	18.9	19.7	83.6	21.3	45.9	41.8	0.0	0.0
	70歳代	79	24.1	21.5	77.2	16.5	38.0	38.0	0.0	0.0
	80歳以上	37	10.8	13.5	86.5	10.8	21.6	27.0	0.0	0.0
居住地域別	北西部	184	43.5	24.5	76.6	16.3	39.7	38.6	0.0	0.0
	北東部	148	45.9	25.7	64.9	14.9	45.3	41.9	0.0	0.0
	南西部	141	44.0	26.2	73.0	22.0	36.2	36.2	0.0	0.0
	南東部	141	40.4	19.1	67.4	16.3	36.9	32.6	0.0	0.0
	家族構成別	ひとり暮らし	66	16.7	13.6	68.2	25.8	31.8	45.5	0.0
夫婦のみ	163	36.2	25.8	69.9	13.5	42.9	43.6	0.0	0.0	
二世帯世帯	327	53.2	25.7	70.9	17.1	40.1	31.5	0.0	0.0	
三世帯世帯	29	62.1	24.1	79.3	20.7	34.5	37.9	0.0	0.0	
その他	29	17.2	17.2	72.4	20.7	41.4	51.7	0.0	0.0	

問9 小金井市は子どもや高齢者、障害のある人などにとって暮らしやすいまちだと思いますか。(ひとつだけ○)

小金井市が子どもや高齢者、障害のある人などにとって暮らしやすいまちだと思うかについては、「暮らしやすい」と「どちらかといえば暮らしやすい」を合わせた『暮らしやすい』が36.4%となっています。

一方で「わからない」も34.2%となっており、『暮らしやすい』と感じている方とほぼ同程度となっています。

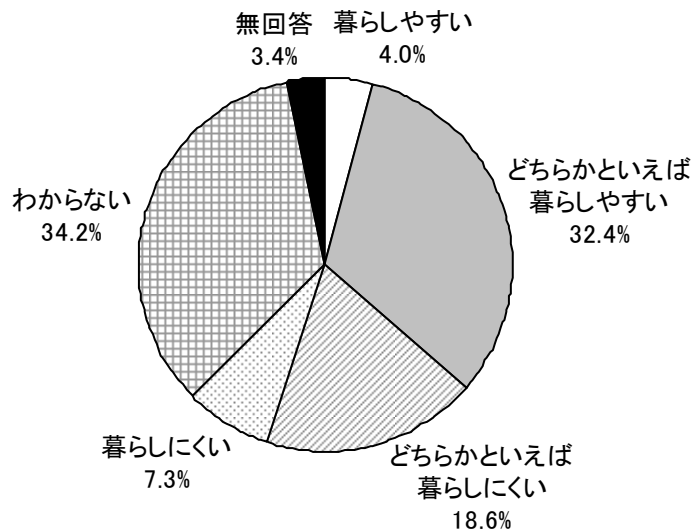
年代別にみると、『暮らしやすい』が70歳代で4割、80歳以上で5割を超えています。一方で、40歳代では「暮らしにくい」と「どちらかといえば暮らしにくい」を合わせた『暮らしにくい』が3割を超えています。

居住地域別にみると、地域で大きな違いはみられません。

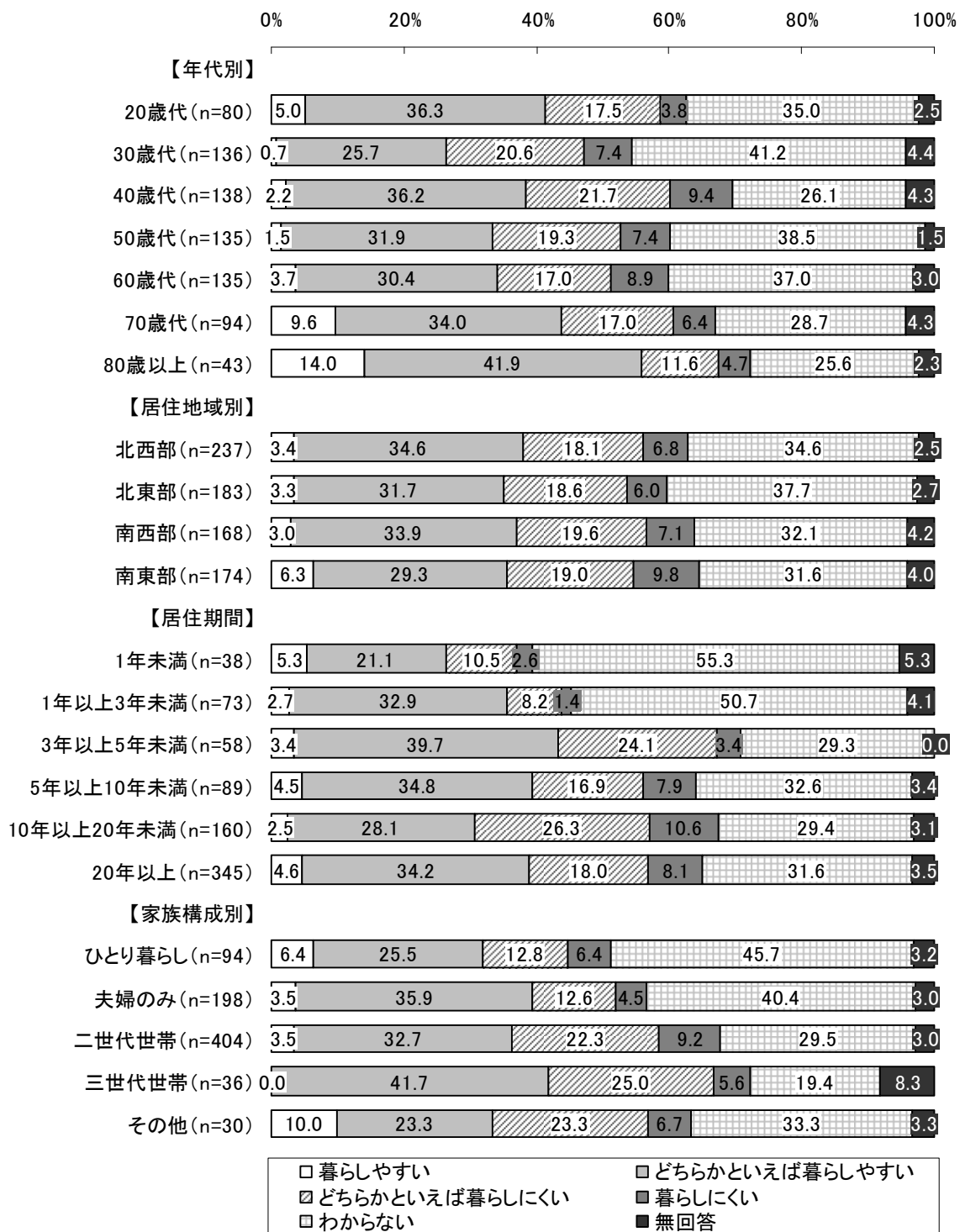
居住期間別にみると、3年以上で「どちらかといえば暮らしにくい」が1割強から2割強と、居住期間の短い方に比べて多くなっています。

家族構成別にみると、二世帯世帯、三世帯世帯、その他の世帯で「どちらかといえば暮らしにくい」が2割を超えています。

問9 n=768



■年代／居住地域／居住期間／家族構成別



3. 「地域」との関わりについて

問10 あなたにとって助け合い、支え合える「地域」とは、こういった範囲ですか。 (ひとつだけ○)

「地域」の範囲については、「隣近所」が34.1%と最も多く、次いで「小金井市全地域」が23.4%、「自治会・町内会」が22.5%となっています。

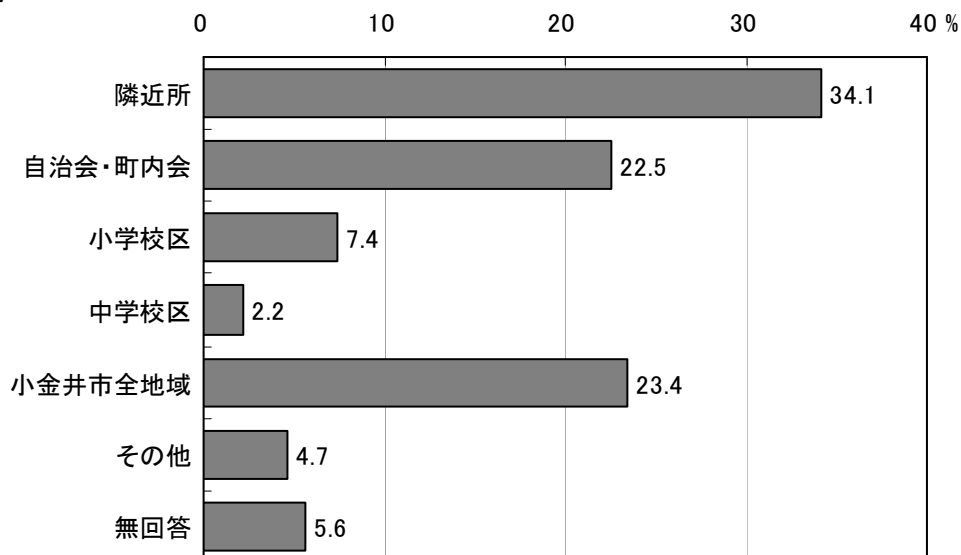
性別にみると、男女ともに「隣近所」が最も多くなっています。

年代別にみると、20～30歳代と50歳以上では「隣近所」、40歳代では「自治会・町内会」が最も多くなっています。

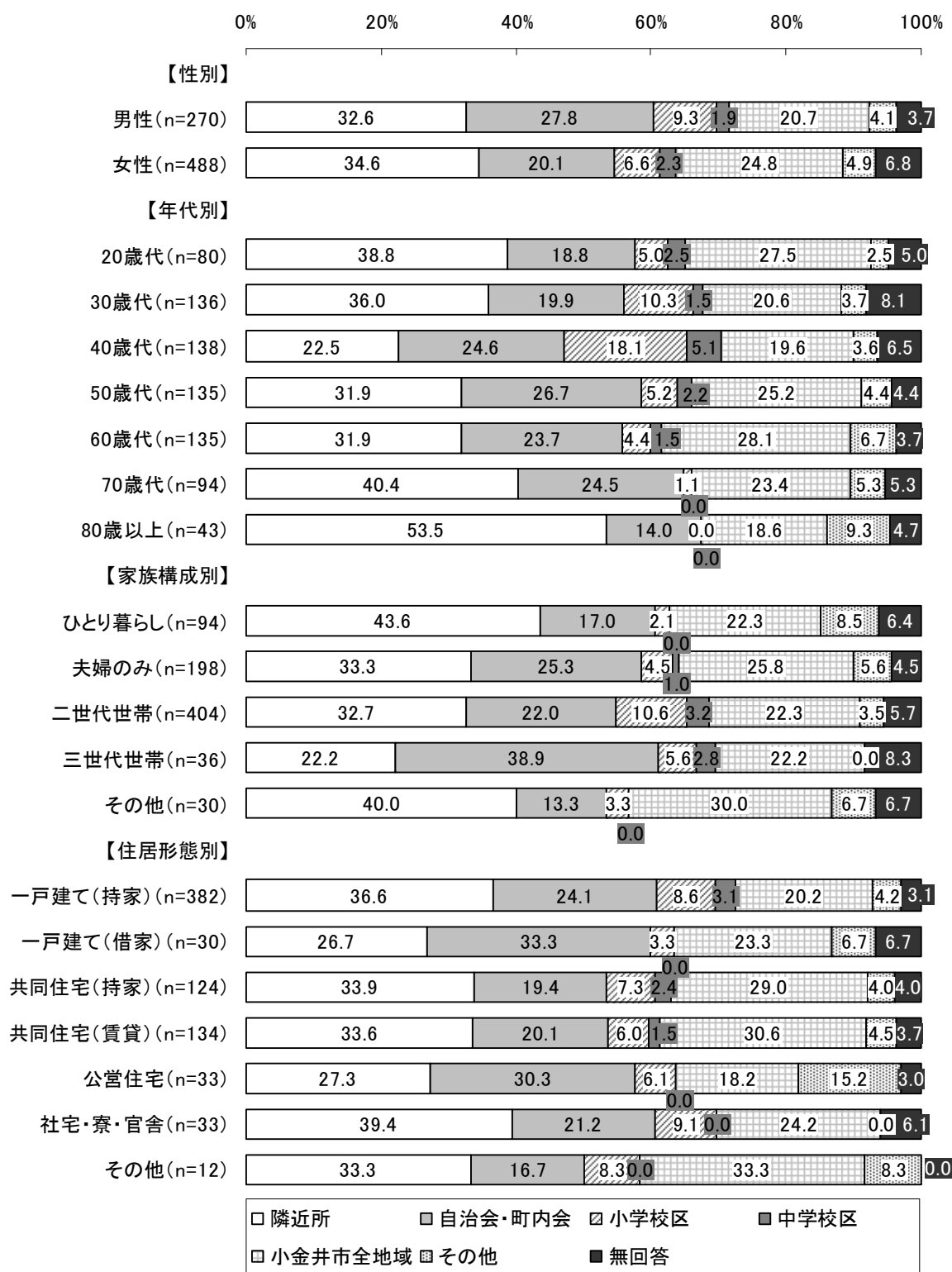
家族構成別にみると、三世帯世帯をのぞくすべての世帯で「隣近所」が最も多く、特にひとり暮らし世帯とその他の世帯では4割以上となっています。三世帯世帯では「自治会・町内会」が多くなっており、地域の範囲にやや広がりがみられます。

住居形態別にみると、一戸建て（持家）や共同住宅では「隣近所」、一戸建て（借家）では「自治会・町内会」が最も多くなっています。

問10 n=768



■性別／年代／家族構成別／住居形態別



**問 11 あなたはご自分がお住まいになっている町内の住み心地に満足していますか。
(ひとつだけ○)**

居住している町内の住み心地に満足しているかについては、「かなり満足している」と「まあまあ満足している」を合わせた『満足』が 66.3%となっており、「あまり満足していない」と「全く満足していない」を合わせた『不満』の 10.8%を大きく上回っています。

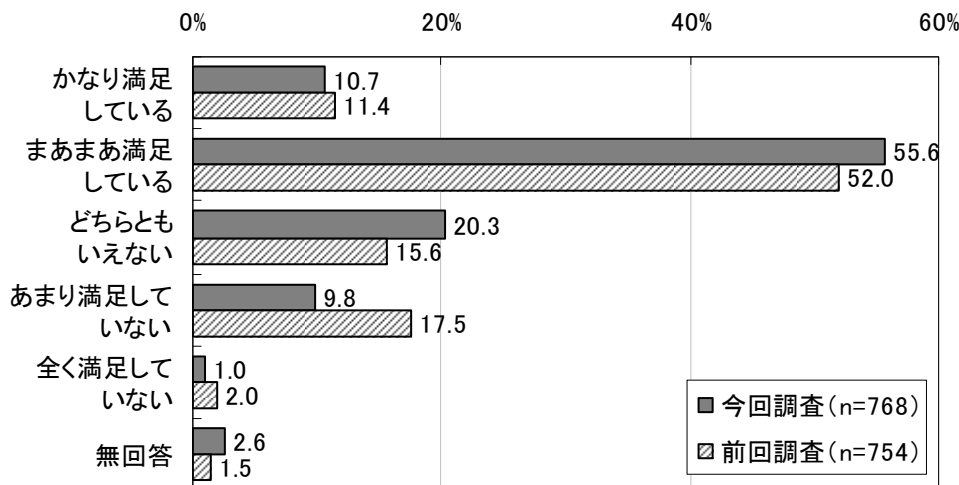
前回調査との比較では、「あまり満足していない」が 5ポイント以上減少しています。

性別にみると、性別で大きな違いはみられません。

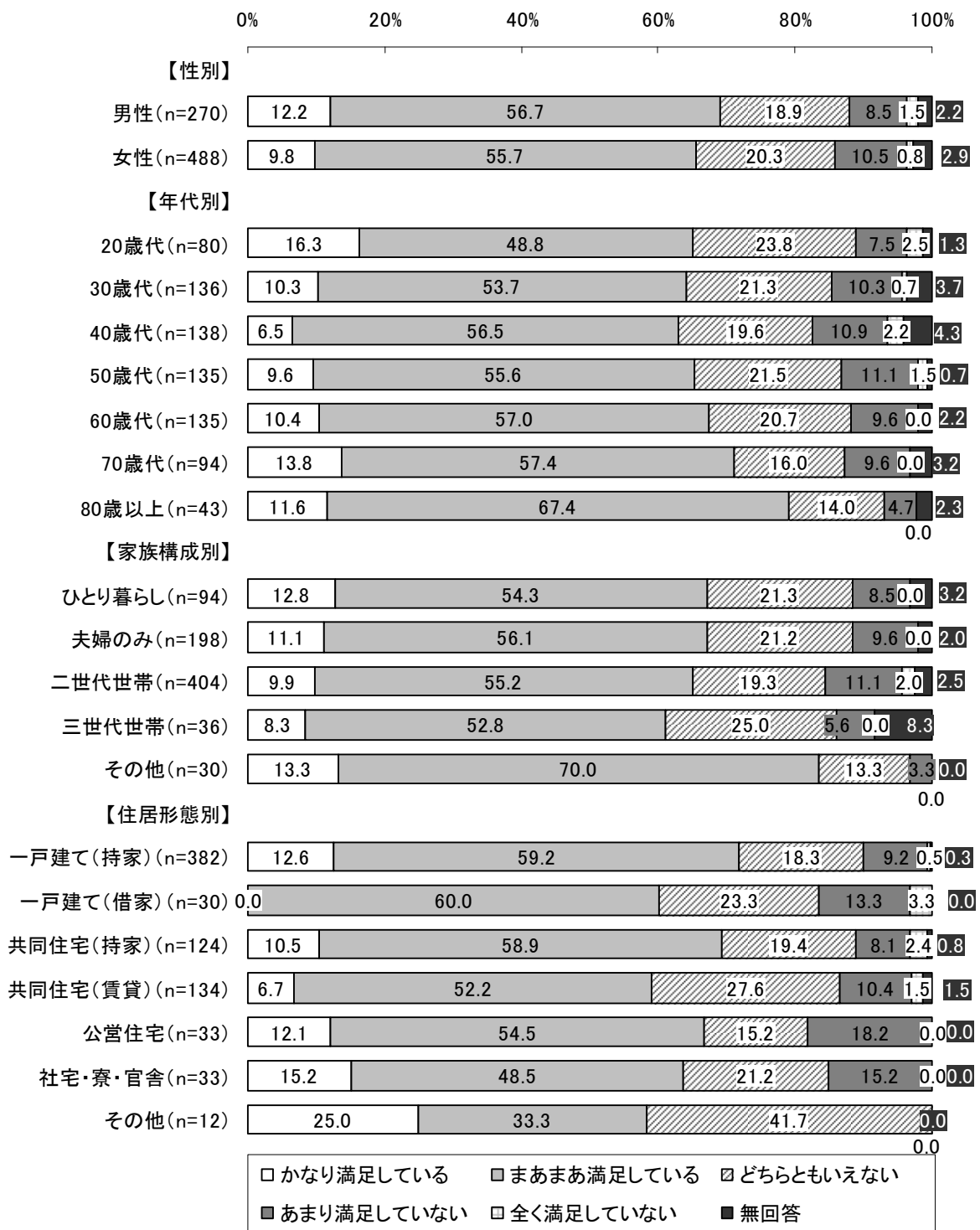
年代別にみると、『満足』が 20 歳代から 40 歳代は減少傾向にあるものの、50 歳以上では多くなり、80 歳以上では約 8 割となっています。また、30～50 歳代で『不満』が 1 割を超えており、比較的多くなっています。

家族構成別にみると、『満足』がひとり暮らし世帯と夫婦のみの世帯で 7 割弱となっているものの、二世帯世帯と三世帯世帯で割合が低くなっています。また、二世帯世帯では『不満』が 1 割を超えています。

住居形態別にみると、ほとんどの形態で「まあまあ満足している」が最も多くなっていますが、一戸建て（借家）や共同住宅（賃貸）では「どちらともいえない」が 2 割を超えて比較的多くなっています。



■性別／年代／家族構成別／住居形態別



問12 あなたは、町内の人とはどの程度お付き合いをしていますか。(ひとつだけ○)

町内の人との付き合いの程度については、「たまに挨拶や立ち話をする程度」が49.1%と約半数を占め最も多く、次いで「ほとんど付き合いがない」が22.5%、「特定の人と親しくしている」が21.1%となっています。

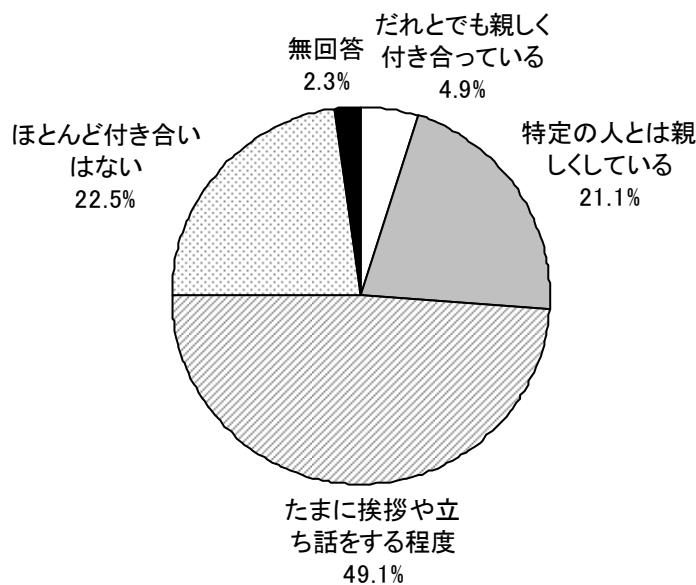
性別にみると、女性の方が「だれとでも親しくしている」や「特定の人と親しくしている」の合計がやや多くなっています。

年代別にみると、50歳以上では「だれとでも親しくしている」や「特定の人と親しくしている」が年代とともに上昇しています。一方で、20～30歳代では「ほとんど付き合いがない」が4割程度となっており、若い世代よりも高齢者で親しい付き合いをしていることがうかがえます。

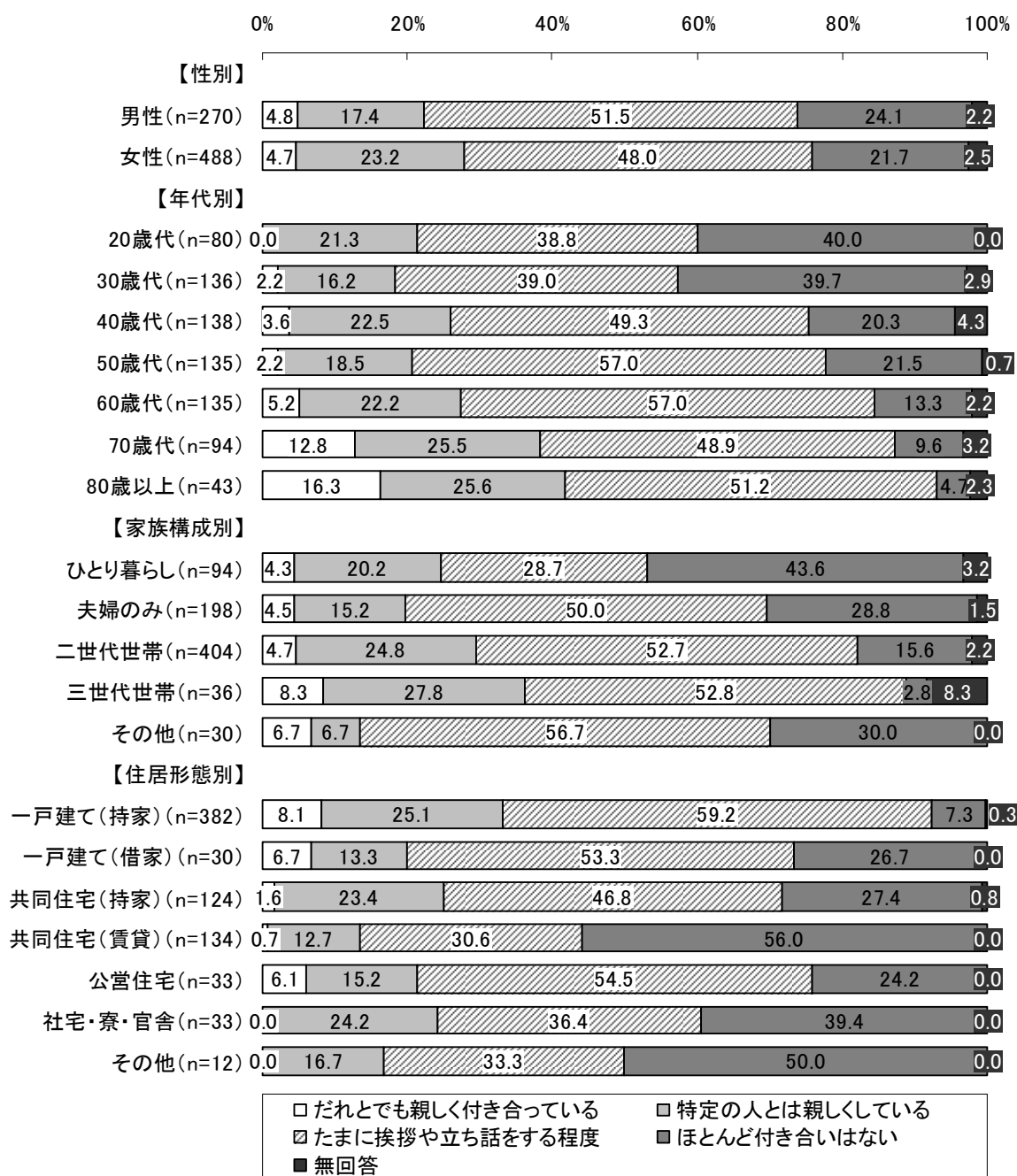
家族構成別にみると、世帯の構成人数が増えるほど、「ほとんど付き合いがない」の割合が減少しています。

住居形態別にみると、一戸建てや共同住宅（持家）では「たまに挨拶や立ち話をする程度」が最も多くなっていますが、共同住宅（賃貸）では「ほとんど付き合いがない」が5割を超えて多くなっています。

問12 n=768



■性別／年代／家族構成別／住居形態別



問13 あなたは、町内の行事や活動等に参加していますか。(ひとつだけ○)

町内の行事や活動等への参加状況については、「ほとんど参加していない」が52.0%と半数を超え最も多く、次いで「あまり参加していない」が29.2%となっており、積極的に参加している方が少ないことがうかがえます。

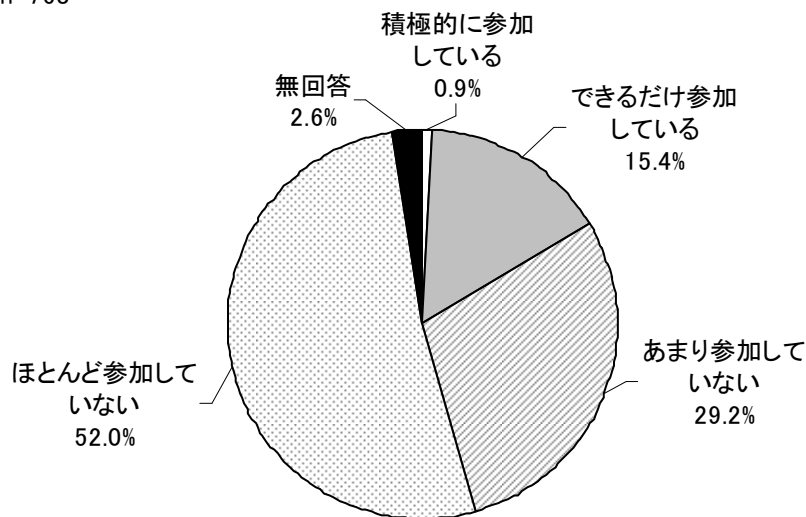
性別にみると、性別で大きな違いはみられません。

年代別にみると、60歳以下で「ほとんど参加していない」が半数程度、70歳以上で「できるだけ参加している」が2割程度となっており、年代とともに参加する傾向がみられます。

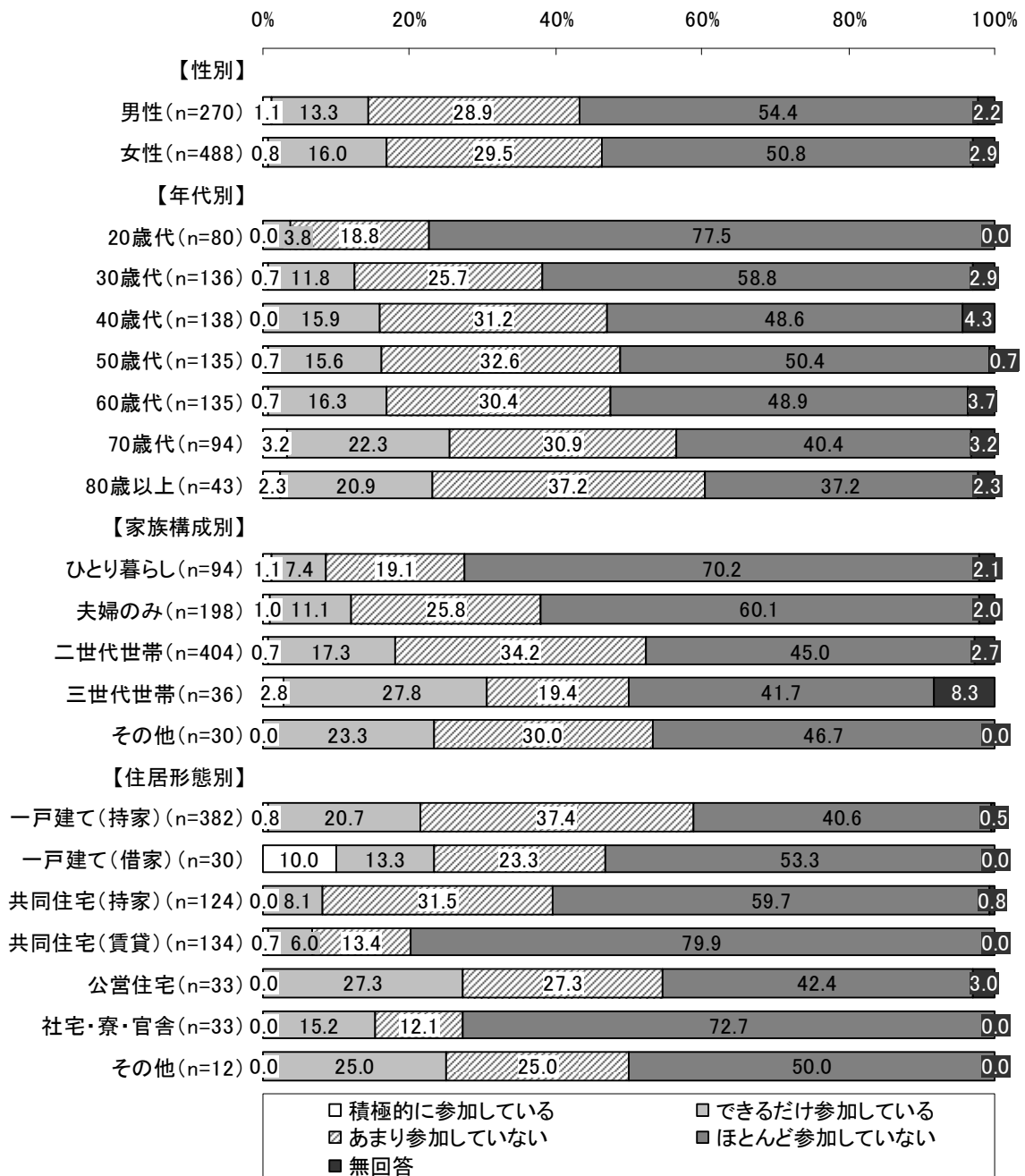
家族構成別にみると、「積極的に参加している」と「できるだけ参加している」を合わせた『参加している』の割合が、二世帯世帯で2割弱、三世帯世帯で約3割となっており、世帯の構成人数が増えるほど、参加する傾向がうかがえます。

住居形態別にみると、すべての形態で「ほとんど参加していない」が最も多くなっていますが、共同住宅（賃貸）では約8割と多くなっています。

問13 n=768



■性別／年代／家族構成別／住居形態別



問 14 今の近所づきあいには満足していますか。(ひとつだけ○)

今の近所づきあいに満足しているかについては、「かなり満足している」と「まあまあ満足している」を合わせた『満足している』が約7割を占めています。

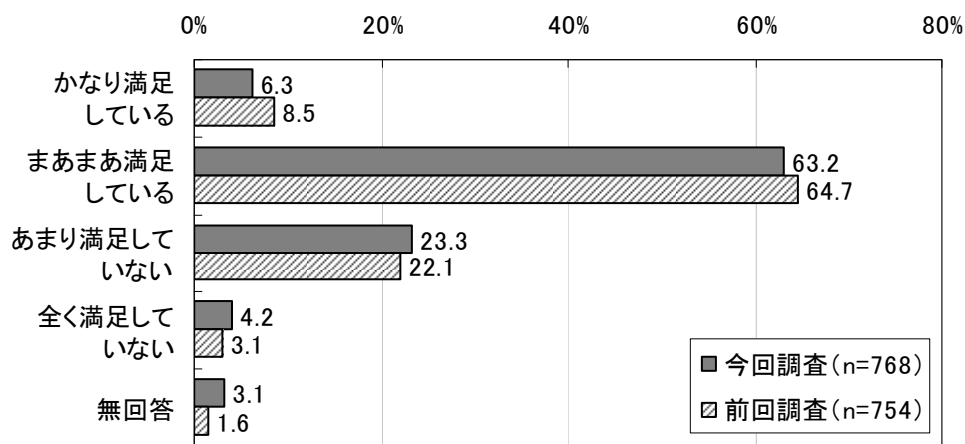
前回調査との比較では、傾向に大きな変化はみられません。

性別にみると、女性の方が「かなり満足している」がやや多くなっています。

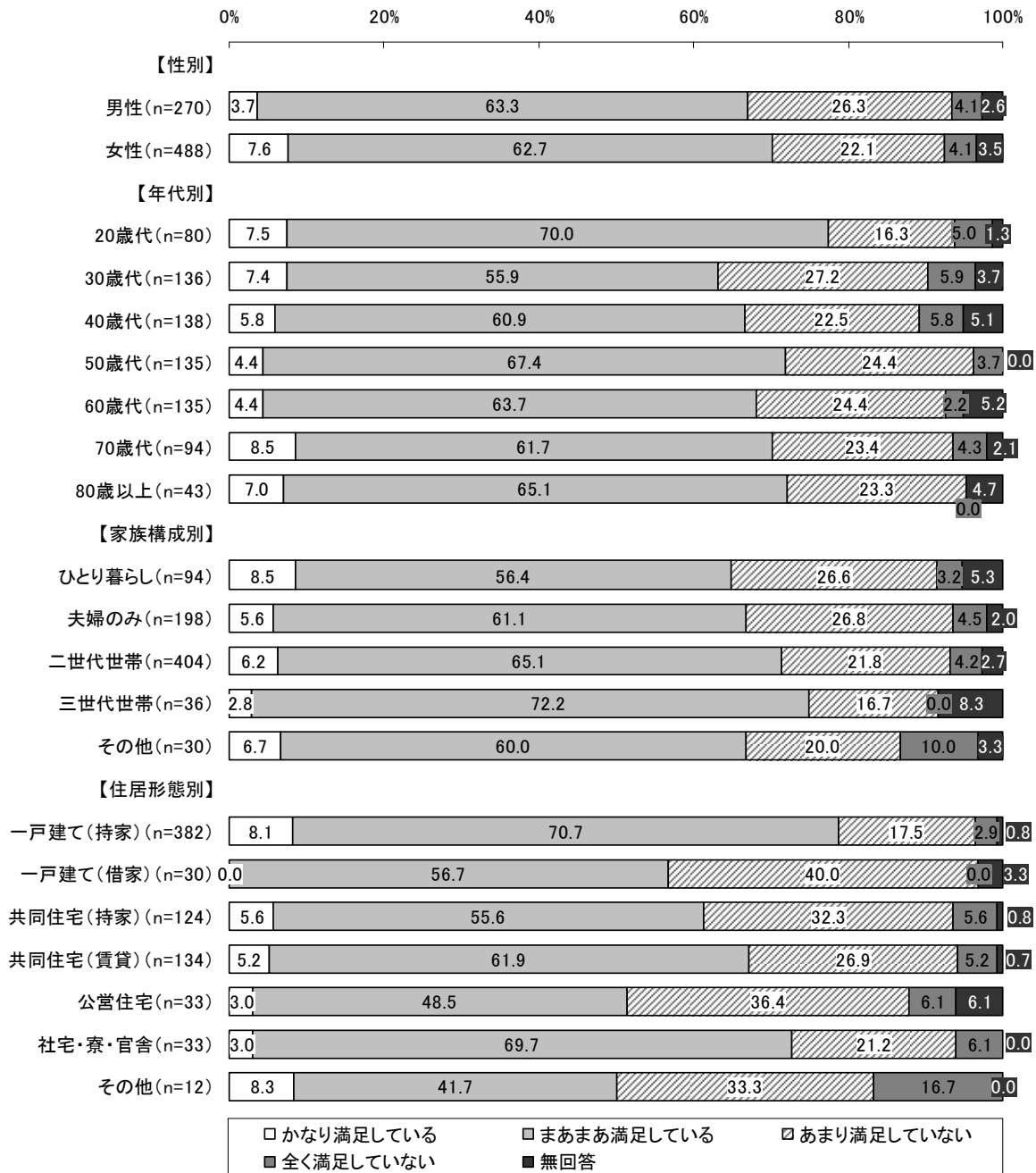
年代別にみると、20歳代で『満足している』が8割弱となっているものの、他の年代では大きな違いはみられません。

家族構成別にみると、三世帯世帯で「かなり満足している」が低くなっているものの、『満足している』の割合が世帯の構成人数が増えるとともに多くなっています。

住居形態別にみると、一戸建て（持家）で『満足している』が8割弱と比較的多くなっています。



■性別／年代／家族構成別／住居形態別



問 15 あなたが生活上の問題で相談や助けが必要なとき、だれに手助けを頼みたいですか。
(○は3つ以内)

生活上の問題で相談や助けが必要なとき、手助けを頼みたい相手については、「家族・親族」が87.4%と最も多く、次いで「友人・知人」が56.9%、「相談窓口」が29.2%となっており、身近な人間に手助けを頼む傾向がうかがえます。

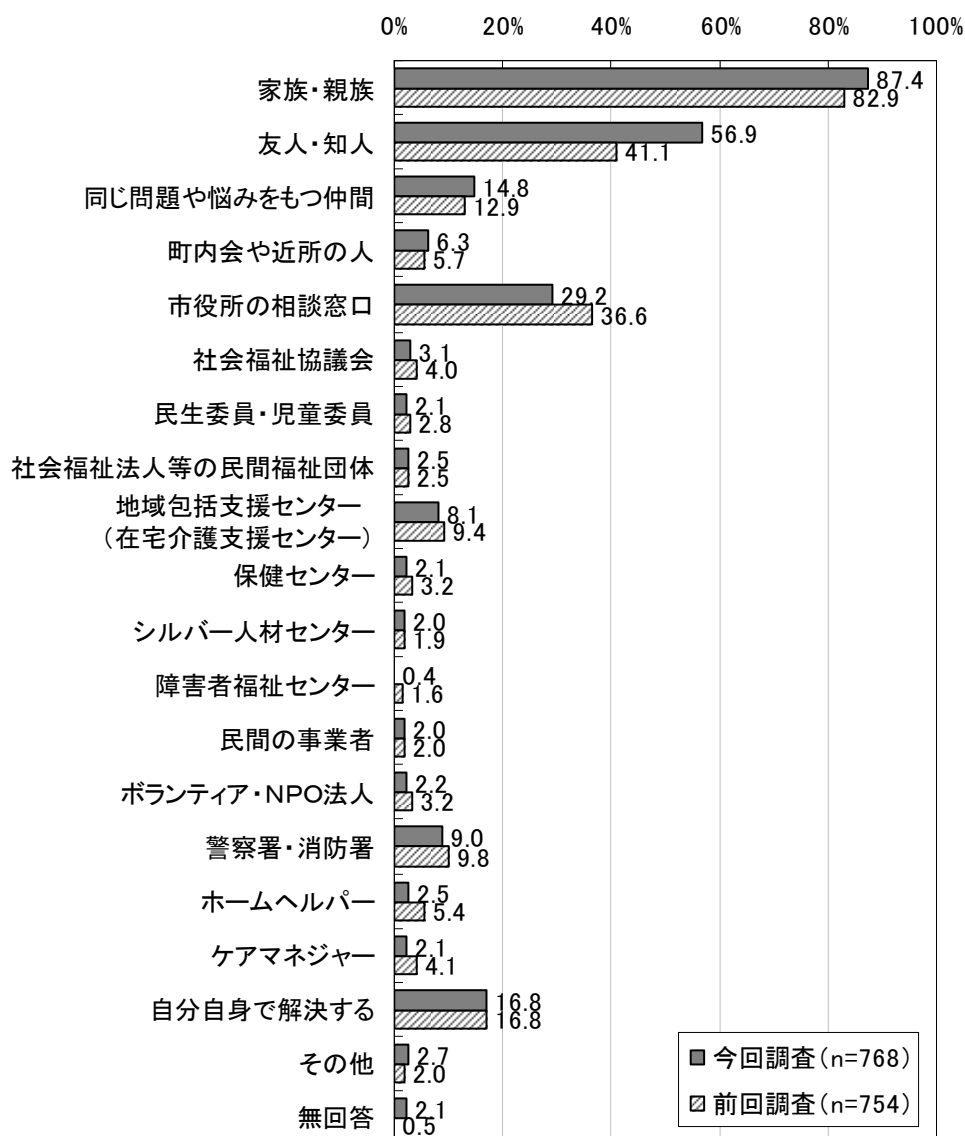
前回調査との比較では、「友人・知人」の割合が今回調査で10ポイント以上上昇しているのに対し、「市役所の窓口」では前回調査よりも5ポイント以上減少しています。

性別にみると、男性では「自分自身で解決する」が比較的多くなっていますが、女性では「同じ問題や悩みをもつ仲間」が手助けを依頼する対象として多くなっています。

年代別にみると、50歳以下では「同じ問題や悩みをもつ仲間」が手助けを依頼する対象となっていました。60歳以上では「地域包括支援センター」が入っています。

家族構成別にみると、三世帯世帯やその他の世帯で「町内会や近所の人」が手助けを依頼する対象として入っています。

住居形態別にみると、一戸建てでは「自分自身で解決する」が比較的多くなっていますが、共同住宅では「同じ問題や悩みをもつ仲間」が手助けを依頼する対象として多くなっています。



■性別／年代／家族構成別／住居形態別（上位5項目）

単位：%	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (n=270)	家族・親族 85.2	友人・知人 47.4	市役所の相談窓口 30.0	自分自身で解決する 21.1	警察署・消防署 15.6
女性 (n=488)	家族・親族 89.1	友人・知人 61.9	市役所の相談窓口 28.3	同じ問題や悩みをもつ仲間 17.6	自分自身で解決する 14.5
20歳代 (n=80)	家族・親族 98.8	友人・知人 85.0	同じ問題や悩みをもつ仲間 21.3	市役所の相談窓口 21.3	自分自身で解決する 12.5
30歳代 (n=136)	家族・親族 94.1	友人・知人 69.1	市役所の相談窓口 21.3	同じ問題や悩みをもつ仲間 19.1	自分自身で解決する 14.0
40歳代 (n=138)	家族・親族 84.1	友人・知人 66.7	市役所の相談窓口 30.4	同じ問題や悩みをもつ仲間 20.3	自分自身で解決する 13.0
50歳代 (n=135)	家族・親族 88.1	友人・知人 59.3	市役所の相談窓口 35.6	自分自身で解決する 21.5	同じ問題や悩みをもつ仲間 14.1
60歳代 (n=135)	家族・親族 82.2	友人・知人 38.5	市役所の相談窓口 34.8	自分自身で解決する 20.7	地域包括支援センター 14.8
70歳代 (n=94)	家族・親族 81.9	友人・知人 34.0	市役所の相談窓口 28.7	自分自身で解決する 22.3	地域包括支援センター 13.8
80歳以上 (n=43)	家族・親族 83.7	友人・知人 32.6	市役所の相談窓口 20.9	地域包括支援センター 16.3	町内会や近所の人 14.0
ひとり暮らし (n=94)	家族・親族 75.5	友人・知人 46.8	市役所の相談窓口 31.9	自分自身で解決する 19.1	地域包括支援センター 13.8
夫婦のみ (n=198)	家族・親族 89.9	友人・知人 52.0	市役所の相談窓口 26.3	自分自身で解決する 20.2	同じ問題や悩みをもつ仲間 11.1
二世帯世帯 (n=404)	家族・親族 89.6	友人・知人 61.6	市役所の相談窓口 29.5	同じ問題や悩みをもつ仲間 17.3	自分自身で解決する 15.8
三世帯世帯 (n=36)	家族・親族 86.1	友人・知人 61.1	市役所の相談窓口 33.3	町内会や近所の人 13.9	
その他 (n=30)	家族・親族 86.7	友人・知人 50.0	市役所の相談窓口 23.3	同じ問題や悩みをもつ仲間 20.0	町内会や近所の人 16.7
一戸建て (持家) (n=382)	家族・親族 89.0	友人・知人 54.7	市役所の相談窓口 31.4	自分自身で解決する 17.0	同じ問題や悩みをもつ仲間 14.7
一戸建て (借家) (n=30)	家族・親族 93.3	友人・知人 53.3	市役所の相談窓口 30.0	自分自身で解決する 20.0	同じ問題や悩みをもつ仲間 10.0
共同住宅 (持家) (n=124)	家族・親族 89.5	友人・知人 58.1	市役所の相談窓口 29.0	同じ問題や悩みをもつ仲間 16.9	自分自身で解決する 15.3
共同住宅 (賃貸) (n=134)	家族・親族 93.3	友人・知人 70.1	市役所の相談窓口 26.1	同じ問題や悩みをもつ仲間 18.7	自分自身で解決する 13.4
公営住宅 (n=33)	家族・親族 72.7	友人・知人 39.4	自分自身で解決する 36.4	市役所の相談窓口 30.3	地域包括支援センター 15.2
社宅・寮・官舎 (n=33)	家族・親族 93.9	友人・知人 75.8	市役所の相談窓口 27.3	自分自身で解決する 12.1	同じ問題や悩みをもつ仲間 12.1
その他 (n=12)	家族・親族 66.7	友人・知人 50.0	市役所の相談窓口 33.3	自分自身で解決する 25.0	

問 16 あなたが日々暮らしていくにあたり、解決してほしいと思うのはどのようなことですか。(〇は3つ以内)

日々暮らしていくにあたり、解決してほしいと思うことについては、「ゴミ・生活環境」が51.8%と半数を超え最も多く、次いで「犯罪・治安」が29.3%、「健康」が28.9%となっています。

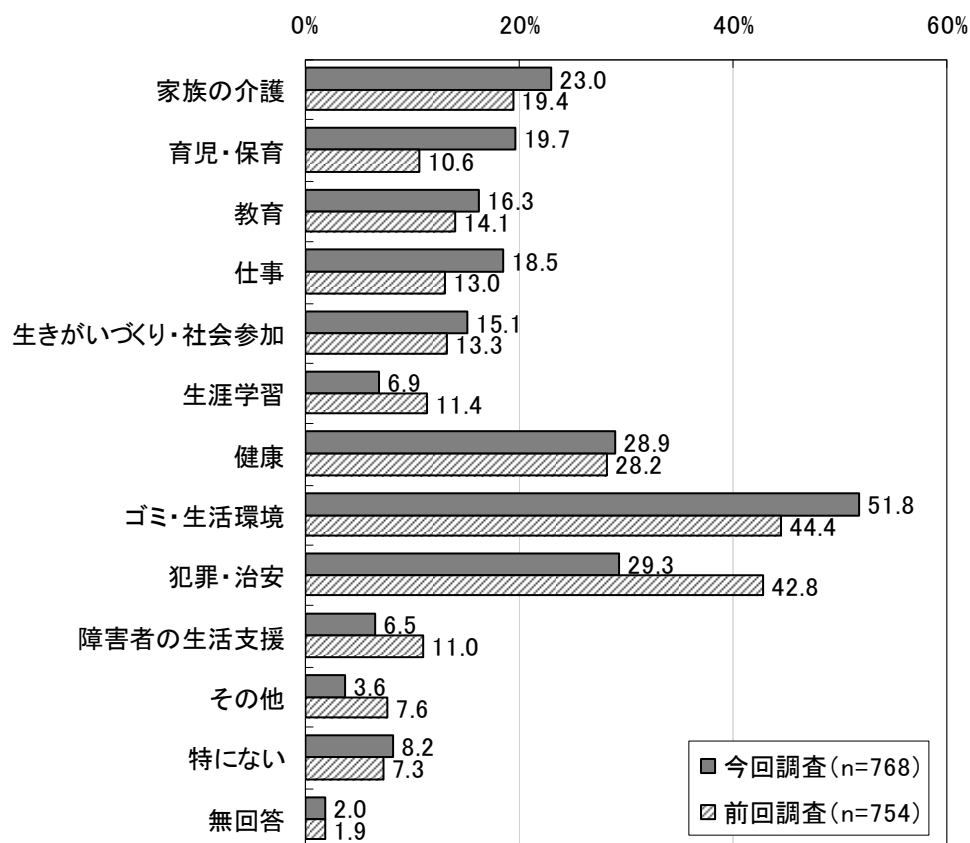
前回調査との比較では、「育児・保育」「ゴミ・生活環境」の割合が今回調査で5ポイント以上上昇しているのに対し、「犯罪・治安」では前回調査よりも10ポイント以上減少しています。

性別にみると、男性では「健康」、女性では「犯罪・治安」の割合がそれぞれやや多くなっています。

年代別では、子育て世帯である20～40歳代では「育児・保育」や「教育」が入っているのに対し、50歳以上では「家族の介護」や「健康」の割合が多くなっています。

家族構成別にみると、ひとり暮らし世帯や夫婦のみの世帯では「健康」、二世帯世帯や三世帯世帯では「犯罪・治安」の割合が多くなっています。また、ひとり暮らし世帯では「仕事」や「生きがいがづくり・社会参加」の割合も多くなっています。

住居形態別にみると、一戸建てや共同住宅では「ゴミ・生活環境」の割合が最も多くなっています。



■性別／年代／家族構成別／住居形態別（上位5項目）

単位：%	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (n=270)	ゴミ・生活環境 51.5	健康 30.4	犯罪・治安 29.6	家族の介護 27.8	生きがいづくり・社会参加 16.3
女性 (n=488)	ゴミ・生活環境 52.5	犯罪・治安 29.1	健康 27.7	育児・保育 22.7	仕事 20.3
20歳代 (n=80)	ゴミ・生活環境 57.5	仕事 38.8	育児・保育 35.0	犯罪・治安 27.5	健康 18.8
30歳代 (n=136)	ゴミ・生活環境 59.6	育児・保育 51.5	犯罪・治安 27.9	仕事 27.2	教育 25.0
40歳代 (n=138)	ゴミ・生活環境 56.5	犯罪・治安 34.8	教育 32.6	育児・保育 24.6	家族の介護 19.6
50歳代 (n=135)	ゴミ・生活環境 52.6	家族の介護 34.1	犯罪・治安 28.1	健康 28.1	仕事 22.2
60歳代 (n=135)	ゴミ・生活環境 47.4	健康 40.0	犯罪・治安 29.6	家族の介護 25.9	生きがいづくり・社会参加 25.9
70歳代 (n=94)	ゴミ・生活環境 45.7	健康 45.7	犯罪・治安 30.9	家族の介護 23.4	生きがいづくり・社会参加 16.0
80歳以上 (n=43)	健康 48.8	家族の介護 34.9	ゴミ・生活環境 25.6	特にな 23.3	犯罪・治安 20.9
ひとり暮らし (n=94)	ゴミ・生活環境 45.7	健康 44.7	仕事 31.9	犯罪・治安 24.5	生きがいづくり・社会参加 19.1
夫婦のみ (n=198)	ゴミ・生活環境 58.1	健康 32.8	犯罪・治安 28.3	家族の介護 23.2	仕事 15.7
二世帯世帯 (n=404)	ゴミ・生活環境 53.0	犯罪・治安 30.4	育児・保育 27.7	家族の介護 24.8	教育 24.8
三世帯世帯 (n=36)	ゴミ・生活環境 36.1	犯罪・治安 33.3	家族の介護 33.3	教育 27.8	健康 22.2
その他 (n=30)	健康 40.0	ゴミ・生活環境 33.3	犯罪・治安 33.3	生きがいづくり・社会参加 33.3	家族の介護 23.3
一戸建て (持家) (n=382)	ゴミ・生活環境 49.5	健康 32.2	犯罪・治安 31.4	家族の介護 28.5	生きがいづくり・社会参加 16.2
一戸建て (借家) (n=30)	ゴミ・生活環境 46.7	犯罪・治安 30.0	家族の介護 23.3	教育 20.0	育児・保育 20.0
共同住宅 (持家) (n=124)	ゴミ・生活環境 59.7	健康 28.2	犯罪・治安 22.6	育児・保育 20.2	
共同住宅 (賃貸) (n=134)	ゴミ・生活環境 59.0	犯罪・治安 32.1	仕事 30.6	育児・保育 29.9	健康 20.9
公営住宅 (n=33)	健康 54.5	仕事 36.4	ゴミ・生活環境 33.3	犯罪・治安 21.2	家族の介護 21.2
社宅・寮・ 官舎 (n=33)	育児・保育 63.6	ゴミ・生活環境 51.5	仕事 30.3	教育 30.3	
その他 (n=12)	家族の介護 41.7	ゴミ・生活環境 33.3	仕事 33.3	教育 25.0	健康 25.0

**問 17 現在、あなたの住んでいる地域の中での問題点・不足していると思うものは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)**

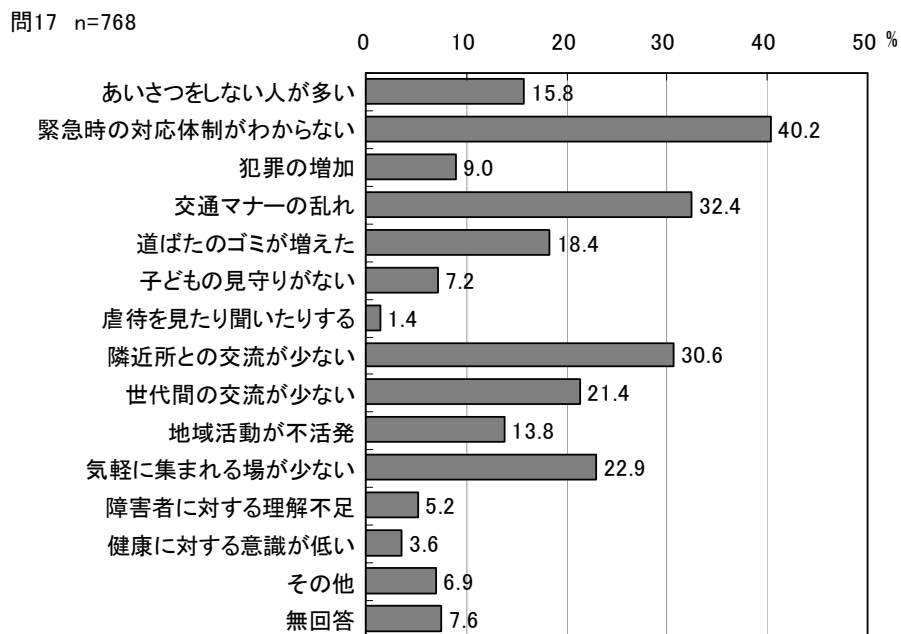
居住している地域の中での問題点・不足していると思うものについては、「緊急時の対応体制がわからない」が40.2%と最も多く、次いで「交通マナーの乱れ」が32.4%、「隣近所との交流が少ない」が30.6%となっています。

性別にみると、女性では「気軽に集まれる場が少ない」が男性よりも多くなっています。

年代別にみると、80歳以上では「隣近所との交流が少ない」が最も多く、その他の年代では「緊急時の対応体制がわからない」が最も多くなっています。

家族構成別にみると、すべての世帯で「緊急時の対応体制がわからない」が最も多くなっているものの、夫婦のみの世帯では「隣近所との交流が少ない」も多くなっています。

住居形態別にみると、一戸建て（持家）や共同住宅（賃貸）では「緊急時の対応体制がわからない」が最も多くなっていますが、一戸建て（借家）や共同住宅（持家）では「隣近所との交流が少ない」が最も多くなっています。



■性別／年代／家族構成別／住居形態別

単位：%	n数	あいさつ しない人 が多い	緊急の 対応制 がわら ない	犯罪 増加	交通 マナー の乱れ	道ば たのゴ ミが増 えた	子ども の守り がない	虐待 を見 たりす る	隣近 所との 交流が 少ない	世代 間の交 流が少 ない	地域 活動が 不発	気軽 に集ま れる場 が少ない	障害 者に対 する理 解不足	健康 に対す る意 識が低 い	その他	無回 答	
性別	男性	270	17.0	36.7	7.8	35.2	17.8	7.8	0.7	30.0	21.1	16.7	18.1	5.9	4.1	7.4	8.1
	女性	488	14.5	42.2	9.6	30.5	18.6	7.0	1.6	31.1	21.5	12.5	25.8	4.9	3.3	6.1	7.2
年代別	20歳代	80	11.3	42.5	8.8	38.8	13.8	7.5	1.3	31.3	18.8	12.5	17.5	11.3	6.3	8.8	6.3
	30歳代	136	12.5	40.4	9.6	22.8	19.1	11.8	0.0	33.8	24.3	14.0	19.1	3.7	3.7	7.4	9.6
	40歳代	138	13.8	39.1	10.1	36.2	21.7	10.1	0.0	25.4	19.6	9.4	25.4	4.3	2.2	7.2	9.4
	50歳代	135	12.6	48.9	9.6	34.8	20.7	4.4	3.7	28.9	20.0	13.3	22.2	7.4	3.0	5.9	2.2
	60歳代	135	19.3	36.3	7.4	30.4	19.3	6.7	1.5	29.6	22.2	17.8	22.2	4.4	3.0	7.4	8.1
	70歳代	94	24.5	37.2	4.3	35.1	14.9	2.1	2.1	36.2	21.3	19.1	29.8	3.2	5.3	4.3	7.4
	80歳以上	43	18.6	30.2	16.3	27.9	14.0	4.7	0.0	34.9	25.6	9.3	27.9	2.3	2.3	4.7	11.6
家族構成別	ひとり暮らし	94	20.2	35.1	4.3	31.9	9.6	4.3	1.1	33.0	11.7	9.6	22.3	4.3	3.2	7.4	14.9
	夫婦のみ	198	18.7	38.9	7.1	32.3	19.2	4.0	1.0	38.9	20.2	18.2	18.7	5.6	2.5	7.1	6.6
	二世世代世帯	404	13.9	41.6	10.4	32.9	20.5	9.7	1.5	28.2	24.0	13.6	24.8	5.2	4.0	6.4	5.7
	三世世代世帯	36	8.3	41.7	16.7	30.6	19.4	5.6	0.0	11.1	27.8	5.6	27.8	11.1	2.8	2.8	11.1
住居形態別	その他	30	13.3	43.3	6.7	26.7	13.3	6.7	3.3	26.7	16.7	13.3	23.3	0.0	6.7	16.7	6.7
	一戸建て(持家)	382	12.8	42.1	12.3	33.2	19.9	6.0	2.4	23.6	20.7	12.0	25.1	4.7	3.4	7.3	7.1
	一戸建て(借家)	30	26.7	30.0	13.3	33.3	23.3	6.7	3.3	50.0	23.3	6.7	30.0	16.7	3.3	0.0	0.0
	共同住宅(持家)	124	16.9	34.7	6.5	27.4	11.3	8.1	0.0	38.7	25.8	16.1	27.4	4.8	3.2	7.3	8.9
	共同住宅(賃貸)	134	17.9	43.3	3.7	35.8	19.4	9.0	0.0	38.1	17.9	17.9	18.7	6.0	3.7	4.5	9.0
	公営住宅	33	27.3	39.4	6.1	21.2	6.1	3.0	0.0	39.4	24.2	9.1	21.2	3.0	6.1	18.2	6.1
	社宅・寮・官舎	33	12.1	45.5	0.0	42.4	18.2	15.2	3.0	27.3	12.1	9.1	3.0	0.0	3.0	6.1	9.1
その他	12	8.3	25.0	8.3	25.0	16.7	8.3	0.0	25.0	16.7	16.7	0.0	16.7	8.3	16.7	16.7	

問 18 日常生活の中で起こる問題(※)に対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。(ひとつだけ○) ※ 問 16 または問 17 でお答えになったことなど

日常生活の中で起こる問題に対して、どのような方法で解決するのが良いと思うかについては、「行政に対して積極的に要求したい」が 44.5%と最も多く、次いで「住民同士で協力したい」が 34.4%となっています。「行政に対して積極的に要求したい」と「熱心な人たちに任せたい」を合わせると、半数を超える方が他人に任せたいと考えていることがうかがえます。

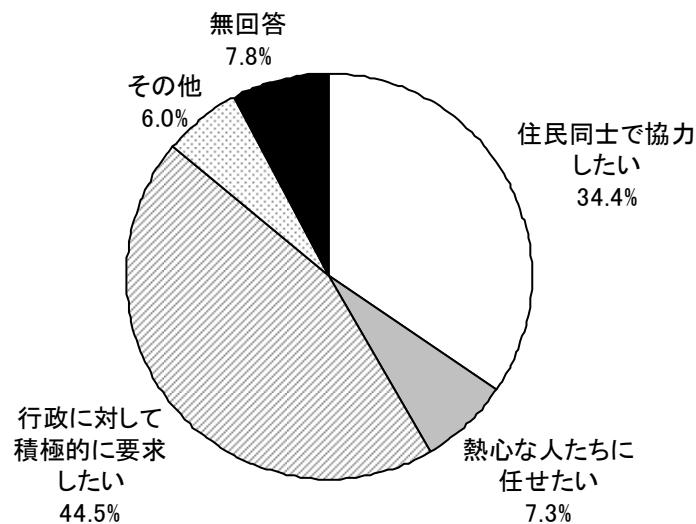
性別にみると、男性で「住民同士で協力したい」が比較的多くなっています。

年代別にみると、60歳以下では「行政に対して積極的に要求したい」が最も多くなっているものの、70歳以上では「住民同士で協力したい」が最も多くなっています。また、30歳以下では「熱心な人たちに任せたい」が1割を超えています。

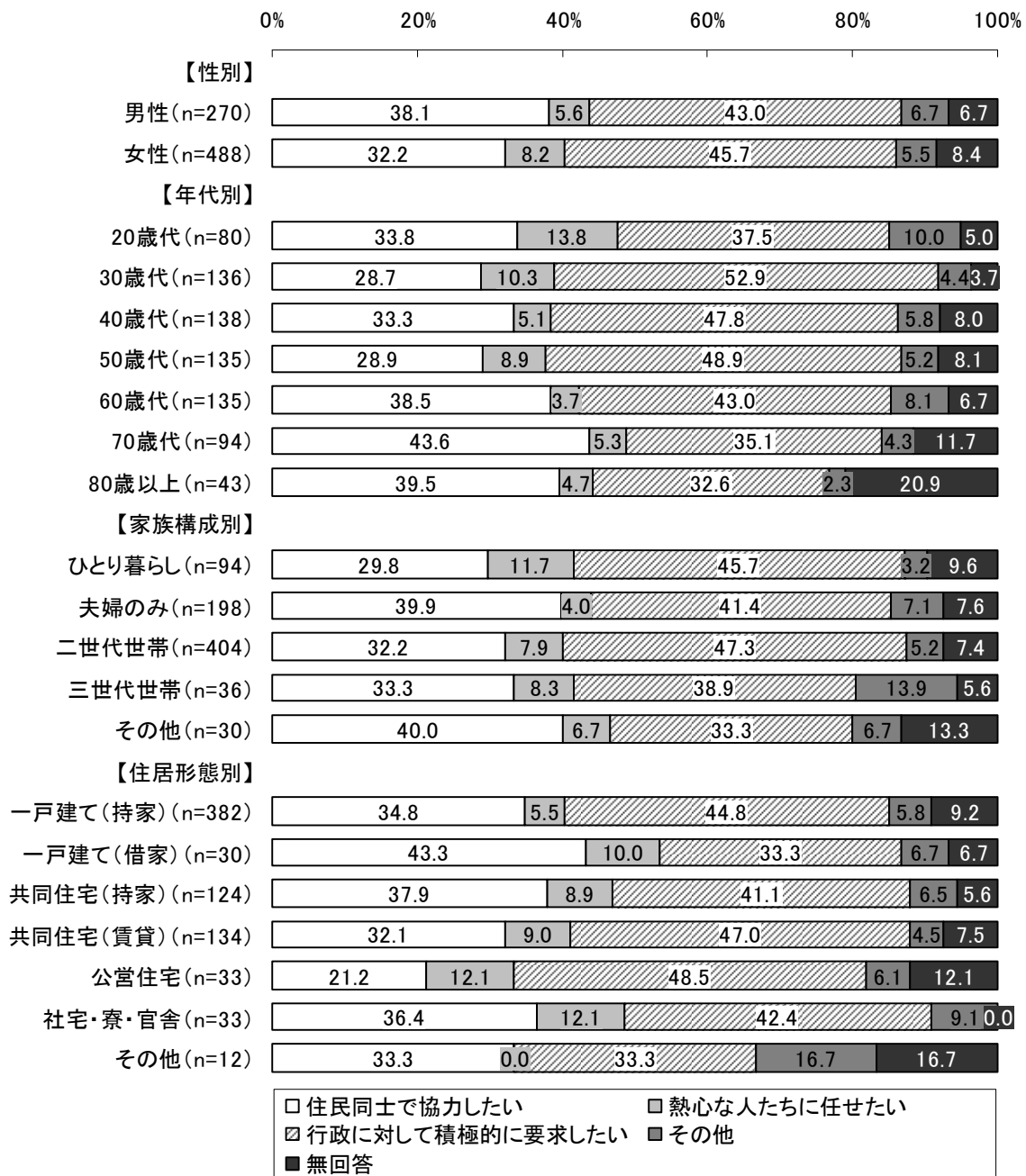
家族構成別にみると、その他の世帯をのぞくすべての世帯で行政に対して積極的に要求したい」が最も多くなっているものの、夫婦のみの世帯では「住民同士で協力したい」が約4割と比較的多くなっています。

住居形態別にみると、一戸建て(持家)や共同住宅では「行政に対して積極的に要求したい」が最も多くなっていますが、一戸建て(借家)では「住民同士で協力したい」が最も多くなっています。

問18 n=768



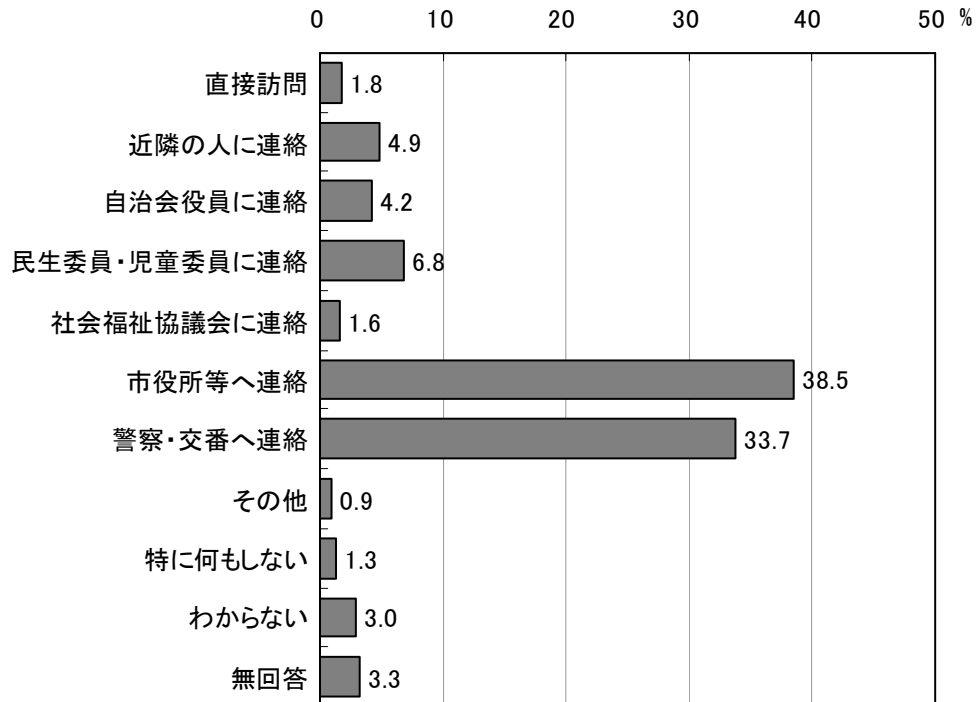
■性別／年代／家族構成別／住居形態別



問 19 もし、あなたの周辺で孤独死や児童・高齢者虐待などが起きるおそれがある状況を知ったら、最初にどのように対応しますか。(ひとつだけ○)

周辺で孤独死や児童・高齢者虐待などが起きるおそれがある場合の対応については、「市役所等へ連絡」が 38.5%と最も多く、次いで「警察・交番へ連絡」が 33.7%となっています。

問19 n=768



問 20 隣近所で、高齢者や障害者の介助・介護や子育てなどで困っている家庭があった場合、あなたはどのような手助けができますか。（あてはまるものすべてに○）

隣近所で、高齢者や障害者の介助・介護や子育てなどで困っている家庭があった場合にできる手助けについては、「安否確認の声かけ」が 59.5%と約 6 割を占め最も多く、次いで「緊急時の手助け」が 53.9%、「家の前などの掃除」が 32.6%となっています。

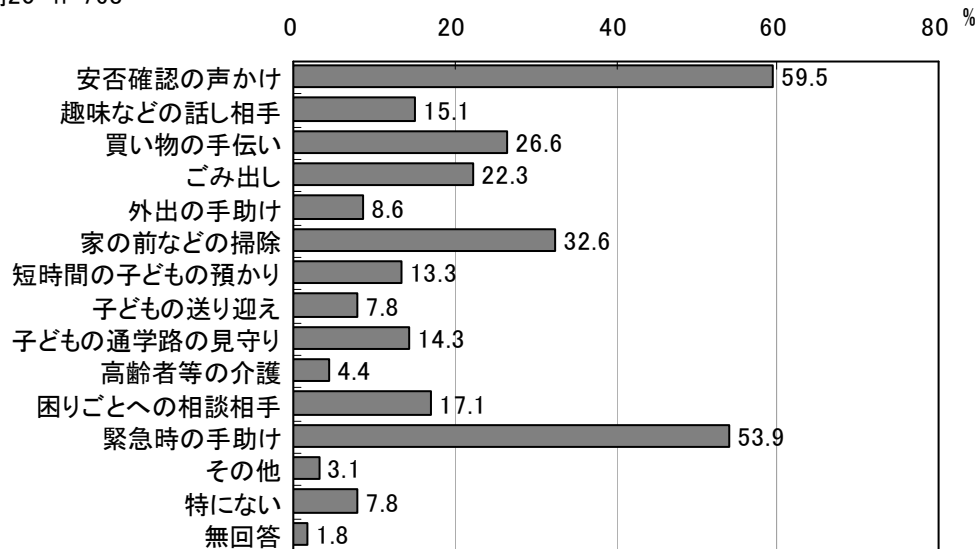
性別にみると、男性では「緊急時の手助け」が最も多くなっていますが、女性では「安否確認の声かけ」が最も多くなっています。

年代別にみると、30 歳以下では「緊急時の手助け」、40 歳以上では「安否確認の声かけ」が最も多くなっています。また、「趣味などの話し相手」が 20 歳代で 3 割弱と比較的多くなっています。

家族構成別にみると、その他の世帯をのぞくすべての世帯で「安否確認の声かけ」が最も多くなっています。また、ひとり暮らしの世帯で「外出の手助け」、二世帯世帯で「短時間の子どもの預かり」や「子どもの送り迎え」が比較的多くなっています。

住居形態別にみると、一戸建てや共同住宅（持家）では「安否確認の声かけ」が最も多くなっていますが、共同住宅（賃貸）では「緊急時の手助け」が最も多くなっています。

問20 n=768



■性別／年代／家族構成別／住居形態別

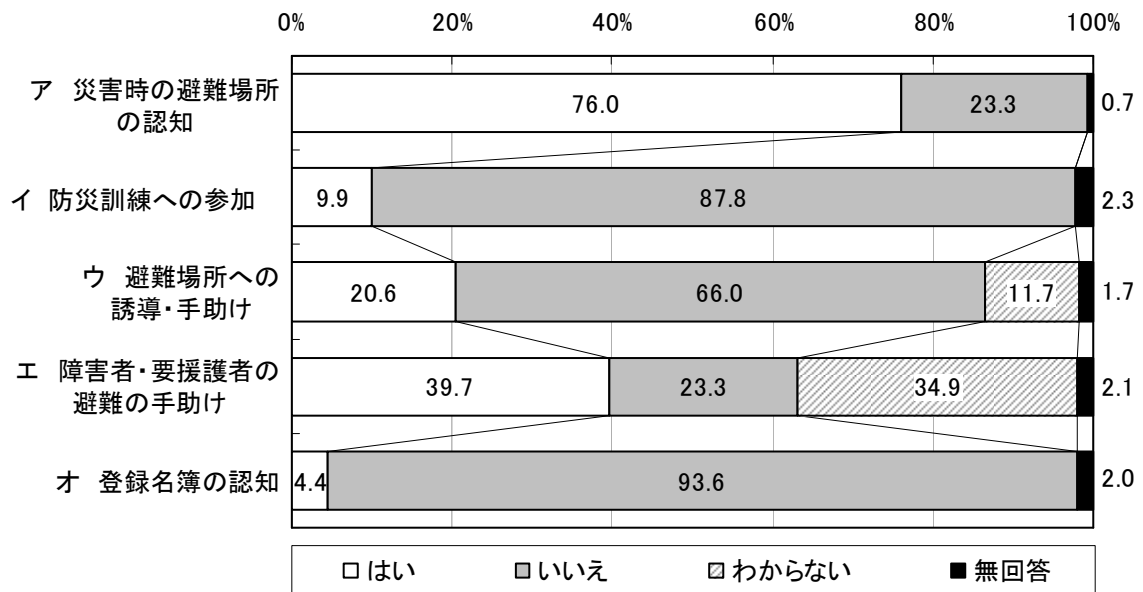
単位：%		n数	安否確認の声かけ	趣味などの話し相手	買い物の手伝い	ごみ出し	外出の手助け	家の前などの掃除	短時間の子ども預かり	子どもの送り迎え	子どもの通学見守り	高齢者の介護	困りごとへの相談相手	緊急時の手助け	その他	特になし	無回答
性別	男性	270	54.1	11.9	20.0	15.6	8.5	27.0	5.9	5.2	13.3	5.2	18.1	56.7	2.2	10.7	1.1
	女性	488	62.3	17.0	30.5	25.6	8.6	35.5	17.4	9.2	14.5	3.9	16.4	52.3	3.5	6.1	2.3
年代別	20歳代	80	48.8	28.8	22.5	18.8	5.0	16.3	11.3	7.5	2.5	6.3	18.8	56.3	1.3	16.3	0.0
	30歳代	136	58.1	17.6	23.5	17.6	5.9	18.4	16.9	9.6	16.9	2.9	14.7	60.3	0.7	5.9	0.7
	40歳代	138	59.4	11.6	26.8	20.3	8.0	30.4	18.8	10.9	18.1	2.9	18.8	50.7	2.9	6.5	1.4
	50歳代	135	62.2	15.6	29.6	26.7	10.4	40.7	17.8	8.9	18.5	3.7	16.3	57.8	3.0	8.9	0.7
	60歳代	135	68.9	10.4	35.6	30.4	13.3	45.9	11.1	6.7	14.8	6.7	18.5	55.6	2.2	5.2	2.2
	70歳代	94	56.4	11.7	21.3	18.1	9.6	37.2	2.1	4.3	6.4	2.1	17.0	50.0	8.5	5.3	3.2
	80歳以上	43	48.8	11.6	18.6	11.6	2.3	32.6	4.7	0.0	11.6	9.3	14.0	32.6	7.0	14.0	9.3
家族構成別	ひとり暮らし	94	50.0	17.0	22.3	22.3	12.8	23.4	2.1	2.1	4.3	3.2	14.9	47.9	4.3	13.8	3.2
	夫婦のみ	198	62.1	13.1	19.7	23.7	6.6	35.4	9.1	6.1	11.1	4.0	18.2	56.6	3.0	7.6	1.0
	二世帯世帯	404	61.1	16.1	31.7	23.0	8.9	32.9	18.8	10.4	18.8	5.0	16.8	53.7	2.5	6.9	1.7
	三世帯世帯	36	61.1	8.3	19.4	13.9	5.6	27.8	8.3	5.6	8.3	2.8	27.8	55.6	8.3	2.8	2.8
住居形態別	その他	30	43.3	20.0	26.7	6.7	6.7	43.3	6.7	3.3	6.7	3.3	6.7	56.7	3.3	6.7	3.3
	一戸建て(持家)	382	62.0	11.8	30.1	21.5	8.1	43.5	13.4	8.6	15.4	5.8	16.0	55.8	3.4	6.0	2.4
	一戸建て(借家)	30	76.7	30.0	20.0	26.7	16.7	33.3	20.0	23.3	26.7	13.3	26.7	60.0	3.3	0.0	0.0
	共同住宅(持家)	124	59.7	13.7	28.2	28.2	9.7	22.6	14.5	6.5	15.3	2.4	19.4	53.2	2.4	7.3	1.6
	共同住宅(賃貸)	134	50.7	23.9	22.4	17.2	6.0	16.4	10.4	4.5	8.2	1.5	18.7	53.0	3.0	11.9	1.5
	公営住宅	33	60.6	3.0	15.2	30.3	21.2	24.2	9.1	9.1	21.2	6.1	9.1	57.6	6.1	12.1	3.0
	社宅・寮・官舎	33	60.6	21.2	24.2	24.2	3.0	18.2	27.3	3.0	12.1	3.0	12.1	48.5	0.0	9.1	0.0
その他	12	33.3	25.0	25.0	25.0	8.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3	8.3	16.7	0.0	

問 21 あなたは防災に対する日ごろからの取り組みや、災害などの緊急時の対応について、どのようにお考えですか。（それぞれひとつだけ〇）

防災に対する日ごろからの取り組みや、災害などの緊急時の対応への考え方については、“災害時の避難場所の認知”で「はい（知っている）」が76.0%と最も多くなっているものの、“防災訓練への参加”や“災害時要援護者登録名簿の認知”については「はい（参加している／知っている）」が1割を切っている状況です。

また、“避難場所への誘導・手助け”や“障害者・要援護者の避難の手助け”では、「わからない」と回答する方が1割強から3割強みられます。

問21 n=768



■性別／年代／家族構成別／住居形態別

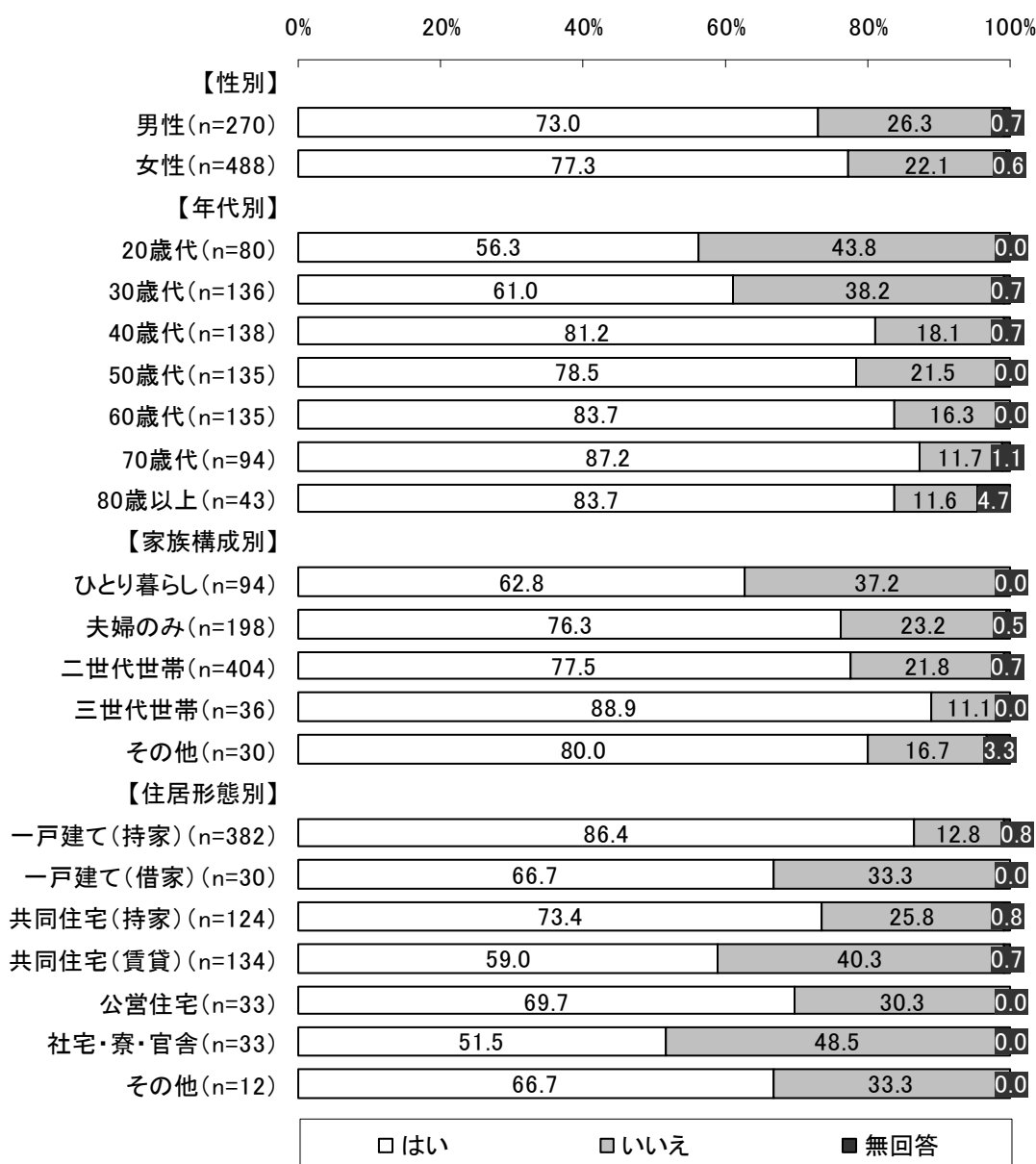
ア. 災害時の避難場所の認知

災害時の避難場所の認知については、年代別にみると、40歳以上では「はい（知っている）」が8割程度から9割弱となっています。一方で、20～30歳代では「いいえ（知らない）」が4割程度となっています。

性別にみると、性別で大きな違いはみられません。

家族構成別にみると、ひとり暮らし世帯をのぞくすべての世帯で「はい（知っている）」が7割から8割を超えています。一方で、ひとり暮らし世帯では「いいえ（知らない）」が4割弱となっています。

住居形態別にみると、一戸建て（持家）では「はい（知っている）」が8割を超えていますが、共同住宅（賃貸）では「いいえ（知らない）」が4割を超えています。



■性別／年代／家族構成別／住居形態別

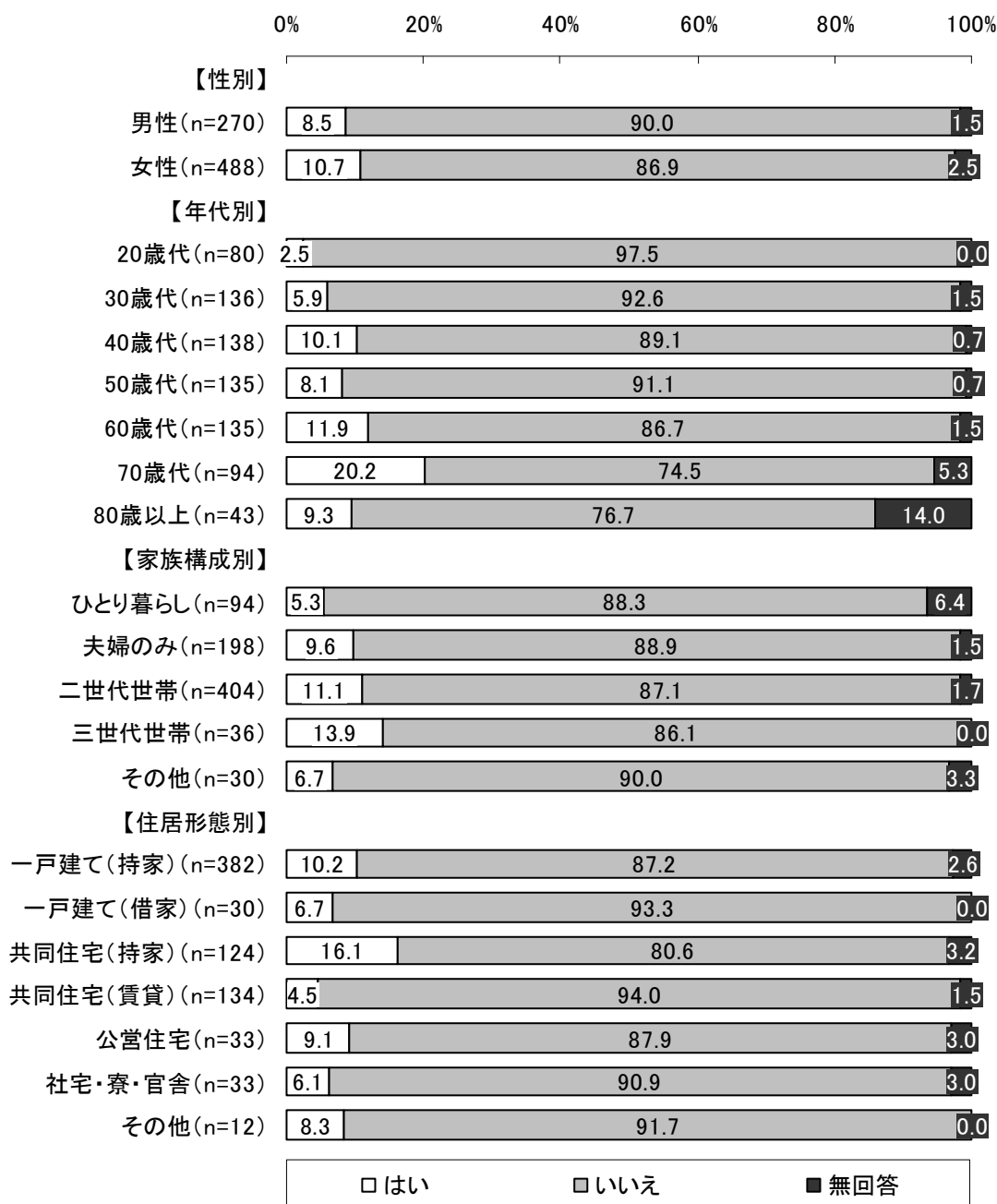
イ. 防災訓練への参加

防災訓練への参加については、年代別にみると、年代とともに「はい（参加している）」がおおむね多くなっています。

性別にみると、性別で大きな違いはみられません。

家族構成別にみると、世帯の構成人数が増えるほど、「はい（参加している）」の割合が上昇しています。

住居形態別にみると、一戸建て（持家）や共同住宅（持家）で「はい（参加している）」が1割を超えて多くなっています。



■性別／年代／家族構成別／住居形態別

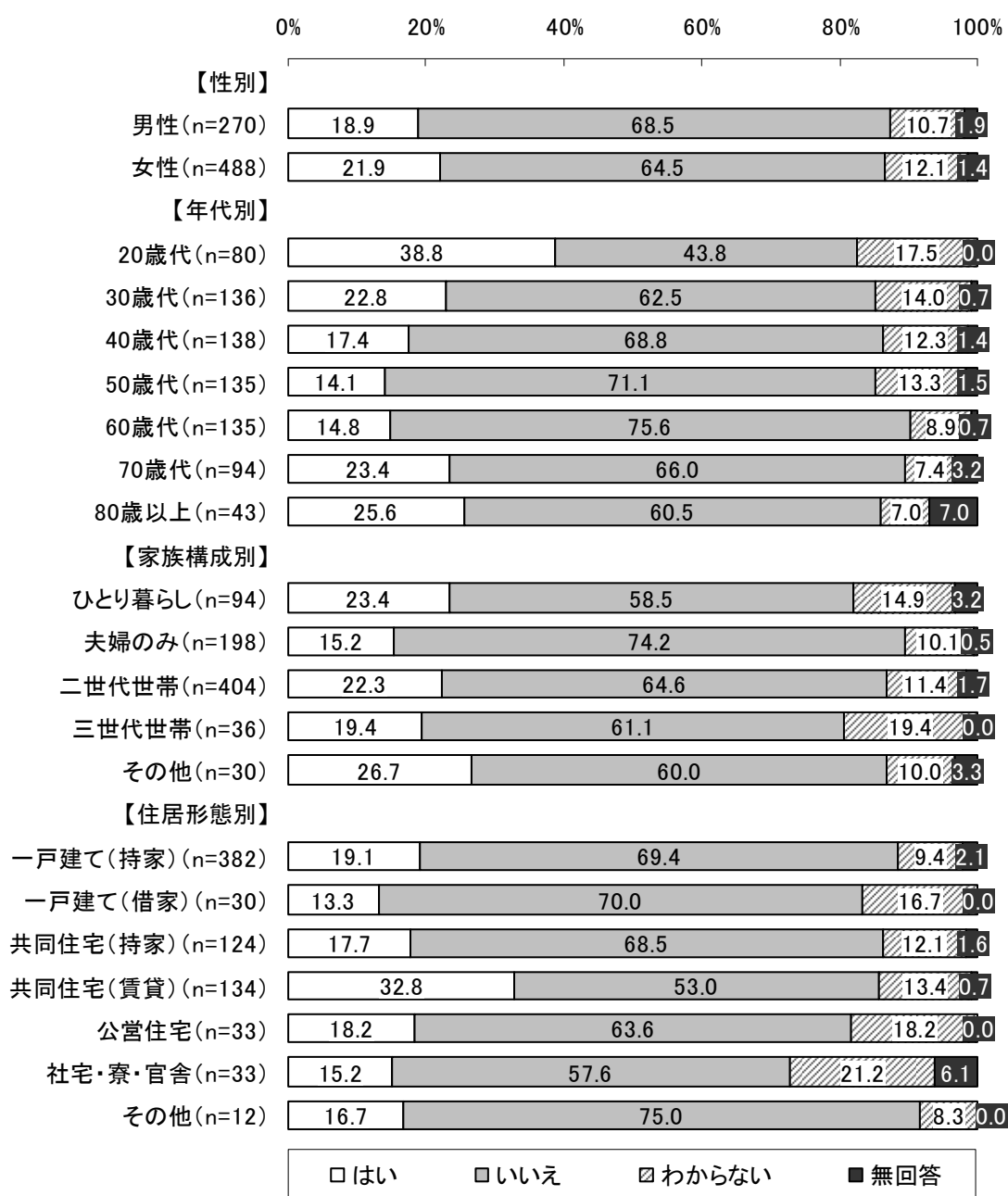
ウ. 避難場所への誘導・手助け

避難場所への誘導・手助けについては、年代別にみると、20歳代から50歳代で年代とともに「はい（できる）」の割合が減少しているものの、60歳以上では年代とともに上昇しています。

性別にみると、性別で大きな違いはみられません。

家族構成別にみると、ひとり暮らし世帯や二世帯世帯では「はい（できる）」の割合が2割を超え、比較的多くなっています。また、三世帯世帯では「はい（できる）」と「わからない」の割合がともに19.4%となっています。

住居形態別にみると、共同住宅（賃貸）で「はい（できる）」が3割を超えて比較的多くなっています。



■性別／年代／家族構成別／住居形態別

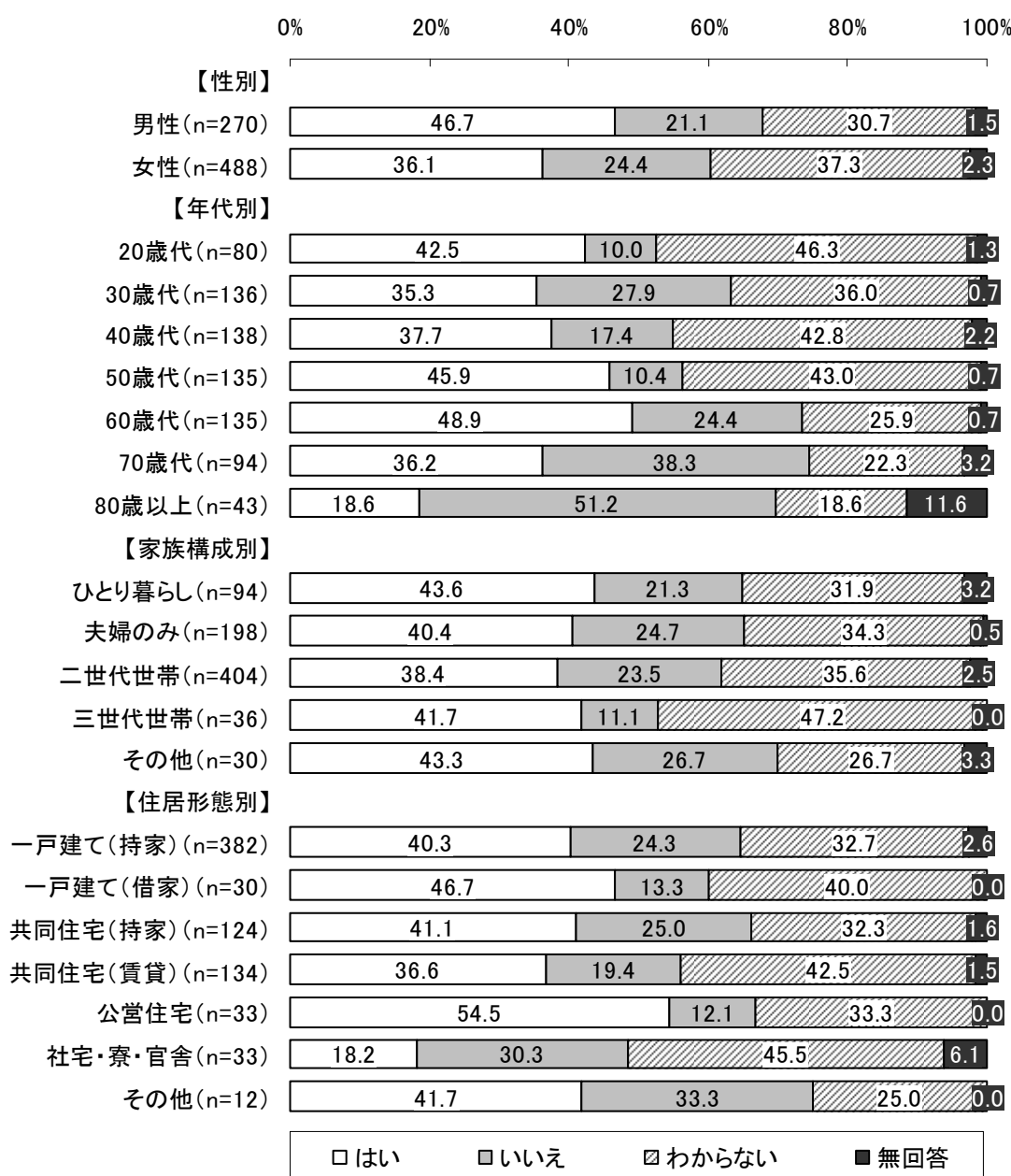
エ. 障害者・要援護者の避難の手助け

障害者・要援護者の避難の手助けについては、年代別にみると、40歳以下では「わからない」、50～60歳では「はい（できる）」、70歳以上では「いいえ（できない）」が多く、年代によって考え方に差があることがうかがえます。

性別にみると、男性では「はい（できる）」が5割弱と最も多くなっていますが、女性では「いいえ（できない）」が最も多くなっています。

家族構成別にみると、二世帯世帯までは世帯の構成人数が少なくなるほど、「はい（できる）」の割合が減少しています。また、三世帯世帯では「わからない」が半数弱となっています。

住居形態別にみると、一戸建てや共同住宅（持家）では「はい（できる）」が最も多くなっていますが、共同住宅（賃貸）では「わからない」が最も多くなっています。



■性別／年代／家族構成別／住居形態別

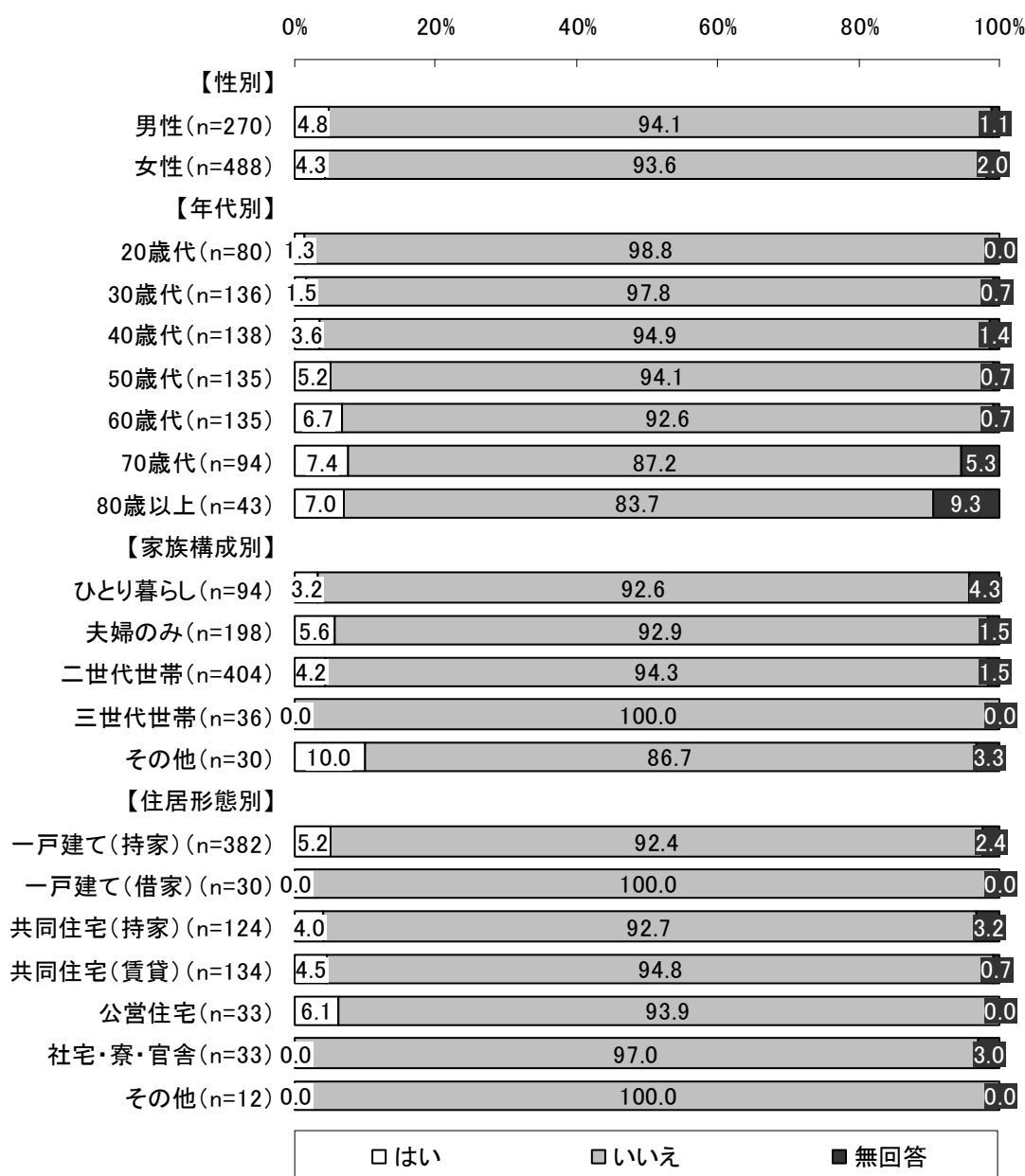
オ. 災害時要援護者登録名簿の認知

災害時要援護者登録名簿の認知については、年代別にみると、70歳代までは年代とともに「はい（知っている）」が多くなっているものの、すべての世帯で1割に満たない状況です。

性別にみると、性別で大きな違いはみられません。

家族構成別にみると、その他の世帯では「はい（知っている）」がやや多く1割となっているものの、すべての世帯で「いいえ（知らない）」が多く、三世帯世帯では100.0%となっています。

住居形態別にみると、一戸建て（持家）や共同住宅などで「はい（知っている）」がやや多くなっています。



問 22 災害時要援護者の情報をどのように支援者に知らせるべきだと思いますか。

(ひとつだけ○)

支援者への災害時要援護者に関する情報提供の方法については、「平常時より知ってもらう」が66.7%と最も多く、次いで「わからない」が22.7%となっています。

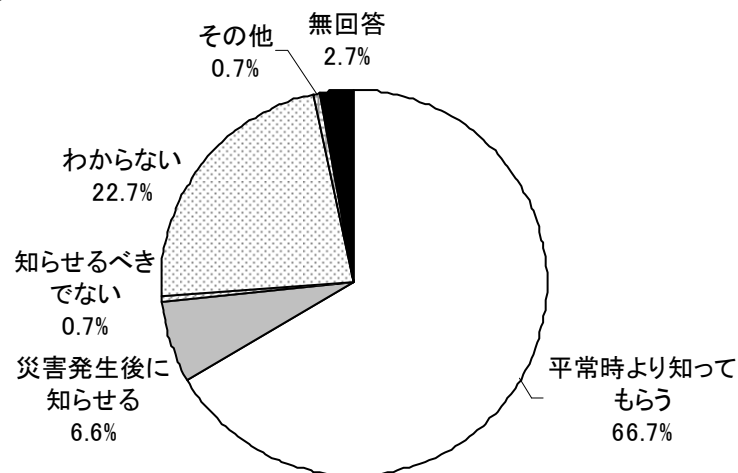
性別にみると、女性の方が「平常時より知ってもらう」が約7割と比較的多くなっています。

年代別にみると、「平常時より知ってもらう」が年代とともにおおむね減少し、「わからない」が多くなっている傾向がうかがえます。

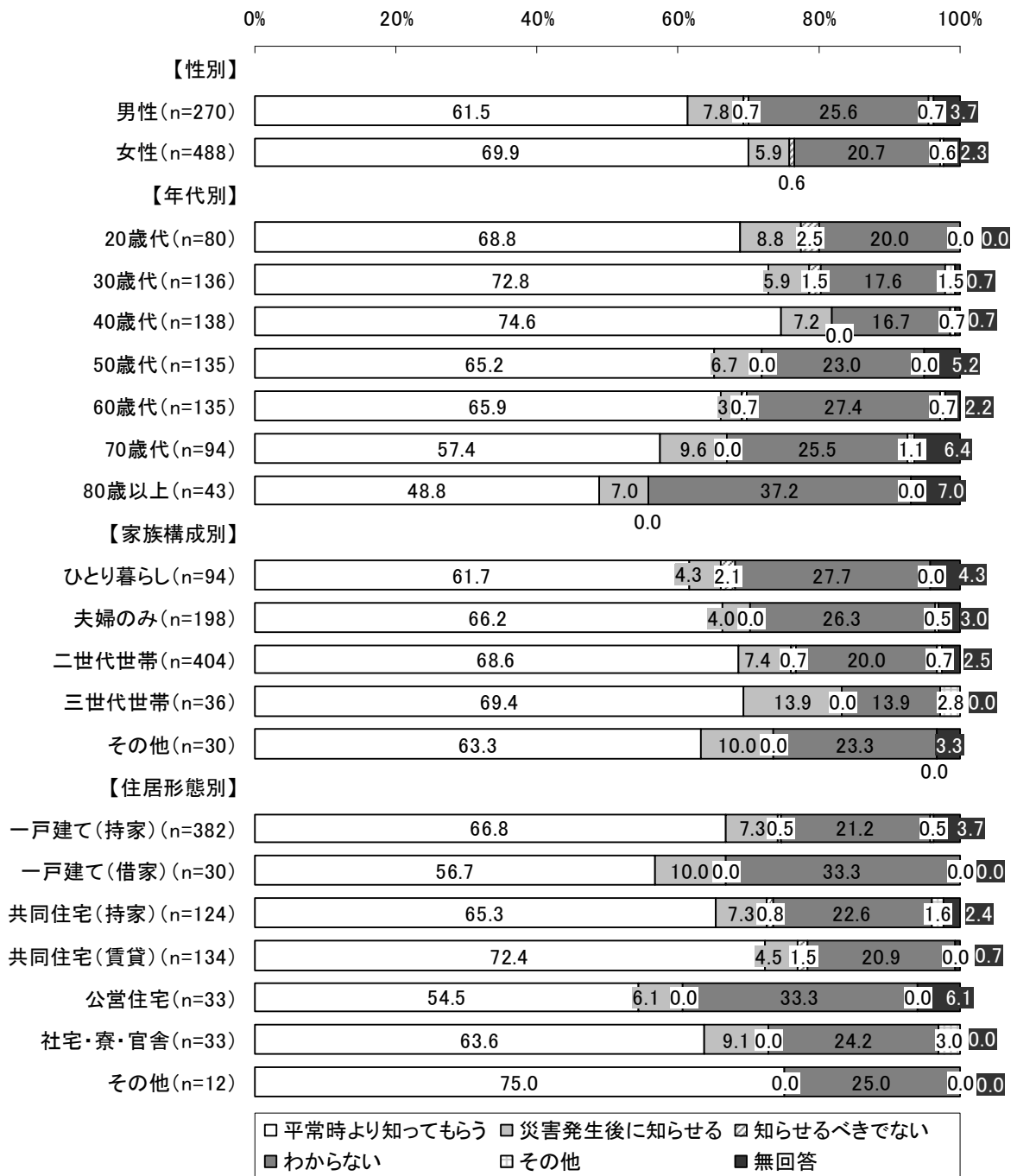
家族構成別にみると、世帯の構成人数が増えるほど、「わからない」の割合が減少しています。また、三世帯世帯とその他の世帯では「災害発生時に知らせる」が1割超え、比較的多くなっています。

住居形態別にみると、一戸建て（持家）や共同住宅で「平常時より知ってもらう」が比較的多くなっています。

問22 n=768



■性別／年代／家族構成別／住居形態別



4. 地域活動やボランティア活動などについて

問23 あなたは、地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動等について、取り組んでいますか。(ひとつだけ○)

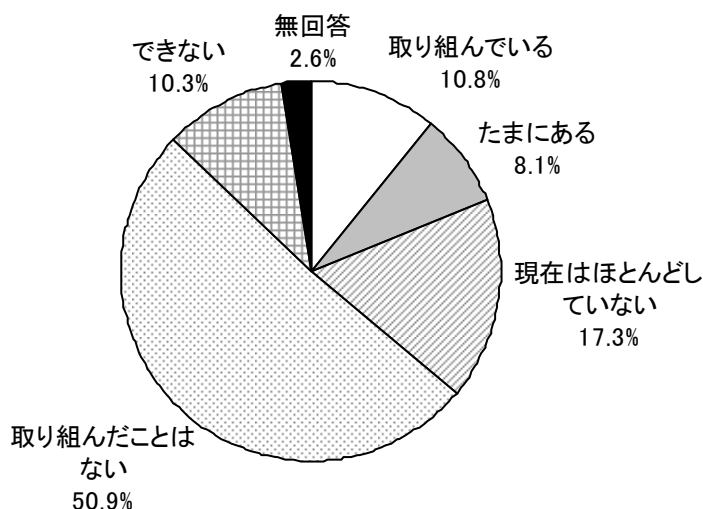
地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動等への取り組み状況については、「取り組んだことはない」が50.9%と約半数を占め最も多く、次いで「現在はほとんどしていない」が17.3%となっており、「できない」と回答した方と合わせると、8割弱の方が『取り組んでいない』となっています。

年代別にみると、70歳代までは「取り組んでいる」が年代とともに上昇しているものの、すべての世帯で「取り組んだことはない」が最も多くなっています。

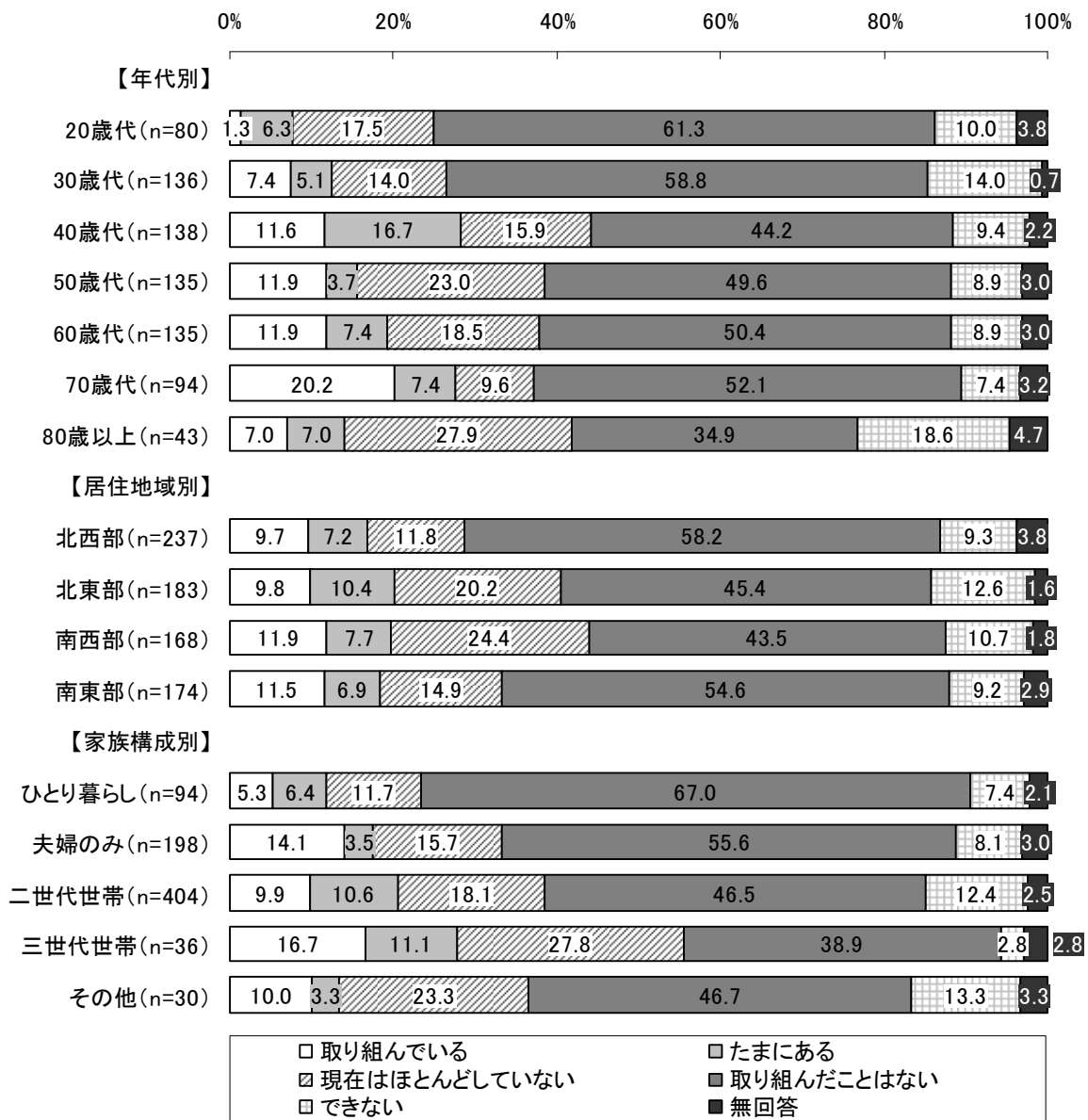
居住地域別にみると、南部（南西部・南東部）で「取り組んでいる」が1割を超え、比較的多くなっています。また、北東部と南西部では「現在はほとんどしていない」が2割を超え、比較的多くなっています。

家族構成別にみると、世帯の構成人数が増えるほど、「取り組んでいる」と「たまにある」を合わせた『取り組んだことがある』の割合が上昇しています。また、三世帯世帯で「現在はほとんどしていない」が3割弱となっています。

問23 n=768



■年代／居住地／家族構成別



問 23-1 《問 23 で「現在、継続的に取り組んでいる」「たまに、取り組むことがある」「取り組んだことはあるが、現在はほとんどしていない」と答えた方》
 どんな活動をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

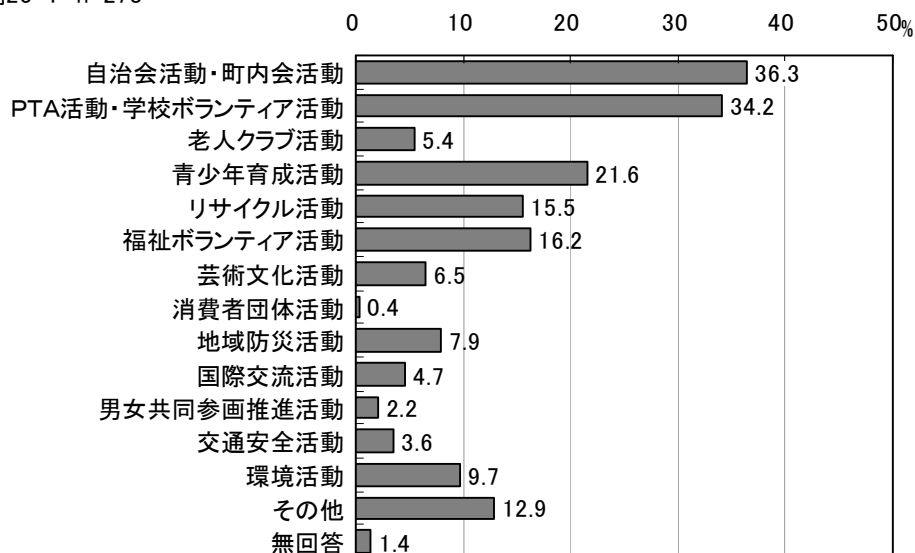
取り組み内容については、「自治会活動・町内会活動」が 36.3%と最も多く、次いで「PTA活動・学校ボランティア活動」が 34.2%、「青少年育成活動」が 21.6%となっています。

年代別にみると、20 歳代では「福祉ボランティア活動」、30～50 歳代では「PTA活動・学校ボランティア活動」、60～70 歳代では「自治会活動・町内会活動」、80 歳以上では「老人クラブ」活動が多くなっています。

居住地域別にみると、北東部では「PTA活動・学校ボランティア活動」、その他の地域では「自治会活動・町内会活動」が多くなっています。

家族構成別にみると、世帯によって活動の範囲は多岐にわたっており、二世帯世帯や三世帯世帯では「PTA活動・学校ボランティア活動」や「青少年育成活動」など、子どもに関わる活動が多くなっています。

問23-1 n=278



■年代／居住地域／家族構成別

単位:%	n数	自治会活動・町内会活動	PTA活動・学校ボランティア活動	老人クラブ活動	青少年育成活動	リサイクル活動	福祉ボランティア活動	芸術文化活動	消費者団体活動	地域防災活動	国際交流活動	男女共同参画推進活動	交通安全活動	環境活動	その他	無回答	
年代別	20歳代	20	5.0	30.0	0.0	25.0	30.0	40.0	5.0	0.0	10.0	5.0	0.0	0.0	10.0	20.0	0.0
	30歳代	36	22.2	41.7	0.0	19.4	13.9	13.9	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	5.6	5.6	11.1	2.8
	40歳代	61	39.3	60.7	0.0	32.8	19.7	3.3	1.6	1.6	3.3	4.9	3.3	1.6	4.9	6.6	1.6
	50歳代	52	38.5	40.4	1.9	28.8	9.6	17.3	7.7	0.0	7.7	5.8	1.9	3.8	9.6	15.4	1.9
	60歳代	51	49.0	13.7	3.9	15.7	17.6	21.6	9.8	0.0	9.8	5.9	0.0	2.0	17.6	7.8	2.0
	70歳代	35	45.7	8.6	17.1	8.6	14.3	22.9	5.7	0.0	14.3	0.0	5.7	2.9	11.4	25.7	0.0
	80歳以上	18	27.8	11.1	33.3	5.6	5.6	11.1	11.1	0.0	22.2	0.0	5.6	16.7	5.6	11.1	0.0
居住地域別	北西部	68	30.9	26.5	5.9	11.8	19.1	17.6	5.9	0.0	5.9	4.4	5.9	2.9	10.3	17.6	1.5
	北東部	74	39.2	43.2	5.4	23.0	16.2	16.2	5.4	1.4	8.1	1.4	1.4	5.4	8.1	12.2	1.4
	南西部	74	43.2	33.8	1.4	24.3	14.9	17.6	5.4	0.0	9.5	8.1	1.4	4.1	10.8	12.2	2.7
	南東部	58	31.0	29.3	10.3	27.6	12.1	13.8	10.3	0.0	8.6	5.2	0.0	1.7	8.6	8.6	0.0
家族構成別	ひとり暮らし	22	18.2	4.5	0.0	0.0	9.1	13.6	13.6	0.0	13.6	9.1	4.5	0.0	9.1	22.7	0.0
	夫婦のみ	66	39.4	13.6	10.6	18.2	16.7	19.7	10.6	0.0	7.6	3.0	4.5	3.0	12.1	15.2	3.0
	二世帯世帯	156	40.4	47.4	2.6	25.6	16.7	14.1	2.6	0.6	8.3	5.8	0.6	5.1	8.3	11.5	0.6
	三世帯世帯	20	25.0	25.0	5.0	30.0	10.0	20.0	15.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	5.0	15.0	5.0
	その他	11	18.2	27.3	27.3	9.1	18.2	27.3	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	27.3	0.0	0.0

**問 23-2 《問 23 で「取り組んだことはない」「取り組むことができない」と答えた方》
現在活動していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)**

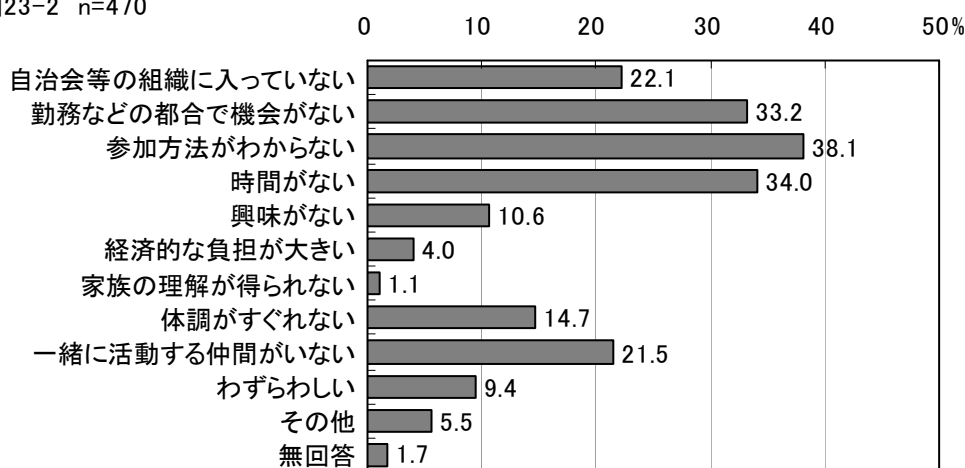
現在活動していない理由については、「参加方法がわからない」が 38.1%と最も多く、次いで「時間がない」が 34.0%、「勤務などの都合で機会がない」が 33.2%となっています。

年代別にみると、20～30 歳代と 60 歳代では「参加方法がわからない」、40～50 歳代では「勤務などの都合で機会がない」、70 歳以上で「体調がすぐれない」が最も多くなっています。また、40 歳代では「時間がない」も多くなっています。

居住地域別にみると、西部（北西部・南西部）では「勤務などの都合で機会がない」、北東部では「時間がない」、南東部では「参加方法がわからない」が最も多くなっています。

家族構成別にみると、すべての世帯で「勤務などの都合で機会がない」、「参加方法がわからない」、「時間がない」のいずれかが最も多くなっています。また、ひとり暮らし世帯や夫婦のみの世帯では「興味がない」や「一緒に活動する仲間がいない」、三世帯世帯では「経済的な負担が大きい」も多くなっています。

問23-2 n=470



■年代／居住地域／家族構成別

単位:%	n数	自治会等の組織に入っていない	勤務などの都合で機会がない	参加方法がわからない	時間がない	興味がない	経済的な負担が大きい	家族の理解が得られない	体調がすぐれない	一緒に活動する仲間がいない	わずらわしい	その他	無回答	
年代別	20歳代	57	35.1	47.4	49.1	47.4	17.5	7.0	0.0	3.5	21.1	12.3	1.8	0.0
	30歳代	99	28.3	38.4	41.4	38.4	15.2	2.0	1.0	6.1	18.2	9.1	7.1	1.0
	40歳代	74	29.7	41.9	40.5	41.9	4.1	5.4	1.4	5.4	27.0	5.4	1.4	0.0
	50歳代	79	15.2	44.3	41.8	38.0	10.1	5.1	2.5	11.4	19.0	8.9	5.1	0.0
	60歳代	80	11.3	27.5	37.5	28.8	10.0	6.3	1.3	20.0	22.5	11.3	2.5	2.5
	70歳代	56	16.1	5.4	25.0	16.1	8.9	0.0	0.0	35.7	25.0	12.5	14.3	5.4
	80歳以上	23	17.4	0.0	13.0	8.7	4.3	0.0	0.0	47.8	17.4	4.3	13.0	4.3
	居住地域別	北西部	160	20.0	38.1	35.6	36.3	11.3	2.5	0.6	14.4	18.1	8.8	8.8
北東部		106	22.6	28.3	36.8	39.6	8.5	2.8	1.9	15.1	19.8	6.6	3.8	0.9
南西部		91	13.2	33.0	31.9	28.6	12.1	7.7	1.1	14.3	20.9	6.6	6.6	1.1
南東部		111	32.4	31.5	48.6	30.6	10.8	4.5	0.9	14.4	28.8	15.3	1.8	0.9
家族構成別	ひとり暮らし	70	30.0	40.0	34.3	22.9	15.7	8.6	0.0	14.3	25.7	12.9	1.4	2.9
	夫婦のみ	126	20.6	26.2	42.9	35.7	16.7	3.2	1.6	19.0	26.2	14.3	3.2	1.6
	二世帯世帯	238	20.6	34.5	36.1	37.0	7.1	2.9	0.4	11.8	18.1	6.3	8.4	0.8
	三世帯世帯	15	33.3	46.7	46.7	46.7	0.0	13.3	6.7	6.7	13.3	0.0	0.0	6.7
	その他	18	11.1	33.3	44.4	22.2	5.6	0.0	5.6	22.2	27.8	11.1	5.6	0.0

問 24 あなたは、今後、地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動等に、どの程度取り組んでいきたいと考えていますか。(ひとつだけ○)

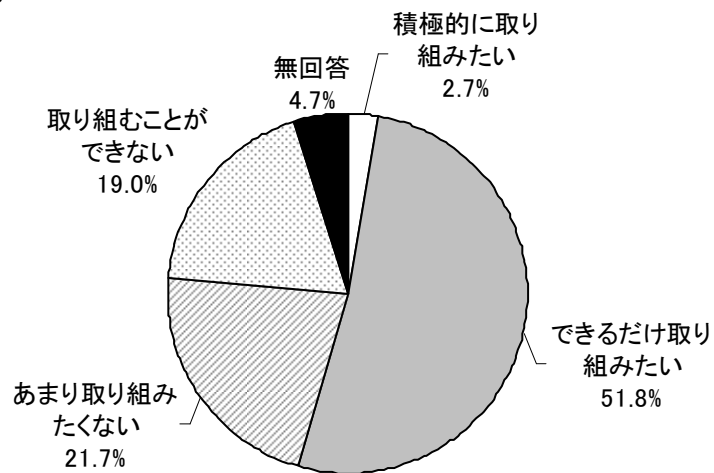
今後の取り組みへの意向については、「積極的に取り組みたい」と「できるだけ取り組みたい」を合わせた『取り組みたい』が54.5%と半数を超えています。

年代別にみると、80歳以上では「取り組むことができない」が4割以上と最も多くなっていますが、その他の年代では「できるだけ取り組みたい」が半数前後で多くなっています。

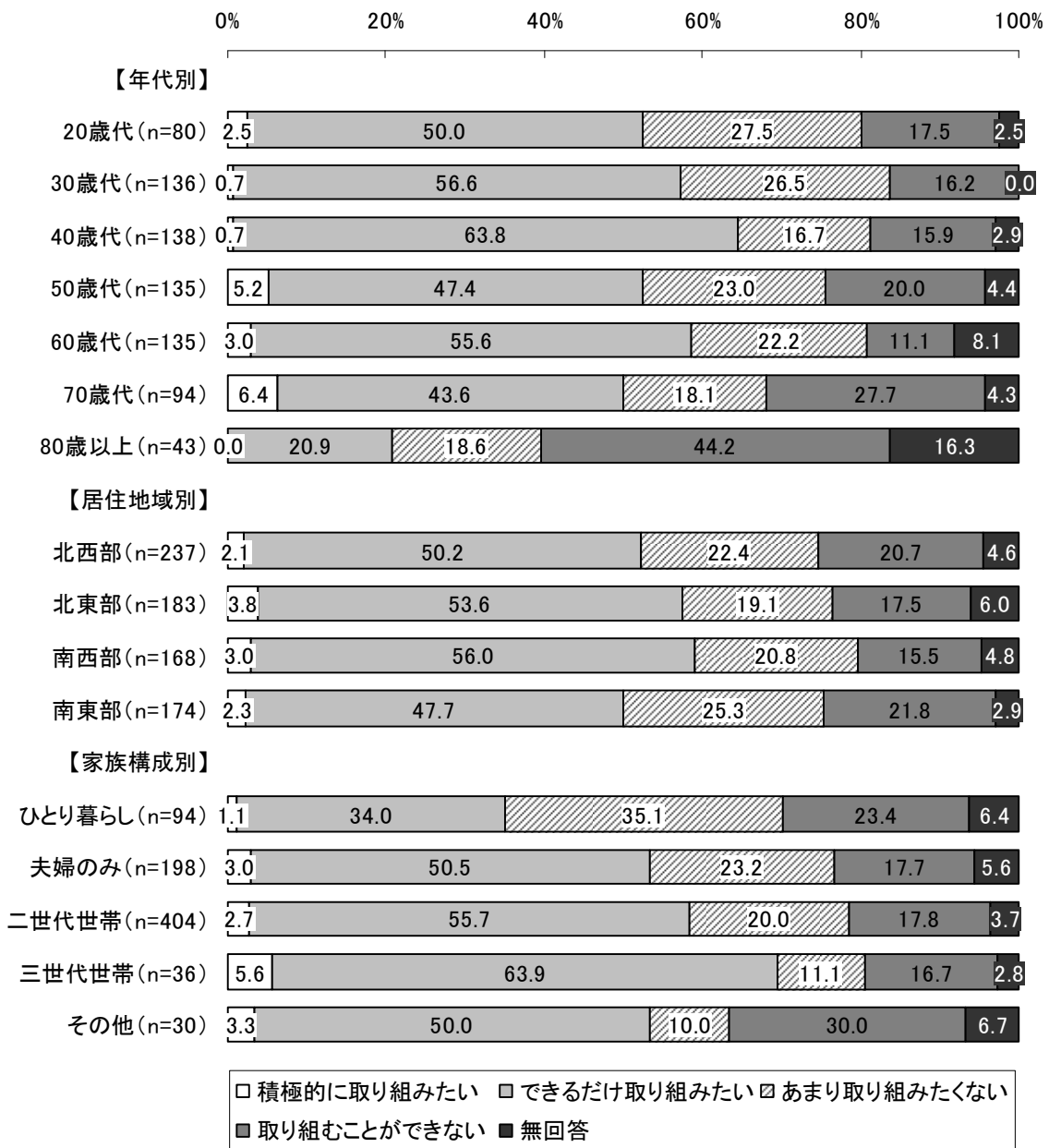
居住地域別にみると、すべての地域で「できるだけ取り組みたい」が最も多くなっています。

家族構成別にみると、世帯の構成人数が増えるほど、『取り組みたい』の割合が上昇しています。

問24 n=768



■年代／居住地／家族構成別



問 24-1 《問 24 で「積極的に、取り組んでいきたい」「できるだけ取り組んでいきたい」と答えた方》

どのような条件であれば、活動・参加したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

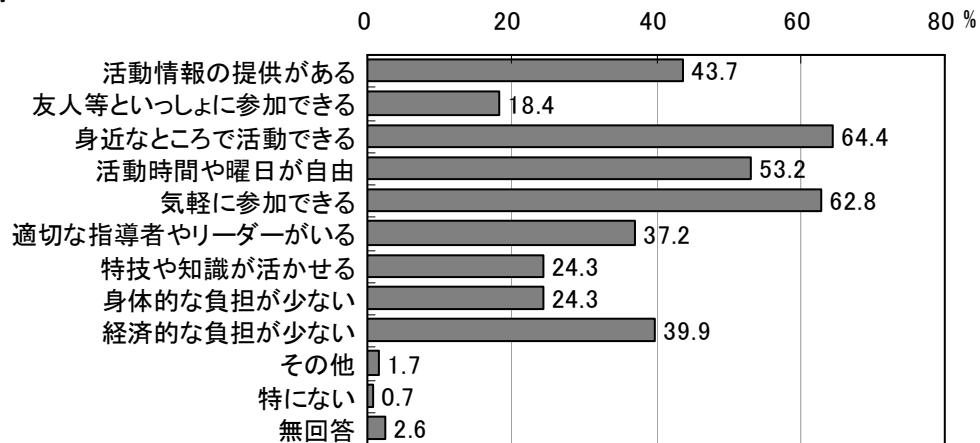
活動・参加の条件については、「身近なところで活動できる」が 64.4%と最も多く、次いで「気軽に参加できる」が 62.8%、「活動時間や日時や曜日が自由」が 53.2%となっており、身近な場所で気軽に自由に活動できることが重要視されていることがうかがえます。

年代別にみると、40 歳代までは「気軽に参加できる」、50 歳以上は「身近なところで活動できる」が最も多くなっています。

居住地域別にみると、北西部では「気軽に参加できる」、その他の地域では「身近なところで活動できる」が最も多くなっています。また、南東部では「気軽に参加できる」も多くなっています。

家族構成別にみると、ひとり暮らし世帯や夫婦のみの世帯では「身近なところで活動できる」、二世帯以上の世帯では「気軽に参加できる」が最も多くなっています。

問24-1 n=419



■年代／居住地域／家族構成別

単位:%	n数	活動情報の提供がある	友人等といっしょに参加できる	身近なところで活動できる	活動時間や曜日が自由	気軽に参加できる	適切な指導者やリーダーがいる	特技や知識が活かせる	身体的な負担が少ない	経済的な負担が少ない	その他	特にない	無回答	
年代別	20歳代	42	47.6	38.1	61.9	54.8	69.0	31.0	35.7	16.7	45.2	0.0	0.0	2.4
	30歳代	78	46.2	23.1	73.1	59.0	75.6	34.6	25.6	14.1	46.2	1.3	0.0	1.3
	40歳代	89	42.7	18.0	64.0	55.1	70.8	36.0	22.5	21.3	41.6	3.4	0.0	1.1
	50歳代	71	57.7	11.3	64.8	56.3	53.5	46.5	22.5	25.4	38.0	0.0	0.0	1.4
	60歳代	79	36.7	8.9	59.5	57.0	53.2	38.0	21.5	34.2	40.5	2.5	2.5	3.8
	70歳代	47	31.9	23.4	70.2	38.3	55.3	40.4	21.3	34.0	27.7	2.1	0.0	2.1
	80歳以上	9	33.3	11.1	33.3	0.0	44.4	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0	11.1	33.3
居住地域別	北西部	124	44.4	16.9	64.5	54.0	65.3	34.7	22.6	21.8	39.5	3.2	1.6	0.8
	北東部	105	41.9	25.7	67.6	50.5	61.9	43.8	18.1	25.7	42.9	1.0	0.0	2.9
	南西部	99	43.4	17.2	61.6	54.5	58.6	34.3	26.3	25.3	36.4	2.0	0.0	5.1
	南東部	87	46.0	13.8	65.5	54.0	65.5	36.8	29.9	23.0	39.1	0.0	1.1	2.3
家族構成別	ひとり暮らし	33	54.5	15.2	69.7	54.5	57.6	39.4	30.3	18.2	36.4	0.0	0.0	0.0
	夫婦のみ	106	44.3	15.1	69.8	46.2	58.5	34.0	22.6	30.2	36.8	3.8	0.9	3.8
	二世帯世帯	236	41.5	19.9	62.7	55.9	66.1	38.6	22.5	20.3	38.1	1.3	0.8	2.5
	三世帯世帯	25	48.0	12.0	56.0	48.0	60.0	36.0	32.0	32.0	48.0	0.0	0.0	4.0
その他	16	50.0	37.5	68.8	62.5	56.3	43.8	25.0	37.5	68.8	0.0	0.0	0.0	

問 24-2 《問 24 で「積極的に、取り組んでいきたい」「できるだけ取り組んでいきたい」と答えた方》
あなたが今後してみたい地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動等は何ですか。(〇は3つ以内)

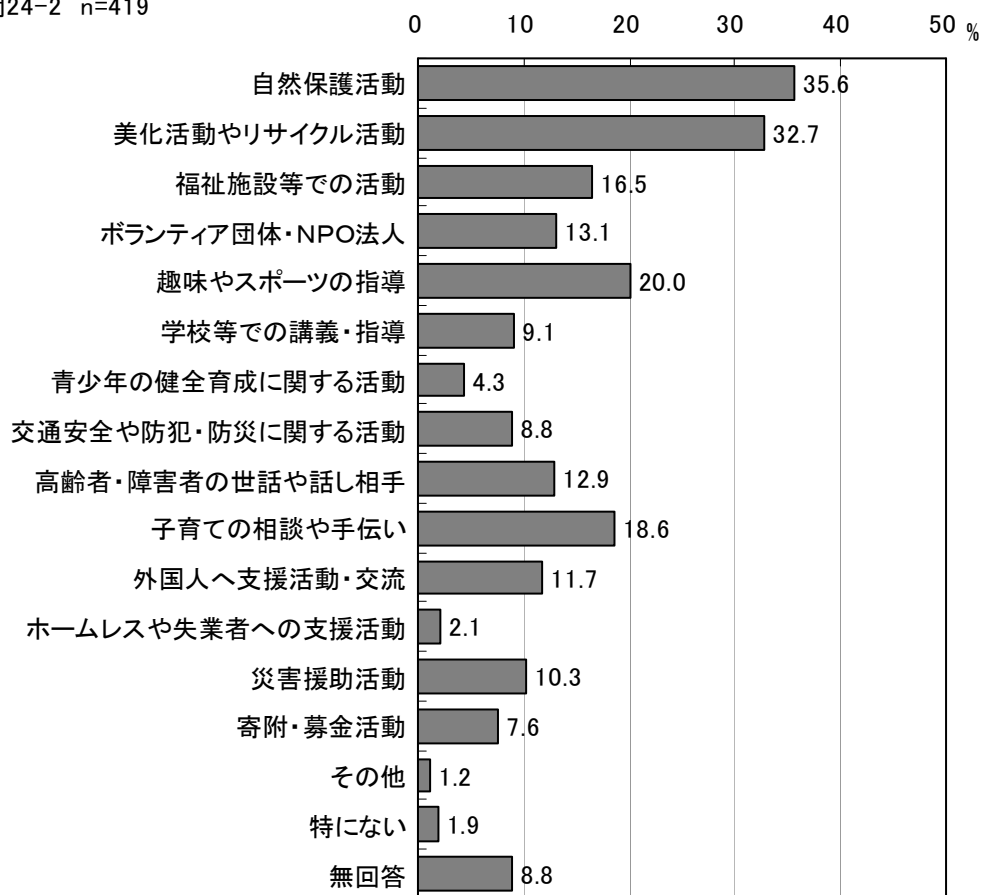
今後取り組みたい地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動等については、「自然保護活動」が35.6%と最も多く、次いで「美化活動やリサイクル活動」が32.7%、「趣味やスポーツの指導」が20.0%となっています。

年代別にみると、20～30歳代では「外国人への支援・交流」や「災害援助活動」があげられているほか、50歳以上では「福祉施設等での活動」があがっています。

居住地域別にみると、地域で大きな違いはみられません。

家族構成別にみると、二世帯世帯や三世帯世帯で「子育ての相談や手伝い」があがっています。

問24-2 n=419



■年代／居住地域／家族構成別（上位5項目）

単位：%	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20歳代 (n=42)	美化活動やリサイクル活動 35.7	自然保護活動 33.3	趣味やスポーツの指導 26.2	高齢者・障害者の世話や話し相手 19.0	外国人へ支援活動・交流 19.0
30歳代 (n=78)	自然保護活動 42.3	美化活動やリサイクル活動 33.3	趣味やスポーツの指導 28.2	子育ての相談や手伝い 28.2	災害援助活動 17.9
40歳代 (n=89)	自然保護活動 43.8	美化活動やリサイクル活動 37.1	子育ての相談や手伝い 23.6	趣味やスポーツの指導 22.5	
50歳代 (n=71)	美化活動やリサイクル活動 35.2	自然保護活動 31.0	子育ての相談や手伝い 22.5	趣味やスポーツの指導 22.5	福祉施設等での活動 22.5
60歳代 (n=79)	美化活動やリサイクル活動 27.8	福祉施設等での活動 26.6	自然保護活動 25.3	高齢者・障害者の世話や話し相手 22.8	
70歳代 (n=47)	自然保護活動 38.3	美化活動やリサイクル活動 31.9	ボランティア団体・NPO法人 21.3	福祉施設等での活動 14.9	趣味やスポーツの指導 12.8
80歳以上 (n=9)	福祉施設等での活動 22.2	寄附・募金活動 22.2	高齢者・障害者の世話や話し相手 22.2		
北西部 (n=124)	自然保護活動 36.3	美化活動やリサイクル活動 30.6	趣味やスポーツの指導 24.2	福祉施設等での活動 17.7	
北東部 (n=105)	美化活動やリサイクル活動 36.2	自然保護活動 32.4	趣味やスポーツの指導 19.0	子育ての相談や手伝い 19.0	福祉施設等での活動 17.1
南西部 (n=99)	自然保護活動 37.4	美化活動やリサイクル活動 33.3	子育ての相談や手伝い 21.2	福祉施設等での活動 19.2	
南東部 (n=87)	自然保護活動 35.6	美化活動やリサイクル活動 32.2	子育ての相談や手伝い 21.8	趣味やスポーツの指導 21.8	高齢者・障害者の世話や話し相手 19.5
ひとり暮らし (n=33)	美化活動やリサイクル活動 39.4	自然保護活動 30.3			
夫婦のみ (n=106)	自然保護活動 40.6	美化活動やリサイクル活動 34.0	福祉施設等での活動 19.8	趣味やスポーツの指導 18.9	高齢者・障害者の世話や話し相手 14.2
二世帯世帯 (n=236)	自然保護活動 33.9	美化活動やリサイクル活動 32.2	子育ての相談や手伝い 23.7	趣味やスポーツの指導 19.9	福祉施設等での活動 14.0
三世帯世帯 (n=25)	自然保護活動 36.0	美化活動やリサイクル活動 32.0	趣味やスポーツの指導 32.0	子育ての相談や手伝い 24.0	高齢者・障害者の世話や話し相手 24.0
その他 (n=16)	自然保護活動 37.5	福祉施設等での活動 31.3	美化活動やリサイクル活動 25.0	ボランティア団体・NPO法人 18.8	

問 25 地域の支え合いの仕組みづくりで、あなたが特に必要であると思うことは何ですか。
(〇は3つ以内)

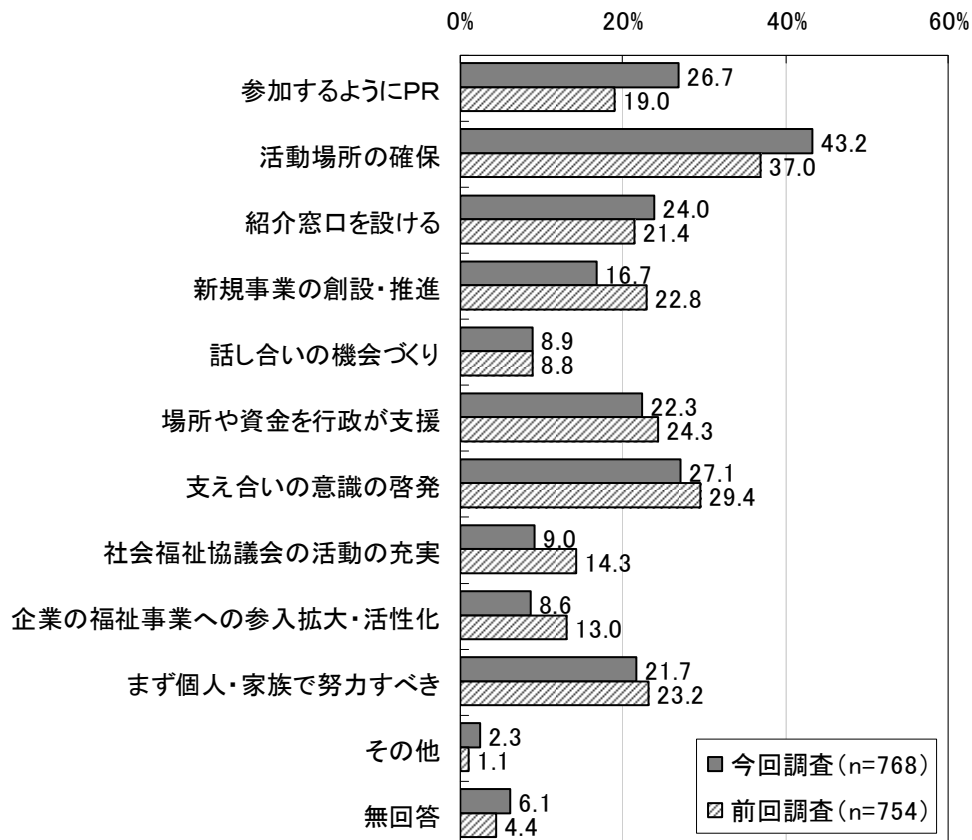
地域の支え合いの仕組みづくりで特に必要だと思うことについては、「活動場所の確保」が43.2%と最も多く、次いで「支え合いの意識の啓発」が27.1%、「参加するようにPR」が26.7%となっています。

前回調査との比較では、「参加するようにPR」、「活動場所の確保」が今回調査で5ポイント以上上昇しているのに対し、「新規事業の創設・推進」、「社会福祉協議会の活動の充実」では5ポイント以上減少しています。

年代別にみると、80歳以上をのぞくすべての年代で「活動場所の確保」が最も多くなっています。また、60歳以上で「まずは個人・家族で努力すべき」が多くなっています。

居住地域別にみると、すべての地域で「活動場所の確保」が最も多くなっており、地域で大きな違いはみられません。

家族構成別にみると、すべての世帯で「活動場所の確保」が最も多くなっているほか、ひとり暮らし世帯や夫婦のみの世帯では「まずは個人・家族で努力すべき」も多くなっています。



■年代／居住地域／家族構成別（上位5項目）

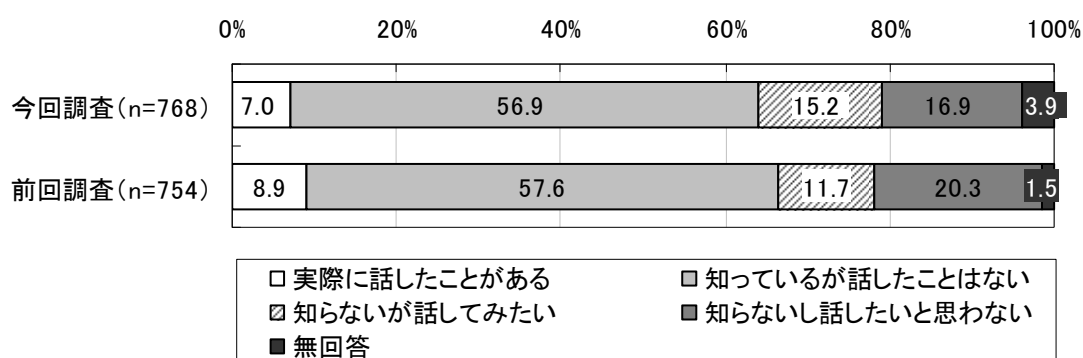
単位：%	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20歳代 (n=80)	活動場所の確保 50.0	支え合いの意識の啓 発 27.5	紹介窓口を設ける 26.3	場所や資金を行政が 支援 22.5	参加するようにPR 21.3
30歳代 (n=136)	活動場所の確保 40.4	紹介窓口を設ける 30.1	参加するようにPR 30.1	支え合いの意識の啓 発 27.2	場所や資金を行政が 支援 27.2
40歳代 (n=138)	活動場所の確保 46.4	支え合いの意識の啓 発 27.5	場所や資金を行政が 支援 24.6	紹介窓口を設ける 23.9	参加するようにPR 23.9
50歳代 (n=135)	活動場所の確保 46.7	支え合いの意識の啓 発 28.9	紹介窓口を設ける 26.7	参加するようにPR 25.9	場所や資金を行政が 支援 23.7
60歳代 (n=135)	活動場所の確保 40.7	支え合いの意識の啓 発 29.6	まず個人・家族で努 力すべき 28.1	参加するようにPR 27.4	紹介窓口を設ける 25.2
70歳代 (n=94)	活動場所の確保 43.6	まず個人・家族で努 力すべき 39.4	参加するようにPR 31.9	支え合いの意識の啓 発 24.5	
80歳以上 (n=43)	まず個人・家族で努 力すべき 39.5	活動場所の確保 23.3	参加するようにPR 20.9		
北西部 (n=237)	活動場所の確保 40.5	支え合いの意識の啓 発 26.2	参加するようにPR 25.7	紹介窓口を設ける 24.9	場所や資金を行政が 支援 23.2
北東部 (n=183)	活動場所の確保 47.0	支え合いの意識の啓 発 27.3	参加するようにPR 26.2	まず個人・家族で努 力すべき 22.4	紹介窓口を設ける 19.1
南西部 (n=168)	活動場所の確保 44.6	支え合いの意識の啓 発 29.8	参加するようにPR 28.0	紹介窓口を設ける 26.8	場所や資金を行政が 支援 23.8
南東部 (n=174)	活動場所の確保 41.4	参加するようにPR 27.0	支え合いの意識の啓 発 25.9	紹介窓口を設ける 25.9	場所や資金を行政が 支援 25.3
ひとり暮らし (n=94)	活動場所の確保 34.0	支え合いの意識の啓 発 29.8	まず個人・家族で努 力すべき 26.6	紹介窓口を設ける 22.3	参加するようにPR 18.1
夫婦のみ (n=198)	活動場所の確保 44.9	まず個人・家族で努 力すべき 29.8	参加するようにPR 27.3	紹介窓口を設ける 25.8	場所や資金を行政が 支援 23.7
二世帯世帯 (n=404)	活動場所の確保 44.6	参加するようにPR 28.0	支え合いの意識の啓 発 28.0	紹介窓口を設ける 25.5	場所や資金を行政が 支援 23.0
三世帯世帯 (n=36)	活動場所の確保 38.9	参加するようにPR 36.1	支え合いの意識の啓 発 36.1	場所や資金を行政が 支援 22.2	
その他 (n=30)	活動場所の確保 46.7	支え合いの意識の啓 発 26.7	参加するようにPR 23.3	まず個人・家族で努 力すべき 23.3	場所や資金を行政が 支援 20.0

5. 福祉サービスなどについて

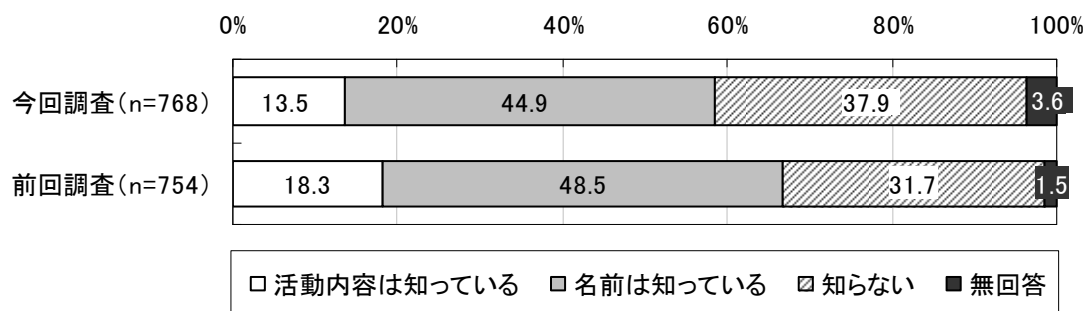
問 26 あなたは、次の福祉関係団体等について、どの程度ご存知ですか。（それぞれひとつだけ〇）

福祉関係団体の認知度については、①民生委員・児童委員は、今回調査、前回調査とも「知っているが話したことはない」が半数以上と最も多くなっており、その傾向に大きな変化はみられません。②社会福祉協議会は、今回調査で「活動内容は知っている」と「名前は知っている」の『知っている』が1割弱減少しています。③シルバー人材センターは、傾向に大きな変化はみられないものの、『知っている』がやや減少しています。

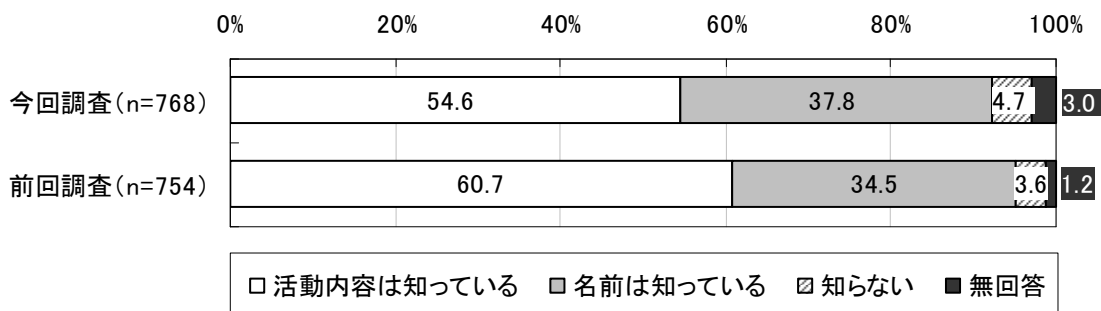
①民生委員・児童委員



②社会福祉協議会

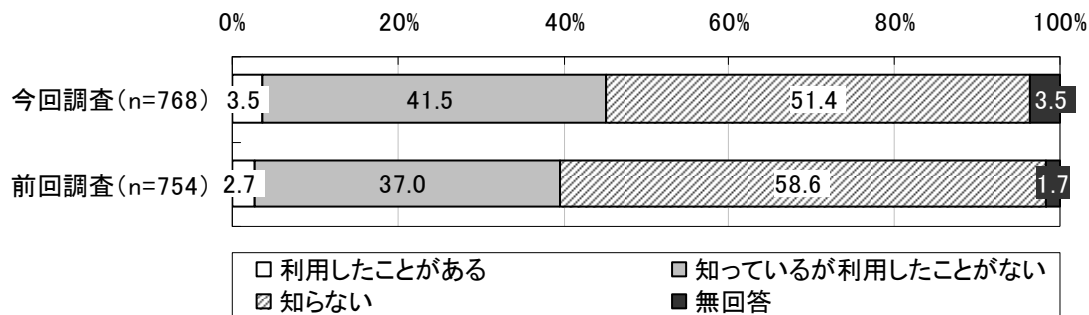


③シルバー人材センター

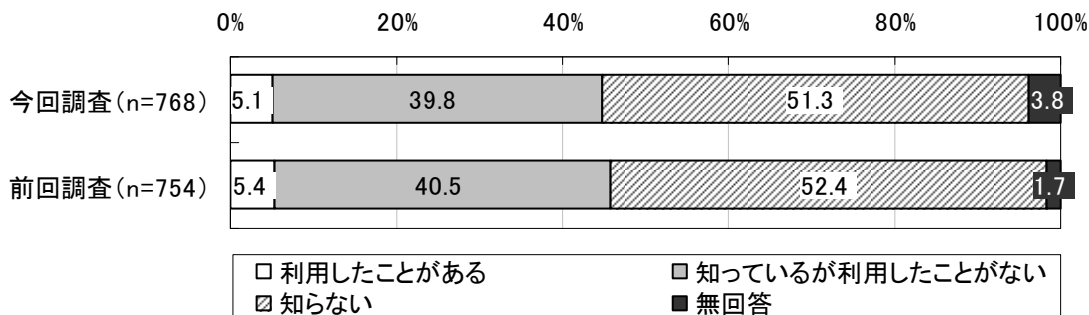


④福祉NPO団体は、今回調査で「知らない」が減少し、「利用したことがある」「知っているが利用したことがない」がともにやや上昇しています。⑤民間企業による福祉サービスは、その傾向に大きな変化はみられず、「知らない」が半数以上を占めています。⑥福祉サービス苦情調整委員（福祉オンブズマン）は、「知らない」が7割以上を占め、名前や活動内容を知っている割合は2割強となっています。

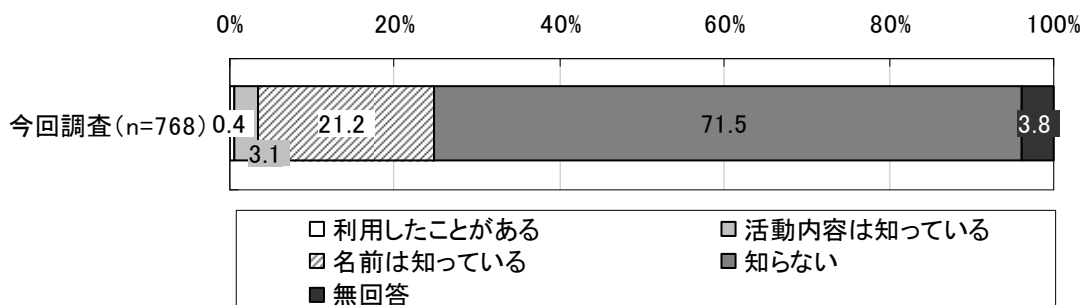
④福祉NPO団体



⑤民間企業による福祉サービス



⑥福祉サービス苦情調整委員（福祉オンブズマン）



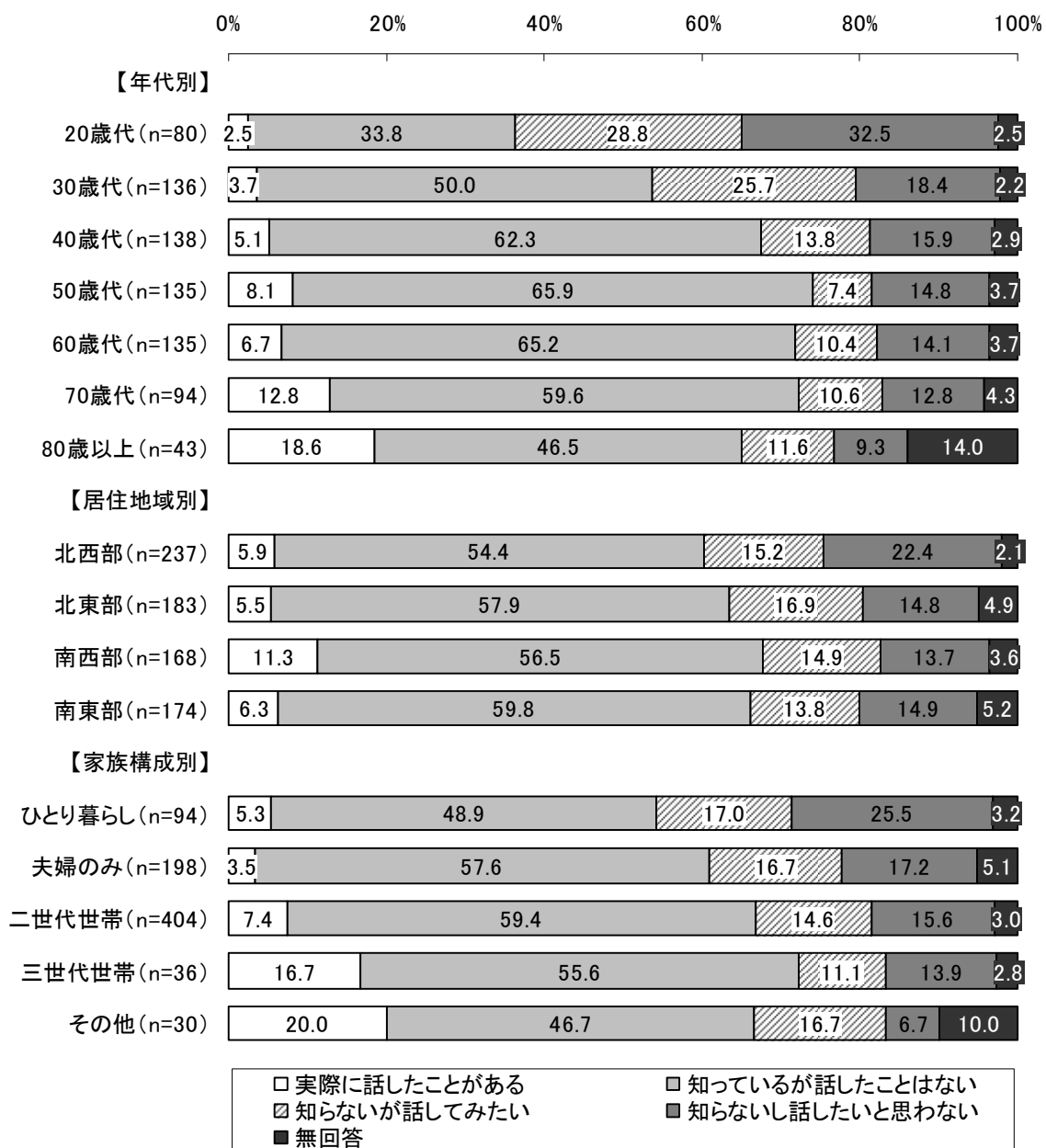
■年代／居住地／家族構成別

①民生委員・児童委員

民生委員・児童委員について、年代別にみると、年代とともに「実際に話したことがある」の割合がおおむね上昇しています。一方で、「知らないし話したいと思わない」が20歳代で3割以上となっています。

居住地域別にみると、南西部で「実際に話したことがある」が1割以上と比較的多くなっています。

家族構成別にみると、世帯の構成人数が増えるほど、「実際に話したことがある」の割合がおおむね上昇しています。一方で、「知らないし話したいと思わない」がひとり暮らし世帯で2割以上となっています。



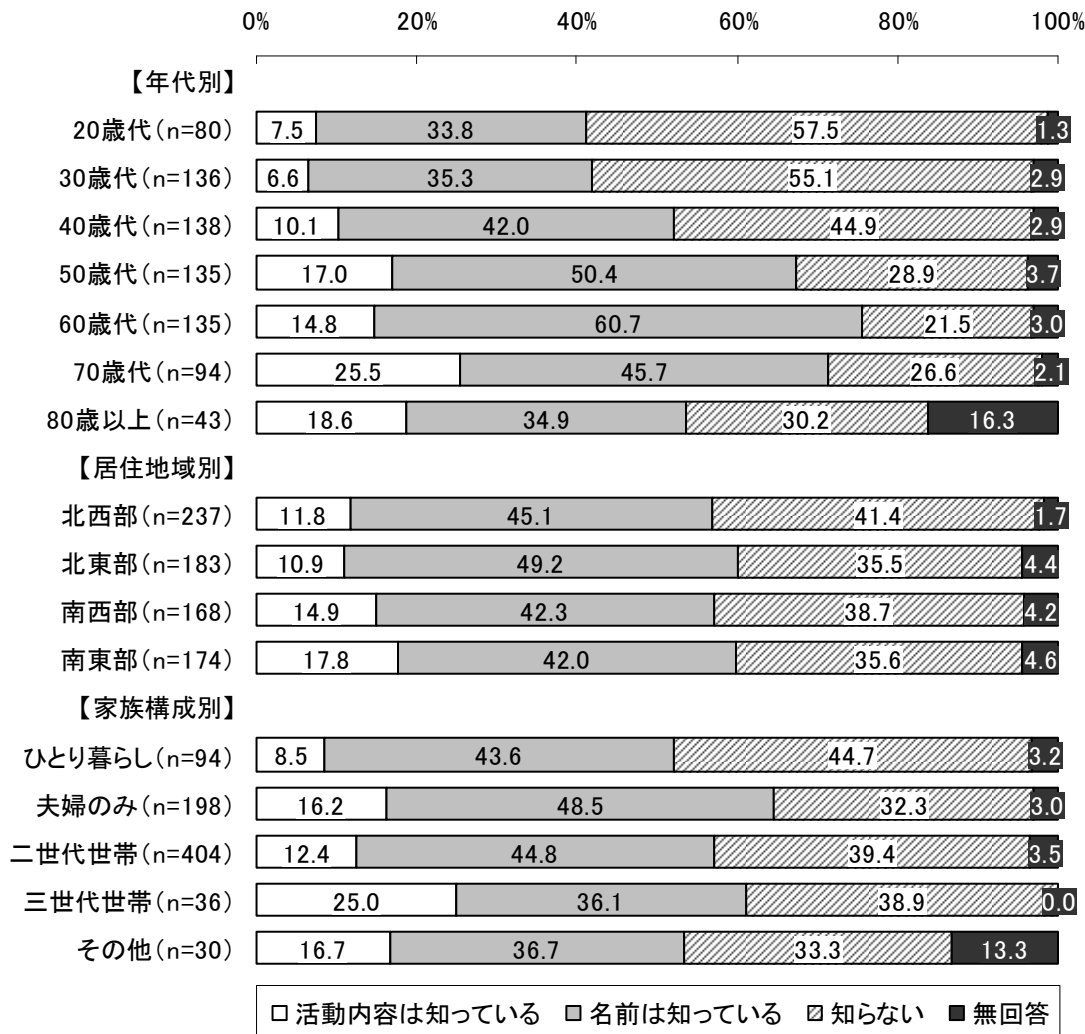
■年代／居住地／家族構成別

②社会福祉協議会

社会福祉協議会について、年代別にみると、20～30歳代では「知らない」が5割を超えて多くなっています。

居住地別にみると、地域で大きな違いはみられないものの、南部（南西部・南東部）で「活動内容は知っている」が比較的多くなっています。

家族構成別にみると、ひとり暮らし世帯と三世代世帯では「知らない」、夫婦のみの世帯、二世代世帯、その他の世帯では「名前は知っている」が最も多くなっています。



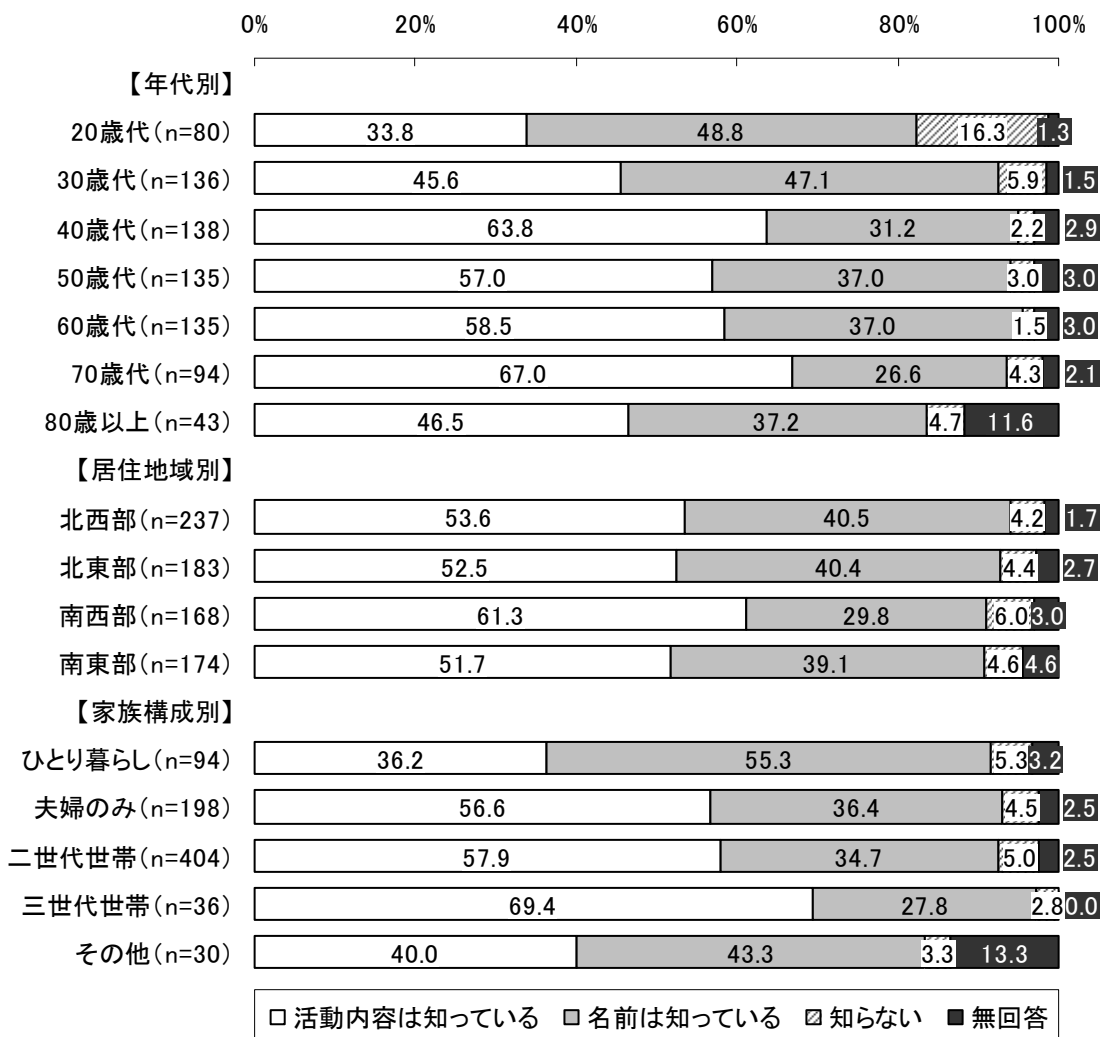
■年代／居住地域／家族構成別

③シルバー人材センター

シルバー人材センターについて、年代別にみると、40～70歳代で「活動内容は知っている」が5割から6割程度と最も多くなっています。また、20～30歳では「名前は知っている」が最も多くなっています。

居住地域別にみると、すべての地域で「活動内容は知っている」が最も多くなっており、南西部では6割を超えています。

家族構成別にみると、世帯の構成人数が増えるほど、「活動内容は知っている」の割合が上昇しています。



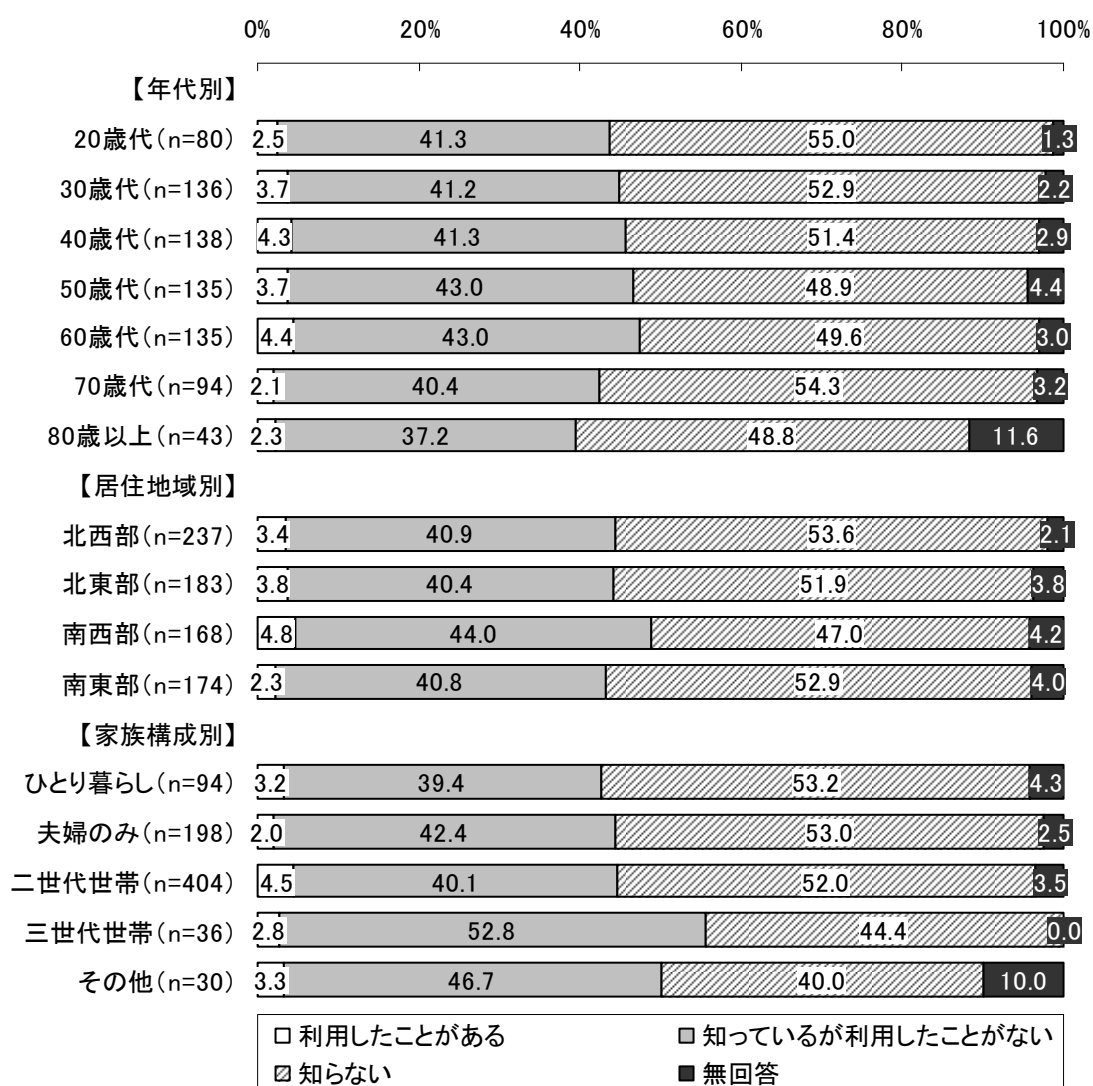
■年代／居住地域／家族構成別

④福祉NPO団体

福祉NPO団体について、年代別にみると、すべての年代で「知らない」が半数程度と最も多くなっています。

居住地域別にみると、すべての地域で「知らない」が半数程度と最も多く、地域で大きな違いはみられません。

家族構成別にみると、三世代世帯で「知っているが利用したことがない」が半数を超え最も多くなっているものの、その他をのぞくそれ以外の世帯では「知らない」が最も多くなっています。



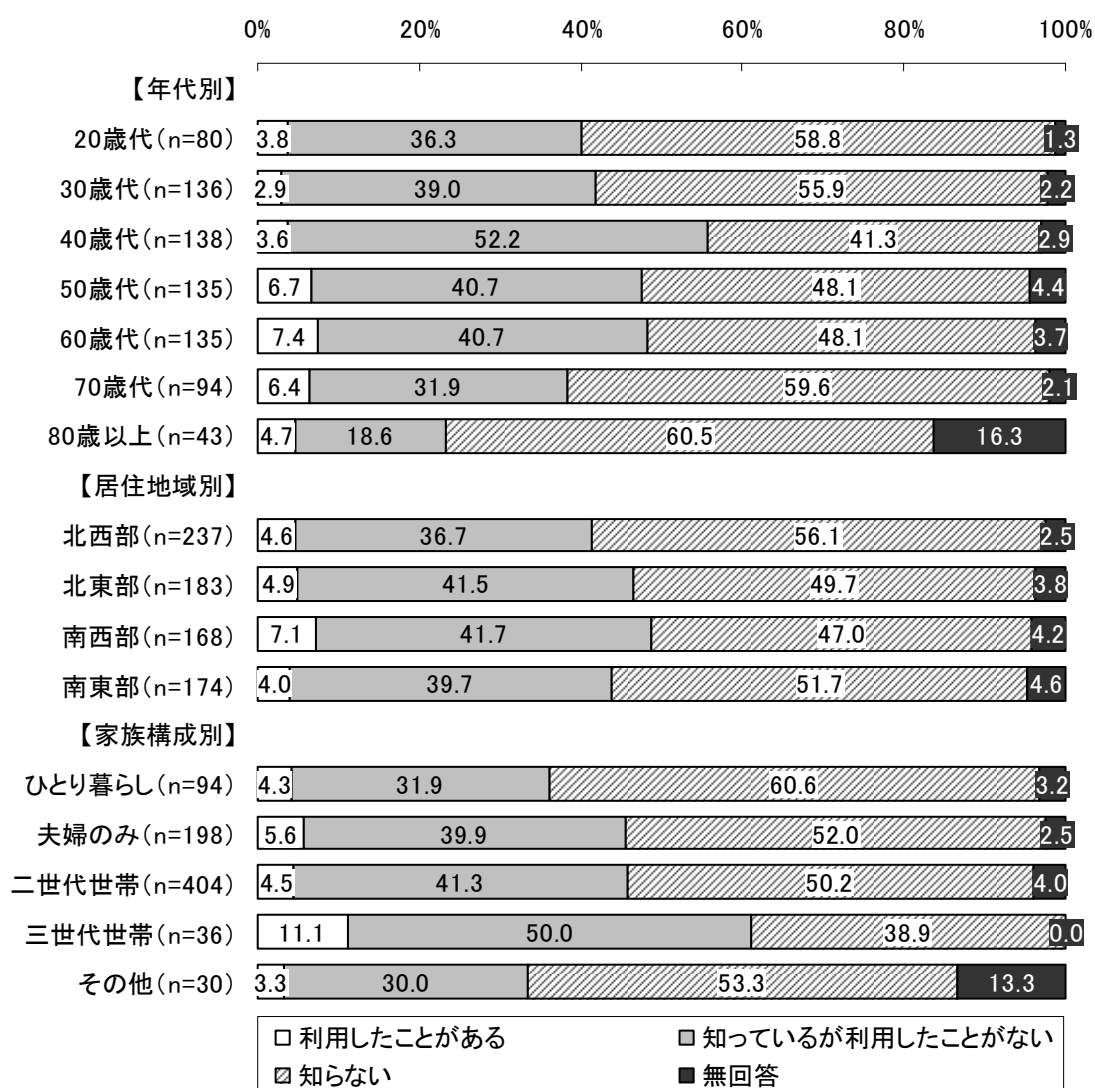
■年代／居住地域／家族構成別

⑤民間企業による福祉サービス

民間企業による福祉サービスについて、年代別にみると、40歳代をのぞくすべての年代で「知らない」が最も多く、20歳代と70歳以上では約6割となっています。

居住地域別にみると、すべての地域で「知らない」が半数程度と最も多く、地域で大きな違いはみられません。

家族構成別にみると、三世帯世帯で「利用したことがある」が1割を超えています。しかし、ひとり暮らし、夫婦のみ、二世帯、その他の世帯で「知らない」、三世帯世帯で「知っているが利用したことがない」が最も多くなっています。



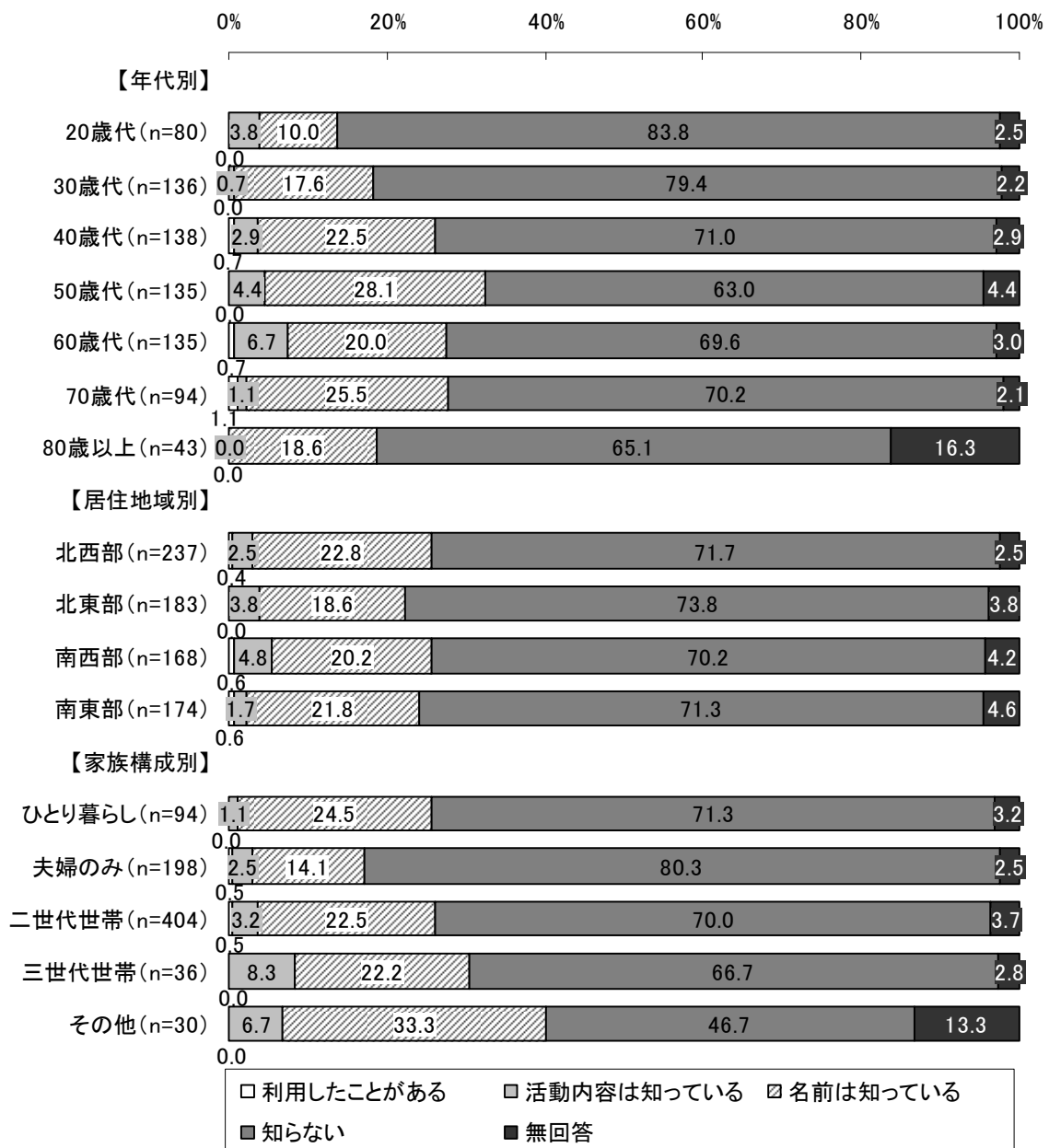
■年代／居住地域／家族構成別

⑥福祉サービス苦情調整委員（福祉オンブズマン）

福祉サービス苦情調整委員（福祉オンブズマン）について、年代別にみると、40歳以下では年代とともに「知らない」が減少し、「名前は知っている」が多くなっています。しかし、50歳以上では年代とともに「知らない」が上昇しています。

居住地域別にみると、すべての地域で「知らない」が半数程度と最も多く、地域で大きな違いはみられません。

家族構成別にみると、すべての世帯で「知らない」が最も多くなっているものの、ひとり暮らしや二世帯以上の世帯では「名前は知っている」が2割を超えています。



問 27 「成年後見制度」とは、本人が障害や認知症などで判断能力が十分でない場合、本人に代わって家庭裁判所が決める法定後見人が財産管理や介護サービス契約などを行うことができる制度ですが、あなたはこの制度について知っていますか。(ひとつだけ○)

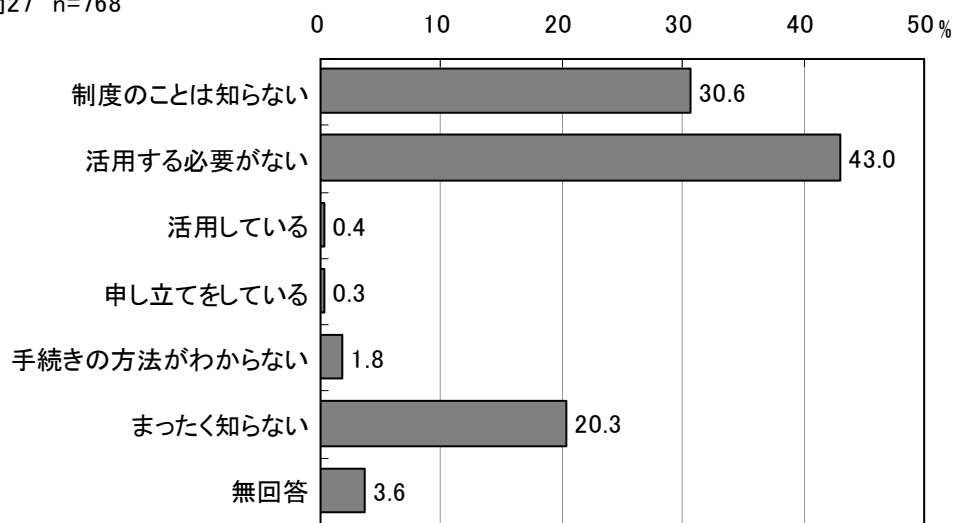
「成年後見制度」の認知度については、「活用する必要がない」が 43.0%と最も多く、次いで「制度のことは知らない」は 30.6%、「まったく知らない」が 20.3%となっており、『知らない』と回答した方が約半数となっています。

年代別にみると、70 歳以下では「まったく知らない」が年代とともに減少しています。

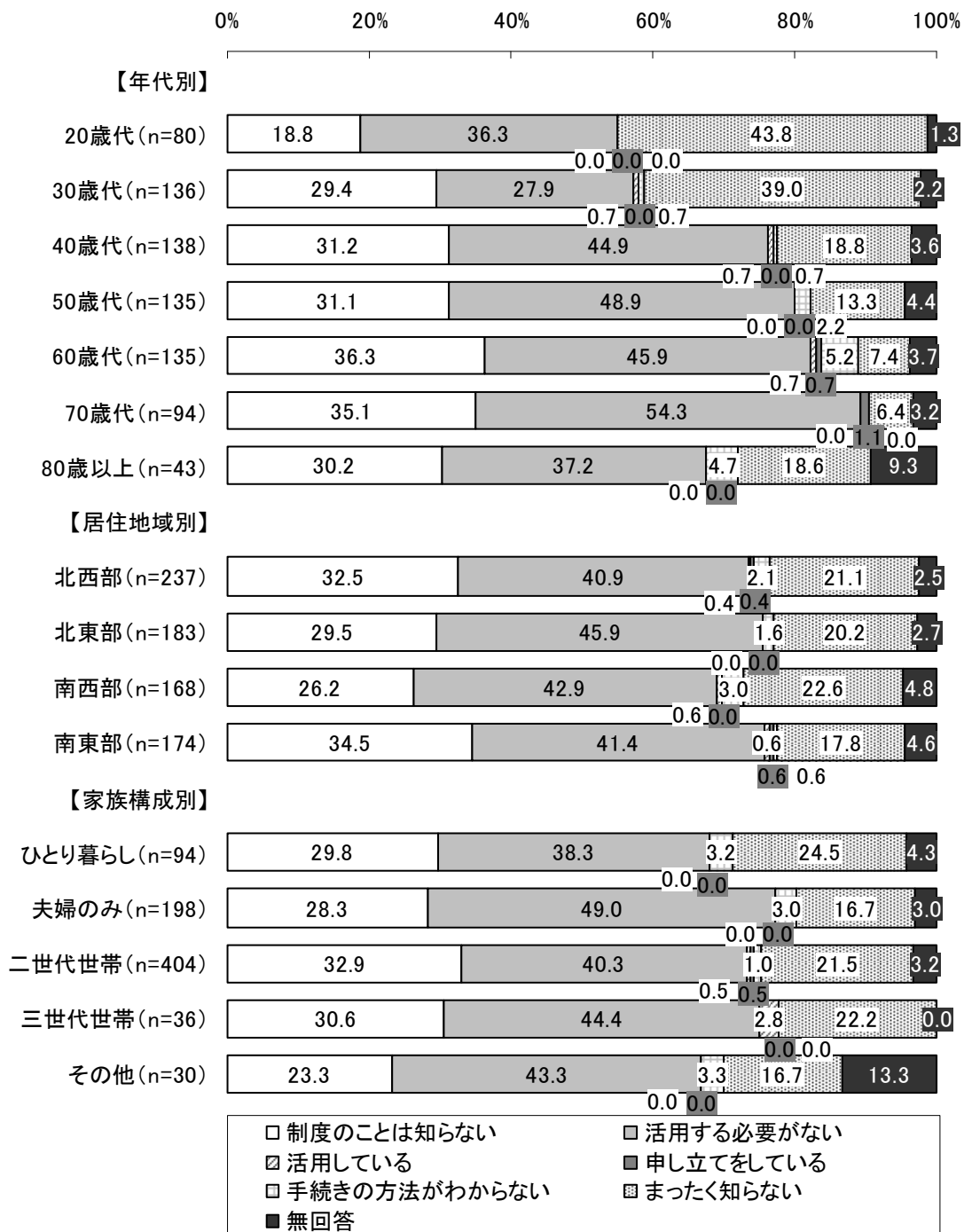
居住地域別にみると、すべての地域で「活用する必要がない」が最も多くなっており、北東部では 4 割強となっています。

家族構成別にみると、すべての世帯で「活用する必要がない」が最も多くなっており、夫婦のみの世帯では約半数となっています。

問27 n=768



■年代／居住地／家族構成別



問 28 あなたは、自分に必要な「福祉サービス」の情報をどの程度入手できているとお考えですか。(ひとつだけ○)

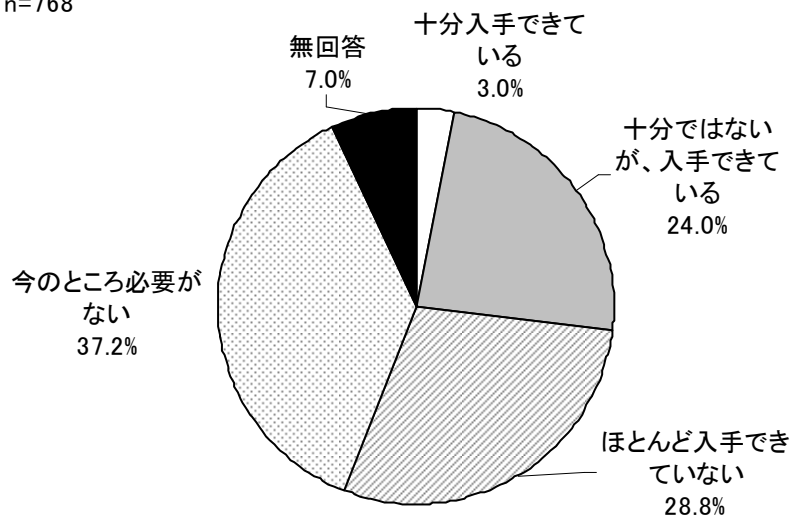
必要な「福祉サービス」の情報をどの程度入手できているかについては、「今のところ必要がない」が37.2%と最も多く、次いで「ほとんど入手できていない」が28.8%、「十分ではないが、入手できている」が24.0%となっています。

年代別にみると、80歳以上では「十分入手できている」が1割を超えて比較的多くなっているものの、20～60歳代では「今のところ必要がない」、70歳以上では「十分ではないが、入手できている」が最も多くなっています。

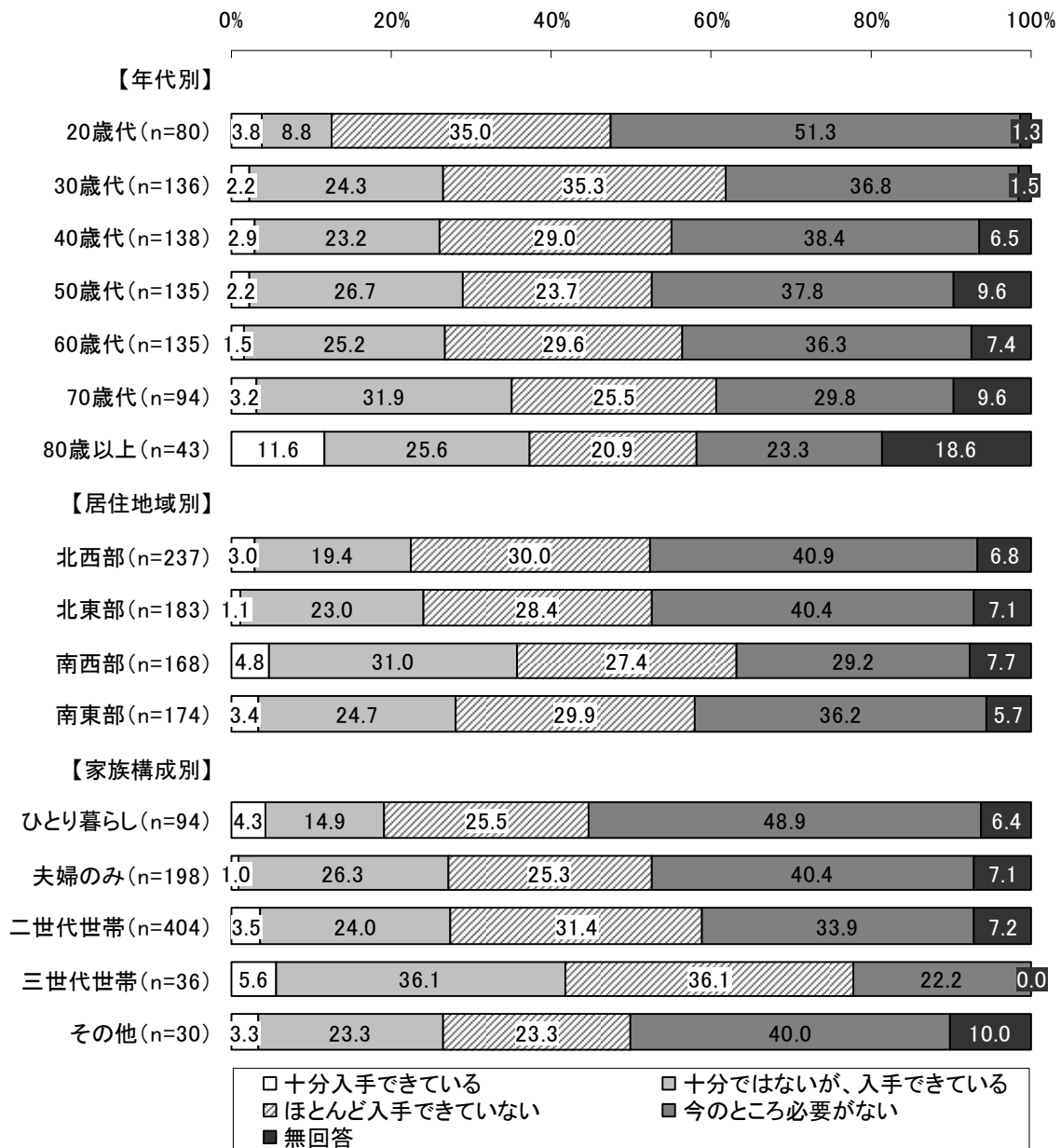
居住地域別にみると、南西部で「十分ではないが、入手できている」が3割を超え、比較的多くなっています。

家族構成別にみると、世帯の構成人数が増えるほど、「十分入手できている」と「十分ではないが、入手できている」を合わせた『入手できている』の割合が上昇しています。

問28 n=768



■年代／居住地／家族構成別



問 28-1 《問 28 で「十分入手できている」「十分ではないが、入手できている」「ほとんど入手できていない」と答えた方》
あなたは、「福祉サービス」に関する情報を主にどこから入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

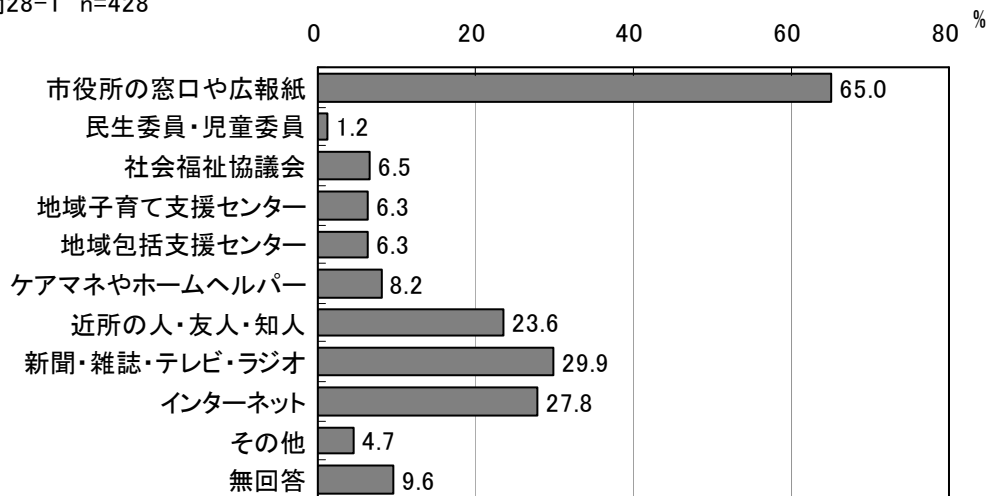
福祉サービスに関する情報の入手源については、「市役所の窓口や広報紙」が 65.0%と最も多く、次いで「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」が 29.9%、「インターネット」が 27.8%となっています。

年代別にみると、すべての年代で「市役所の窓口や広報紙」が最も多くなっています。また、子育て世代の 30～40 歳では「地域子育て支援センター」が 1 割を超えています。

居住地域別にみると、地域で大きな違いはみられません。

家族構成別にみると、世帯で大きな違いはみられません。

問28-1 n=428



■年代／居住地域／家族構成別

単位: %	n数	市役所の窓口や広報紙	民生委員・児童委員	社会福祉協議会	地域子育て支援センター	地域包括支援センター	ケアマネやホームヘルパー	近所の人・友人・知人	新聞・雑誌・テレビ・ラジオ	インターネット	その他	無回答	
年代別	20歳代	38	50.0	0.0	7.9	5.3	5.3	5.3	36.8	28.9	42.1	7.9	13.2
	30歳代	84	65.5	0.0	0.0	11.9	0.0	0.0	20.2	9.5	38.1	4.8	14.3
	40歳代	76	60.5	0.0	2.6	10.5	6.6	7.9	23.7	28.9	35.5	5.3	5.3
	50歳代	71	76.1	2.8	7.0	8.5	8.5	19.7	21.1	29.6	38.0	1.4	8.5
	60歳代	76	72.4	0.0	11.8	1.3	5.3	9.2	26.3	36.8	13.2	6.6	10.5
	70歳代	57	61.4	0.0	10.5	0.0	12.3	3.5	19.3	54.4	10.5	5.3	7.0
	80歳以上	25	52.0	12.0	8.0	0.0	12.0	16.0	24.0	28.0	4.0	0.0	8.0
	居住地域別	北西部	124	66.9	1.6	4.8	6.5	1.6	6.5	20.2	32.3	28.2	4.0
北東部		96	65.6	1.0	5.2	4.2	6.3	8.3	20.8	27.1	26.0	4.2	12.5
南西部		106	68.9	1.9	7.5	8.5	9.4	11.3	35.8	34.0	26.4	6.6	6.6
南東部		101	57.4	0.0	7.9	5.9	8.9	6.9	17.8	25.7	30.7	4.0	9.9
家族構成別	ひとり暮らし	42	66.7	4.8	4.8	0.0	11.9	0.0	16.7	35.7	21.4	2.4	4.8
	夫婦のみ	104	61.5	0.0	5.8	0.0	3.8	5.8	24.0	38.5	26.0	7.7	11.5
	二世帯世帯	238	68.1	0.4	7.6	10.1	6.7	9.7	23.5	25.2	30.3	3.8	9.2
	三世帯世帯	28	64.3	7.1	0.0	7.1	3.6	7.1	35.7	28.6	35.7	7.1	7.1
	その他	15	40.0	0.0	13.3	6.7	6.7	20.0	20.0	33.3	6.7	0.0	20.0

**問 29 社会福祉協議会は、様々な福祉問題の解決に向けて活動や支援を行っていますが、社会福祉協議会の行う活動・支援として、今後、充実してほしいものはどれですか。
(〇は3つ以内)**

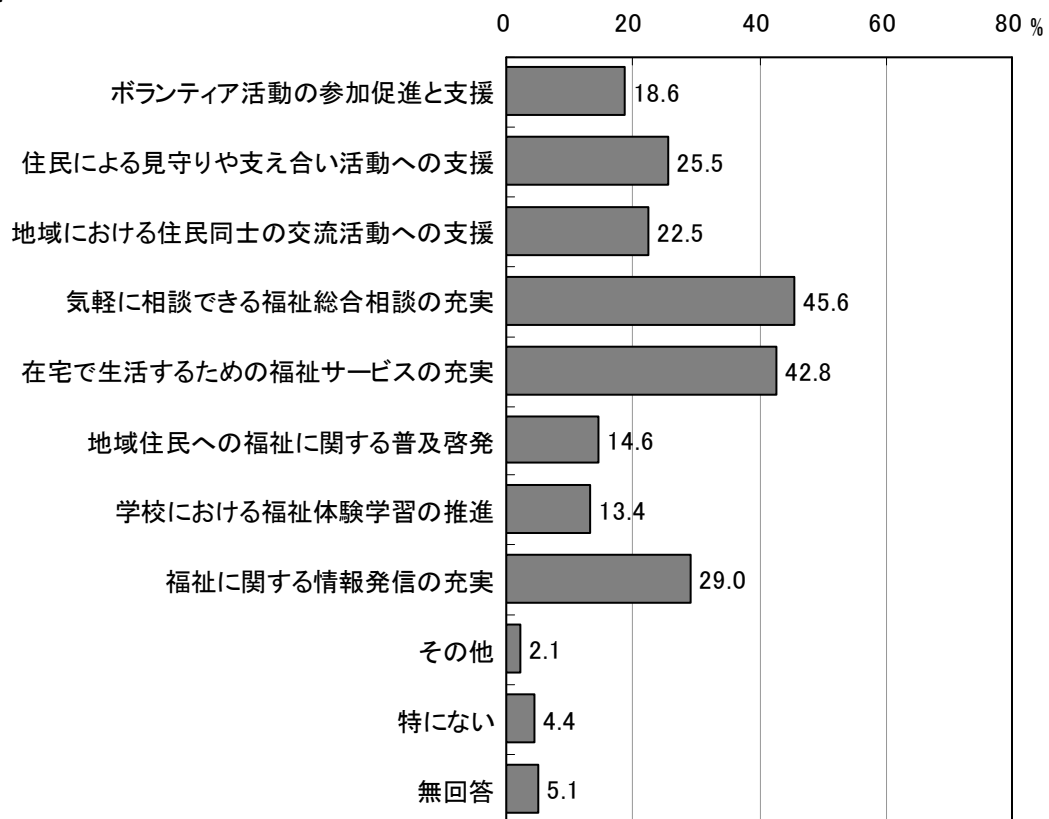
社会福祉協議会の行う活動・支援として、今後、充実してほしいものについては、「気軽に相談できる福祉総合相談の充実」が45.6%と最も多く、次いで「在宅で生活するための福祉サービスの充実」が42.8%、「福祉に関する情報発信の充実」が29.0%となっています。

年代別にみると、上位5項目で順位の変動はあるものの、年代で大きな違いはみられません。

居住地域別にみると、ほぼすべての地域で同様の傾向であることがうかがえます。

家族構成別にみると、ひとり暮らし世帯や夫婦のみの世帯では在宅で生活するための福祉サービスの充実」、二世帯世帯や三世帯世帯では「気軽に相談できる福祉総合相談の充実」が最も多くなっています。

問29 n=768



■年代／居住地域／家族構成別（上位5項目）

単位：%	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20歳代 (n=80)	気軽に相談できる福祉総合相談の充実 40.0	在宅で生活するための福祉サービスの充実 38.8	福祉に関する情報発信の充実 31.3	住民による見守りや支え合い活動への支援 27.5	地域における住民同士の交流活動への支援 22.5
30歳代 (n=136)	気軽に相談できる福祉総合相談の充実 47.8	福祉に関する情報発信の充実 36.0	在宅で生活するための福祉サービスの充実 33.8	学校における福祉体験学習の推進 25.0	ボランティア活動の参加促進と支援 22.1
40歳代 (n=138)	気軽に相談できる福祉総合相談の充実 44.2	福祉に関する情報発信の充実 35.5	在宅で生活するための福祉サービスの充実 34.8	住民による見守りや支え合い活動への支援 28.3	地域における住民同士の交流活動への支援 24.6
50歳代 (n=135)	気軽に相談できる福祉総合相談の充実 45.2	在宅で生活するための福祉サービスの充実 42.2	福祉に関する情報発信の充実 29.6	ボランティア活動の参加促進と支援 24.4	住民による見守りや支え合い活動への支援 22.2
60歳代 (n=135)	在宅で生活するための福祉サービスの充実 56.3	気軽に相談できる福祉総合相談の充実 46.7	住民による見守りや支え合い活動への支援 30.4	福祉に関する情報発信の充実 25.2	ボランティア活動の参加促進と支援 21.5
70歳代 (n=94)	気軽に相談できる福祉総合相談の充実 50.0	在宅で生活するための福祉サービスの充実 46.8	地域における住民同士の交流活動への支援 31.9	住民による見守りや支え合い活動への支援 27.7	福祉に関する情報発信の充実 19.1
80歳以上 (n=43)	在宅で生活するための福祉サービスの充実 51.2	気軽に相談できる福祉総合相談の充実 39.5	地域における住民同士の交流活動への支援 25.6	福祉に関する情報発信の充実 18.6	住民による見守りや支え合い活動への支援 14.0
北西部 (n=237)	気軽に相談できる福祉総合相談の充実 48.1	在宅で生活するための福祉サービスの充実 45.6	福祉に関する情報発信の充実 33.8	住民による見守りや支え合い活動への支援 24.1	地域における住民同士の交流活動への支援 22.8
北東部 (n=183)	気軽に相談できる福祉総合相談の充実 44.3	在宅で生活するための福祉サービスの充実 43.2	福祉に関する情報発信の充実 32.2	住民による見守りや支え合い活動への支援 24.6	地域における住民同士の交流活動への支援 24.0
南西部 (n=168)	気軽に相談できる福祉総合相談の充実 45.8	在宅で生活するための福祉サービスの充実 39.9	住民による見守りや支え合い活動への支援 29.2	福祉に関する情報発信の充実 23.8	地域における住民同士の交流活動への支援 20.2
南東部 (n=174)	気軽に相談できる福祉総合相談の充実 42.5	在宅で生活するための福祉サービスの充実 40.2	福祉に関する情報発信の充実 25.3	ボランティア活動の参加促進と支援 25.3	住民による見守りや支え合い活動への支援 23.6
ひとり暮らし (n=94)	在宅で生活するための福祉サービスの充実 48.9	気軽に相談できる福祉総合相談の充実 46.8	住民による見守りや支え合い活動への支援 30.9	福祉に関する情報発信の充実 23.4	地域における住民同士の交流活動への支援 20.2
夫婦のみ (n=198)	在宅で生活するための福祉サービスの充実 47.0	気軽に相談できる福祉総合相談の充実 46.5	福祉に関する情報発信の充実 27.3	地域における住民同士の交流活動への支援 23.7	ボランティア活動の参加促進と支援 21.7
二世帯世帯 (n=404)	気軽に相談できる福祉総合相談の充実 44.3	在宅で生活するための福祉サービスの充実 38.9	福祉に関する情報発信の充実 32.2	住民による見守りや支え合い活動への支援 26.0	地域における住民同士の交流活動への支援 21.5
三世帯世帯 (n=36)	気軽に相談できる福祉総合相談の充実 47.2	在宅で生活するための福祉サービスの充実 36.1	住民による見守りや支え合い活動への支援 36.1	福祉に関する情報発信の充実 33.3	地域における住民同士の交流活動への支援 27.8
その他 (n=30)	気軽に相談できる福祉総合相談の充実 50.0	在宅で生活するための福祉サービスの充実 50.0	地域における住民同士の交流活動への支援 26.7	住民による見守りや支え合い活動への支援 20.0	

6. 保健福祉施策などについて

問 30 小金井市の保健福祉施策(サービス)について、あなたはどのように感じていますか。 (ひとつだけ○)

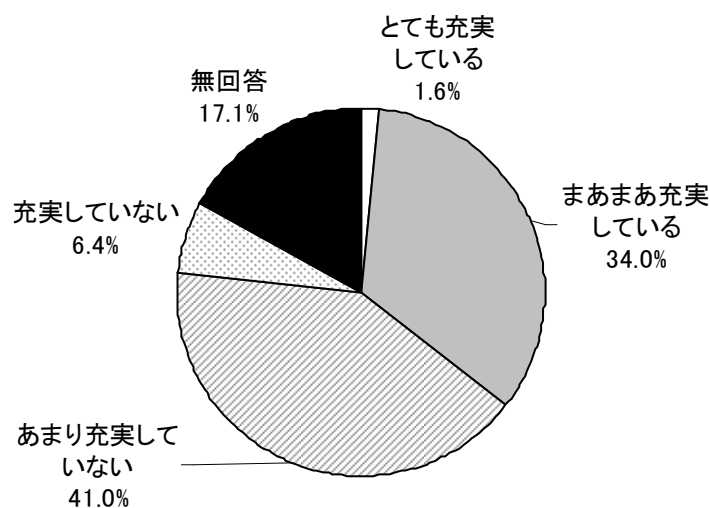
小金井市の保健福祉施策(サービス)をどのように感じているかについては、「あまり充実していない」が41.0%と最も多く、「とても充実している」と「まあまあ充実している」を合わせた『充実している』の35.6%をやや上回っています。

年代別にみると、70歳以上で『充実している』の割合が比較的高く、半数を超えています。しかし、その他の年代では「あまり充実していない」が最も多くなっています。

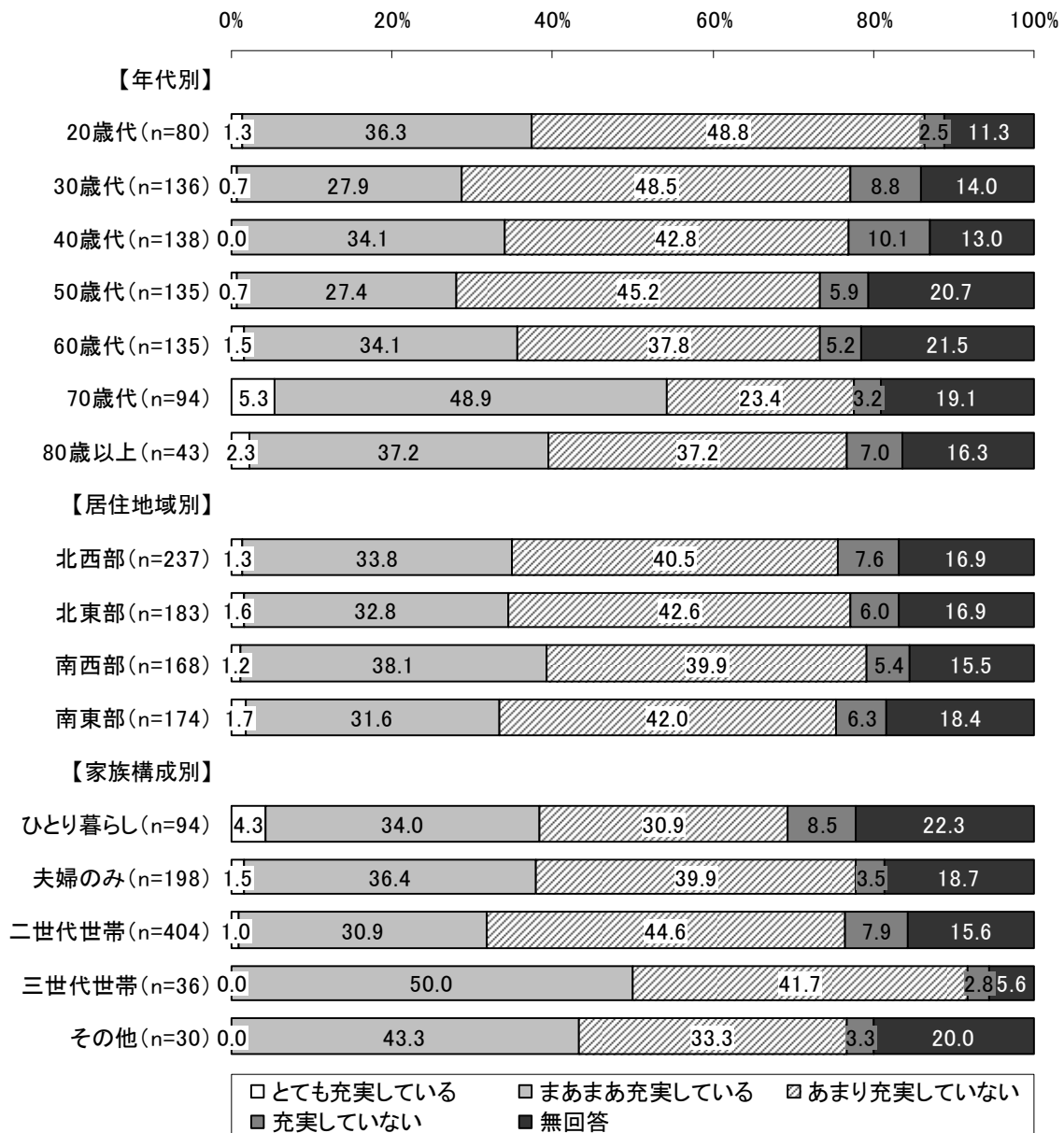
居住地域別にみると、南西部で『充実している』の割合がやや高くなっているものの、すべての地域で「あまり充実していない」が最も多くなっています。

家族構成別にみると、三世帯世帯で「まあまあ充実している」が5割となっているほか、ひとり暮らし世帯やその他の世帯でも「まあまあ充実している」が多くなっています。しかし、夫婦のみの世帯や二世帯世帯では「あまり充実していない」が最も多くなっています。

問30 n=768



■年代／居住地／家族構成別



問 31 あなたは、これからの小金井市の福祉は何を重点にすべきだと思いますか。

(〇は3つ以内)

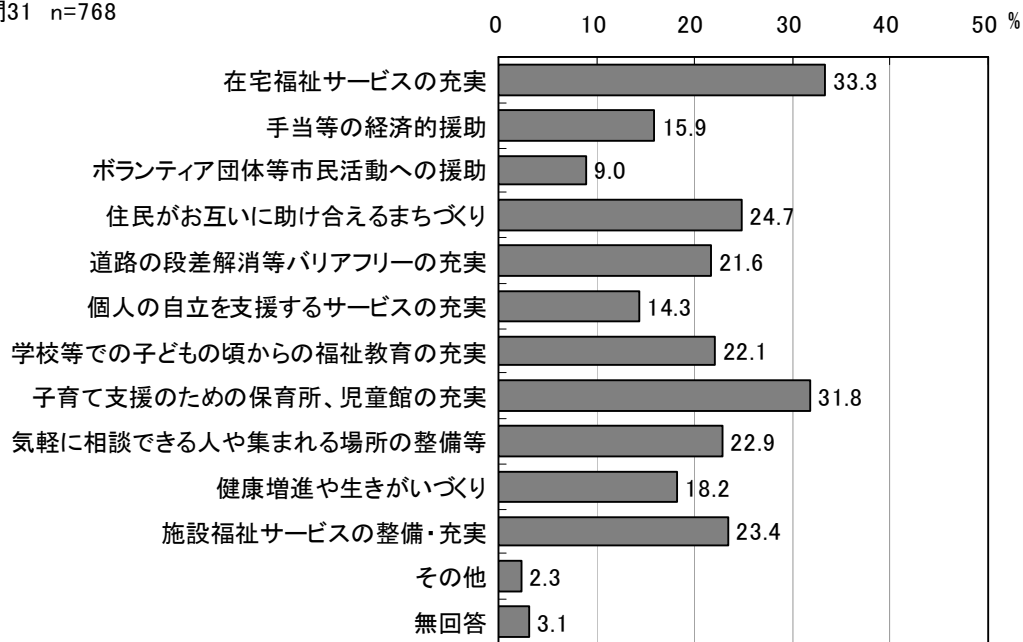
小金井市の福祉で重視すべきことについては、「在宅福祉サービスの充実」が33.3%と最も多く、次いで「子育て支援のための保育所、児童館の充実」が31.8%、「住民がお互いに助け合えるまちづくり」が24.7%となっています。

年代別にみると、子育て世代の20～40歳代では「子育て支援のための保育所、児童館の充実」、50歳以上では「在宅福祉サービスの充実」が最も多くなっています。

居住地域別にみると、北東部では「子育て支援のための保育所、児童館の充実」、その他の地域では「在宅福祉サービスの充実」が最も多くなっています。

家族構成別にみえると、ひとり暮らしや夫婦のみの世帯では「在宅福祉サービスの充実」、二世帯以上の世帯では「子育て支援のための保育所、児童館の充実」が最も多くなっています。

問31 n=768



■年代／居住地域／家族構成別

単位: %	n数	福祉重点項目 (%)													
		在宅福祉サービスの充実	手当等の経済的援助	ボランティア団体等市民活動への援助	住民がお互いに助け合えるまちづくり	道路の段差解消等バリアフリーの充実	個人の自立を支援するサービスの充実	学校等での子どもの頃からの福祉教育の充実	子育て支援のための保育所、児童館の充実	気軽に相談できる人や集まれる場所の整備等	健康増進や生きがいづくり	施設福祉サービスの整備・充実	その他	無回答	
年代別	20歳代	80	20.0	32.5	11.3	27.5	21.3	13.8	27.5	40.0	22.5	15.0	15.0	6.3	0.0
	30歳代	136	23.5	21.3	8.1	23.5	20.6	11.0	26.5	63.2	19.1	9.6	17.6	2.2	1.5
	40歳代	138	24.6	15.2	6.5	25.4	29.0	12.3	23.9	34.8	26.8	16.7	22.5	1.4	2.2
	50歳代	135	33.3	11.9	8.9	19.3	23.0	17.8	22.2	24.4	21.5	23.0	29.6	1.5	3.7
	60歳代	135	40.0	10.4	10.4	25.9	18.5	15.6	20.7	18.5	26.7	23.7	31.9	0.7	3.0
	70歳以上	94	52.1	11.7	11.7	27.7	18.1	17.0	10.6	16.0	20.2	22.3	26.6	2.1	8.5
居住地域別	北西部	237	38.0	17.3	7.2	22.4	23.2	13.1	21.1	31.6	24.5	19.4	23.2	3.4	1.7
	北東部	183	27.9	14.8	10.4	25.7	23.0	12.0	24.6	37.7	17.5	16.9	22.4	2.7	4.9
	南西部	168	33.3	14.3	7.1	31.0	14.9	20.2	22.0	28.0	22.0	17.3	26.2	2.4	3.6
	南東部	174	32.8	16.7	10.9	19.5	25.3	12.6	20.7	29.9	26.4	19.0	23.0	0.6	2.9
家族構成別	ひとり暮らし	94	34.0	17.0	4.3	17.0	21.3	21.3	13.8	17.0	26.6	25.5	17.0	4.3	6.4
	夫婦のみ	198	38.4	14.1	13.1	26.3	22.2	15.2	17.7	29.8	20.7	19.7	24.7	1.0	3.5
	二世帯世帯	404	31.7	16.6	7.9	24.0	22.5	13.4	24.5	36.9	23.3	14.4	24.0	2.7	2.2
	三世帯世帯	36	25.0	19.4	8.3	33.3	13.9	11.1	41.7	36.1	19.4	30.6	22.2	0.0	0.0
	その他	30	33.3	10.0	6.7	30.0	20.0	3.3	20.0	20.0	20.0	23.3	33.3	3.3	6.7

問 32 あなたは小金井市をどのような『福祉のまち』にしたいと思いますか。

(○は3つ以内)

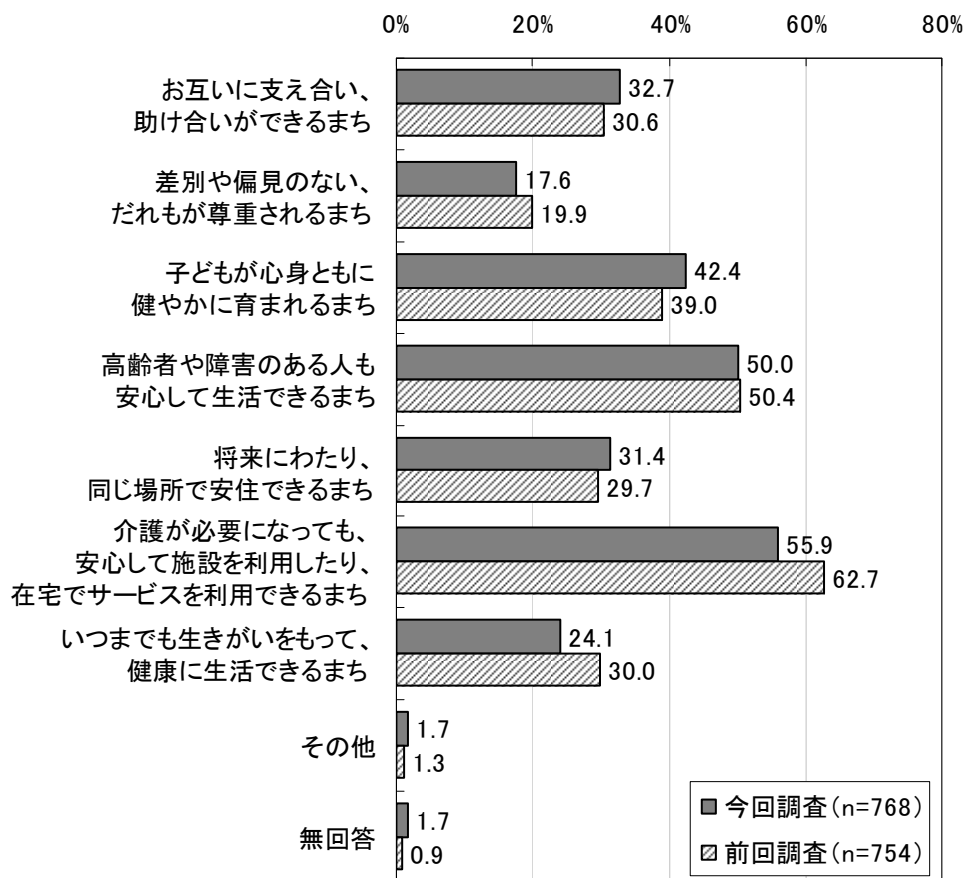
小金井市をどのような『福祉のまち』にしたいかについては、「介護が必要になっても、安心して施設を利用したり、在宅でサービスを利用できるまち」が55.9%と最も多く、次いで「高齢者や障害のある人も安心して生活できるまち」が50.0%、「子どもが心身ともに健やかに育まれるまち」が42.4%となっています。

前回調査との比較では、今回調査で「介護が必要になっても、安心して施設を利用したり、在宅でサービスを利用できるまち」と「いつまでも生きがいをもって、健康に生活できるまち」で前回調査よりも5ポイント以上減少しています。

年代別にみると、子育て世代の20～40歳代では「子どもが心身ともに健やかに育まれるまち」、50歳以上では「介護が必要になっても、安心して施設を利用したり、在宅でサービスを利用できるまち」が最も多くなっています。

居住地域別にみると、北西部では「高齢者や障害のある人も安心して生活できるまち」、その他の地域では「介護が必要になっても、安心して施設を利用したり、在宅でサービスを利用できるまち」が最も多くなっています。

家族構成別にみると、三世帯世帯では「高齢者や障害のある人も安心して生活できるまち」、その他の世帯では「介護が必要になっても、安心して施設を利用したり、在宅でサービスを利用できるまち」が最も多くなっています。



■年代／居住地域／家族構成別

単位：%		n数	お互いに 支え合い、 助け合い ができるま ち	差別や偏 見のない、 だれもが 尊重される まち	子どもが心 身ともに健 やかに育 まれるまち	高齢者や 障害のあ る人も安心 して生活で きるまち	将来にわ たり、同じ 場所で安 住できるま ち	介護が必 要になっ ても、安心 して施設を 利用した り、在宅で サービス を利用でき るまち	いつまでも 生きがい をもって、健 康に生活 できるまち	その他	無回答
年代別	20歳代	80	45.0	17.5	51.3	45.0	41.3	31.3	20.0	1.3	1.3
	30歳代	136	30.1	18.4	60.3	43.4	45.6	35.3	14.0	2.2	0.7
	40歳代	138	29.0	18.8	53.6	39.9	31.9	52.9	29.0	1.4	0.7
	50歳代	135	29.6	21.5	34.1	58.5	23.0	63.7	25.2	3.0	2.2
	60歳代	135	33.3	17.8	30.4	57.8	24.4	74.1	26.7	0.7	0.7
	70歳代	94	34.0	10.6	30.9	55.3	30.9	70.2	28.7	2.1	4.3
	80歳以上	43	32.6	11.6	23.3	46.5	18.6	62.8	23.3	0.0	4.7
居住地域別	北西部	237	37.6	16.0	41.4	55.7	27.8	54.4	24.5	0.8	1.3
	北東部	183	29.0	16.9	48.6	51.4	30.1	59.6	21.9	1.1	0.5
	南西部	168	34.5	17.3	40.5	50.0	30.4	54.8	22.6	3.0	2.4
	南東部	174	27.6	20.7	39.7	39.7	39.1	54.6	27.0	2.3	2.9
家族構成別	ひとり暮らし	94	25.5	17.0	26.6	50.0	23.4	62.8	28.7	3.2	3.2
	夫婦のみ	198	33.8	16.2	41.9	56.6	35.4	57.6	23.7	0.5	1.5
	二世帯世帯	404	33.4	19.6	47.0	47.0	31.9	54.7	21.3	1.5	1.2
	三世帯世帯	36	44.4	8.3	52.8	47.2	27.8	33.3	38.9	5.6	0.0
	その他	30	20.0	13.3	23.3	46.7	33.3	63.3	30.0	3.3	6.7